

平成 30 年度

# F D 活 動 報 告 書

駒澤大学 F D 推進委員会

## 目 次

1. 委員会	1
(1) F D 推進委員会	
(2) F D 推進委員会小委員会	
(3) ワーキング・グループ	
2. 研修会	8
3. 学生が選ぶベスト・ティーチング賞	10
(1) 平成 30 年度学生が選ぶベスト・ティーチング賞	
(2) 学生 F D スタッフ	
4. 公開授業	13
5. 学生による授業アンケート	24
(1) 「学生による授業アンケート」の概要	
(2) 授業アンケート質問項目	
(3) 項目別平均値	
(4) 受講生の講義への取り組み	
(5) 授業についての評価	
6. 総評	76
7. F D NEWSLETTER の発行	78
○ F D NEWSLETTER 第 55 号	平成 30 年 6 月 30 日発行
○ F D NEWSLETTER 第 56 号	平成 30 年 9 月 30 日発行
○ F D NEWSLETTER 第 57 号	平成 30 年 12 月 15 日発行
○ F D NEWSLETTER 第 58 号	平成 31 年 3 月 15 日発行

### 【付録資料】

- 駒澤大学 F D 推進委員会規程
- 駒澤大学 F D 憲章
- 平成 30 年度 駒澤大学 F D 推進委員会委員名簿
- 平成 30 年度 駒澤大学 F D 推進委員会小委員会委員名簿
- 平成 30 年度 駒澤大学 F D 推進部会委員名簿

## 1. 委員会

### (1) FD推進委員会

#### ○第1回

日 程 平成30年4月27日（金）

- 議 題
1. 報告事項
    - (1) 平成30年度新規採用教員オリエンテーションについて
    - (2) その他
  2. 審議事項
    - (1) 平成30年度「学生による授業アンケート」について（継続）
    - (2) 平成30年度FD推進委員会活動年間日程について
    - (3) 平成30年度FD活動計画について
    - (4) その他
  3. その他

#### ○第2回

日 程 平成30年11月6日（火）

- 議 題
1. 報告事項
    - (1) 平成30年度駒澤大学FD推進部会について
    - (2) 平成30年度FD推進委員会活動年間日程について
    - (3) 平成31年度各種入学試験合格者への入学前教育について
    - (4) 平成30年度「学生による授業アンケート」（後期）について
    - (5) 平成30年度「公開授業」の実施について
    - (6) 平成30年度FD研修会について
    - (7) 平成30年度学生が選ぶベスト・ティーチング賞について
    - (8) アセスメントテストについて
    - (9) その他
  2. 審議事項
    - (1) 「学生FDスタッフ制度に関する内規」及び「ベスト・ティーチング賞に関する内規」の改正について
    - (2) その他
  3. その他

#### ○第3回

日 程 平成30年12月6日（木）

- 議 題
1. 報告事項
    - (1) 平成30年度FD推進委員会活動年間日程について

- (2) 平成30年度「学生による授業アンケート」(後期)について
  - (3) 平成30年度FD研修会について
  - (4) その他
2. 審議事項
- (1) 学生が選ぶベスト・ティーチング賞について
  - (2) その他
3. その他

○第4回

日 程 平成31年3月14日(木)

- 議 題
1. 報告事項
- (1) 平成30年度「学生による授業アンケート」について
  - (2) 平成30年度公開授業について
  - (3) 平成30年度「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」について
  - (4) 平成30年度FD研修会について
  - (5) 平成30年度アクティブ・ラーニング実施状況調査について
  - (6) 平成30年度『FD活動報告書』について
  - (7) 平成31年度新規採用教員オリエンテーションの実施について
  - (8) アセスメントテストについて
  - (9) その他
2. 審議事項
- (1) 「ベスト・ティーチング賞に関する内規」の改正について
  - (2) 平成31年度「学生による授業アンケート」について
  - (3) 平成30年度FD推進委員会活動報告及び今後の課題について
  - (4) その他
3. その他

(2) FD推進委員会小委員会

○第1回

日 程 平成30年4月27日(金)

- 議 題
1. 報告事項
- (1) 平成30年度『FD NEWSLETTER』の編集委員について
  - (2) その他
2. 審議事項
- (1) 平成30年度ワーキング・グループについて
  - (2) 平成30年度学生による授業アンケートの実施要領(案)について

- (3) 平成30年度FD研修会について
  - (4) 「学生FDスタッフ制度に関する内規」及び  
「ベスト・ティーチング賞に関する内規」について
  - (5) その他
3. その他

○第2回

日程 平成30年6月4日(月)

議題

- 1. 報告事項
  - (1) 平成30年度FD推進委員会活動年間日程について
  - (2) 第1回・第2回FD研修会について
  - (3) 平成30年度『FD NEWSLETTER』第55号について
  - (4) 平成31年度各種入学試験合格者への入学前教育の実施について
  - (5) 「学生による授業アンケート」の実施依頼について
  - (6) 学生FDスタッフについて
  - (7) 学習効果測定について
  - (8) その他
- 2. 審議事項
  - (1) 公開授業の実施方法等について
  - (2) FD研修会について
  - (3) 「学生FDスタッフ制度に関する内規」及び「学生が選ぶベスト・ティーチング賞に関する内規」の改正案について
  - (4) その他
- 3. その他

○第3回

日程 平成30年7月23日(月)

議題

- 1. 報告事項
  - (1) 平成30年度FD推進委員会活動年間日程について
  - (2) 平成30年度『FD NEWSLETTER』第56号について
  - (3) 学修効果測定について
  - (4) 第1回・第2回FD研修会について
  - (5) 第3回FD研修会について
  - (6) その他
- 2. 審議事項
  - (1) 平成30年度FD研修会について(継続)

- (2) 「学生FDスタッフ制度に関する内規」及び  
「ベスト・ティーチング賞に関する内規」について（継続）
  - (3) 学生による授業アンケートについて
  - (4) その他
3. その他

○第4回

日 程 平成30年10月15日（月）

議 題

- 1. 報告事項
  - (1) 平成30年度FD推進委員会活動年間日程について
  - (2) 平成31年度各種入学試験合格者への入学前教育の実施について
  - (3) 平成30年度「学生による授業アンケート」（後期）について
  - (4) 平成30年度第3回FD研修会について
  - (5) 学生が選ぶベスト・ティーチング賞について
  - (6) その他
- 2. 審議事項
  - (1) 平成30年度FD研修会について（継続）
  - (2) 公開授業の実施方法等について
  - (3) その他
- 3. その他

○第5回

日 程 平成30年12月3日（月）

議 題

- 1. 報告事項
  - (1) 平成30年度FD推進委員会活動年間日程について
  - (2) 平成30年度『FD NEWSLETTER』第57号の発行について
  - (3) 平成30年度「学生による授業アンケート」（後期）について
  - (4) 平成30年度第4回FD研修会について
  - (5) その他
- 2. 審議事項
  - (1) 学生が選ぶベスト・ティーチング賞について
  - (2) 平成30年度第6回FD研修会について
  - (3) 平成31年度「学生による授業アンケート」について
  - (4) その他
- 3. その他

○第6回

日 程 平成31年1月22日（火）

議 題 1. 報告事項

- (1) 平成30年度「学生による授業アンケート」（後期）について
- (2) 平成30年度公開授業について
- (3) 学生が選ぶベスト・ティーチング賞について
- (4) 平成30年度FD研修会について
- (5) その他

2. 審議事項

- (1) 平成31年度「学生による授業アンケート」について（継続）
- (2) 「ベスト・ティーチング賞に関する内規」について
- (3) アクティブ・ラーニング実施状況調査について
- (4) その他

3. その他

○第7回

日 程 平成31年2月22日（金）

議 題 1. 報告事項

- (1) 平成30年度第6回FD研修会について
- (2) 平成30年度『FD NEWSLETTER』第58号について
- (3) 平成30年度アクティブ・ラーニング実施状況調査について
- (4) 平成31年度新規採用教員オリエンテーションの実施について
- (5) その他

2. 審議事項

- (1) 平成30年度FD推進委員会活動報告及び今後の課題について
- (2) 平成31年度学生が選ぶベスト・ティーチング賞について
- (3) その他

3. その他

**(3) ワーキング・グループ (WG)**

①新しい教育方法に関するワーキング・グループ

本年度は、昨年度に実施したアクティブ・ラーニング実施状況調査結果などをふまえて、先進的な授業を運営している学内の先生方を講師として、FD研修会の開催回数を大幅に増加させた。まず、学習成果可視化の観点から、総合情報センターの協力を得て、ICTを利用したループリックの作成に関する研修会を2回開催した（5月30日・

31日)。次に、学内のe-ラーニングシステムである「C-Learning」・「YeStudy」の先進的な活用法として、大人数科目におけるアクティブ・ラーニングの研修会(7月30日)、そして身近な授業に活かせる反転授業についての研修会を実施した(11月6日)。さらに、教職員の真摯な対応が求められるダイバーシティをテーマとした研修会のほか(12月4日)、ベスト・ティーチング賞受賞者による研修会も開催された(2月1日)。今年度より、事情により出席できなかった教職員のために、研修会の模様をビデオで閲覧できるよう、大学ホームページからのアクセスを可能にした。

公開授業については、例年と同様の内容で実施されたが、出席者が減少傾向にある。昨今のFD活動には、高大接続改革や質保証への対応などに即した複合的なあり方が求められており、公開授業の見直し、あるいは実施方法の改善が必要な時期にきていると思われる。

本WGの年間活動にあたり、教職員のご理解とご協力に感謝申し上げます。

○構成員 中川 淳平(座長)、小林 正人、馬込 大貴、坂野井 和代

○第1回

- 日時 平成30年 5月28日(月)  
議題 (1) 公開授業の実施方法について  
(2) FD研修会について  
(3) その他

○第2回

- 日時 平成30年 7月23日(月)  
議題 (1) FD研修会について  
(2) その他

○第3回

- 日時 平成30年10月1日(月)  
議題 (1) 公開授業の実施方法について  
(2) FD研修会について  
(3) その他

②教育の質保証に関するワーキング・グループ

今年度のWG2では主に、①「学生FDスタッフ内規」および「BTA内規」の改正、②学生FDスタッフの活動支援、③「授業アンケート」のあり方や実施結果、について検討してきました。

①の内規改正では、制定後2年を経た両内規をより現実に即したものに、そして国等の評価基準・補助要件に適合するよう改正を検討しました。②の学生FDスタッフ支援については、学生FDスタッフの自主性を尊重しながらもBTAのPRや選考に係る助言や学長との懇談会に先立つ打ち合わせなど様々な連携をとってきました。③の「授業アンケート」については、回答率の向上に向けた働きかけの方法や、質問項目の内容について検討してきました。さらには、国等の評価基準・補助要件に適合するよう実施対象範囲の拡大や結果の公開範囲の見直しなど組織的な改善方法の検討を行いました。

なお、これら諸検討課題の中には次年度以降に引き継がれるものもあります。

○構成員 川上 富雄（座長）、岩永 正晴、塩入 みほも、岩本 哲也

○第1回

日 時 平成30年 5月30日（水）

- 議 題
- (1) 学生FDスタッフ制度について
  - (2) 学生が選ぶベスト・ティーチング賞について
  - (3) 学長との意見交換会について
  - (4) 「学生による授業アンケート」について
  - (5) その他

○第2回

日 時 平成30年 6月26日（火）

- 議 題
- (1) 学生FDスタッフ制度について
  - (2) 学生が選ぶベスト・ティーチング賞について
  - (3) その他

○第3回

日 時 平成30年10月2日（火）

- 議 題
- (1) 「学生による授業アンケート」について
  - (2) 学生FDスタッフ活動状況について
  - (3) 学生が選ぶベスト・ティーチング賞について
  - (4) 学長との意見交換会について
  - (5) その他

○第4回

日 時 平成30年11月20日（火）

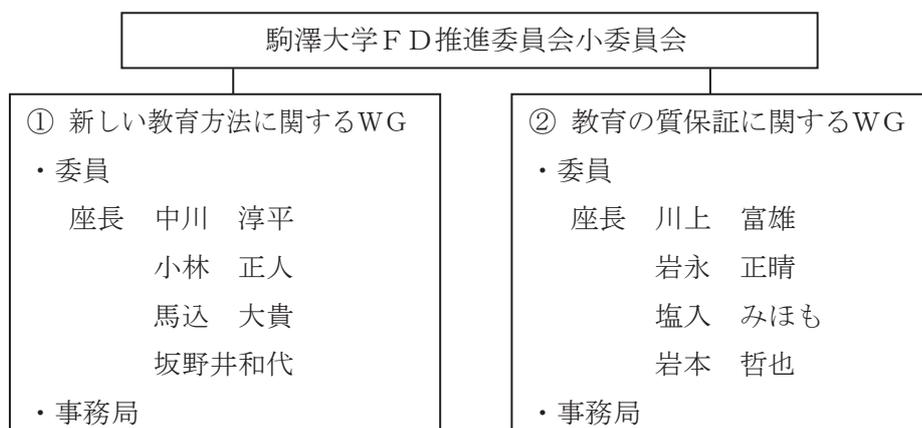
- 議 題 (1) F D 研修会について  
 (2) 学長との意見交換会について  
 (3) 「学生による授業アンケート」について  
 (4) その他

○第 5 回

日 時 平成 31 年 1 月 8 日 (火)

- 議 題 (1) F D 研修会について  
 (2) 学生が選ぶベスト・ティーチング賞について  
 (3) 「学生による授業アンケート」について  
 (4) その他

平成 30 年度 駒澤大学 F D 推進委員会小委員会ワーキング・グループ 構成



注. 委員長・副委員長は適宜各ワーキング・グループに参加することとする。

## 2. 研修会

### (1) F D 研修会

全教職員を対象とした F D 研修会を開催した。

【第 1、2 回】

日 時：平成 30 年 5 月 30 日 (水) 16:30～17:30  
       平成 30 年 5 月 31 日 (木) 16:30～17:30  
 場 所：3-406 教場 (30 日)、3-404 教場 (31 日)  
 テ ー マ：ICT を利用した「ループリック」作成ワークショップ  
 講 師：小林 正人 先生 (経済学部教授)  
       中川 淳平 先生 (経営学部教授)  
       馬込 大貴 先生 (医療健康科学部講師)  
 協 力：津野 未来子 総合情報センター・e-コンシェル

参加者：教員：40名 職員：9名

【第3回】

日時：平成30年7月30日（月）13:00～14:30

場所：本部棟6階 大会議室

テーマ：大人数科目におけるアクティブ・ラーニングの事例紹介

講師：坂野井 和代 先生（総合教育研究部教授）

中野 香織 先生（経営学部教授）

参加者：教員：25名 職員：8名

【第4回】

日時：平成30年11月6日（火）17:00～18:30

場所：3-309教場

テーマ：身近な授業に活かせる反転授業について

講師：篠原 正雄 先生（総合教育研究部教授）

西村 祐子 先生（総合教育研究部教授）

参加者：教員：13名 職員：6名

【第5回】

日時：平成30年12月4日（火）16:30～18:00

場所：3-706教場

テーマ：ダイバーシティからインクルージョンへ

講師：猿山 義広 先生（本学学生支援担当副学長・経営学部教授）

参加者：教員：12名 職員：9名

【第6回】

日時：平成31年2月1日（金）16:30～18:00

場所：中央講堂

テーマ：平成30年度学生が選ぶベスト・ティーチング賞受賞科目にみる  
教育方法と教育活動の質の向上

講師：各務 洋子 先生（GMS学部教授）

小野 洋平 先生（文学部非常勤講師）

笠谷 一夫 先生（総合教育研究部非常勤講師）

参加者：教員：20名 職員：10名

(2) 平成30年度新規採用教員オリエンテーション

新規採用専任教員・非常勤教員を対象にしたオリエンテーションを開催した。

日 時：平成30年4月2日（月）14：40～17：00

出席者数：100名（対象者 161名）

次 第：学長挨拶

教務部長挨拶

大学案内（教務部・総合情報センター・図書館）

### 3. 学生が選ぶベスト・ティーチング賞

#### （1）平成30年度学生が選ぶベスト・ティーチング賞

一昨年度より、「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」を制定した。投票は、平成30年11月3日（土）～11月24日（土）に、Google フォームにより行われ、厳選なる選考の結果、以下のとおり、上位7名の先生が選出され、平成30年12月17日（月）に授賞式が行われた。

受賞科目	「心 理 学」	小野 洋平（文学部非常勤講師）
	「日本の文化と社会」	加藤 之晴（総合教育研究部非常勤講師）
	「ドイツ語 I A b」	畠山 寛（総合教育研究部准教授）
	「経営戦略論」	中村 公一（経営学部教授）
	「グローバル経営論」	各務 洋子（GMS学部教授）
	「仏教民俗学」	徳野 崇行（仏教学部講師）
	「教職入門」	笠谷 一夫（総合教育研究部非常勤講師）

#### （2）学生FDスタッフ

「学生FDスタッフ」は、学生による学生目線の教育改善を目指して、各学部生や教職員とともに、学生が選ぶベスト・ティーチング賞（BTA）などのFDに関するイベントの企画、広報、運営を行う学生組織である。平成30年度は以下の活動を行った。

##### ○学生FDスタッフ募集説明会

日 時 平成30年4月25日（水） 12：20～12：50

場 所 3-212

##### ○学生FDスタッフ選考面接

日 時 平成30年5月14日（月）、17日（木）、18日（金）

12：20～12：50

場 所 本部棟5階会議室

備 考 各日程で3～5名ずつ、グループ面接を行った。

##### ○学生FDスタッフ結成式

日 時 平成30年6月1日（金）

12:20～12:50

場 所 本部棟8階会議室

○第1回打ち合わせ

日 時 平成30年6月11日(月)

内 容 メンバーの自己紹介、BTAの概要説明、BTA以外の活動の検討  
以降、学生FDスタッフと担当職員はLINEを用いて随時連絡を行った。

○第2回打ち合わせ

日 時 平成30年6月18日(月)

内 容 リーダーの決定、BTA広報方法の検討、BTA以外の活動の検討

○第3回打ち合わせ

日 時 平成30年7月9日(月)

内 容 BTA・受賞科目案の選定方法の検討、設問案の検討、広報方法の検討

○第4回打ち合わせ

日 時 平成30年7月23日(月)

内 容 BTA設問案の検討、経年的活動内容の検討、担当チーム分け

○第5回打ち合わせ

日 時 平成30年9月13日(木)

内 容 BTA広報動画の検討、教員インタビュー実施方法の検討

○第6回打ち合わせ

日 時 平成30年9月27日(木)

内 容 BTA広報動画の検討、ユニフォームの検討、教員インタビュー対象の検討

○第7回打ち合わせ

日 時 平成30年10月4日(木)

内 容 BTA広報動画の検討、ユニフォームの検討、Twitter運用の検討

○広報動画撮影

日 時 平成30年10月17日(水)・22日(月)

内 容 漫画倶楽部の学生の協力を得て、動画素材を撮影

○第8回打ち合わせ

日 時 平成30年10月29日（月）

内 容 オータムフェスティバルでのB T A広報について確認

○告知活動

日 時 平成30年10月末～11月25日（日）

内 容 ポスター（学内掲示板、大学会館246、A1タテ型屋外看板、教務部ロビー等）、チラシ配布（オータムフェスティバル、協力を得た教員の授業教場）、映像（学食、教務部ロビー、大学会館246）

動 画 <https://youtu.be/x4q8JaN3Yg0>

○「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」受賞科目選考会

日 時 平成30年11月29日（木） 12:20～13:00

場 所 3-306

○「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」授賞式

日 時 平成30年12月17日（月） 12:20～12:50

場 所 中央講堂

○「学長との意見交換会」事前打ち合わせ

日 時 平成30年12月20日（木） 12:20～13:00

場 所 3-706

内 容 ワーキング・グループの教員と、学長へ提出する意見について検討した。

○「学長との意見交換会」

日 時 平成31年1月30日（水） 10:40～12:10

場 所 本部棟8階会議室

○「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」記念品デザイン

作 成 平成31年1月

内 容 オリジナルトロフィーを作成し、受賞者7名へ贈った。

○「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」パンフレット作成

発 行 平成31年3月

内 容 得票があった多くの科目をパンフレットに掲載し、1票でも投票のあった教員へは、その内容を文書にて通知した。

## 4. 公開授業

公開授業の目的は、授業改善のための教員による相互研鑽を目的とし、工夫に富んだ授業に接し、その体験によるさまざまな発見を通して、今後の授業改善のためのヒントを得ることにある。

本年度の公開授業は、各学部等の F D 推進部会の協力により、「平成 30 年度公開授業一覧」(表 1) のとおり実施した。参観希望の授業科目の時間に直接教場に行き、後方に着席し、当日、学部によっては意見交換会が開催された。また、「平成 30 年度公開授業実施結果の報告」(表 2) のとおり実施結果について報告がなされた。

(表 1) 平成 30 年度公開授業一覧

学部	担当教員	実施日	時限	教場	科目名称
仏教学部	松田 陽志	11/28 (水)	3	禅研一坐禅堂	坐禅
	藤井 淳	11/27 (火)	3	8-258	仏教漢文入門
		12/12 (水)	2	8-258	基礎演習
文学部	北原 賢一	12/1 (土)	2	3-303	英語演習
経済学部	宮田 惟史	11/14 (水)	3	1-301	経済学史 b
	石川 祐二	11/20 (火)	3	1-401	管理会計論 b
	舘 健太郎	11/30 (金)	2	1-401	産業組織論 b
法学部	高田 実宗	12/6 (木)	1	8-255	行政法
	山崎 望	11/28 (水)	1	8-255	政治学 (国際社会と日本)
経営学部	福田 慎	11/27 (火)	1	1-202	金融論
	菅野 佐織	11/30 (金)	1	3-211	消費者行動論
医療健康科学部	藤田 幸男	11/27 (火)	2	3-206	放射線関係法規
GMS 学部	朴 正洙	11/21 (水)	4	8-150	マーケティングコミュニケーション
	平井 辰典	11/19 (月)	3	1-402	Web コンテンツデザイン各論
総合教育研究部	山本 敏子	11/29 (木)	6	3-312	教育実習指導
	出井 章雅	11/12 (月)	3	2研-101	生涯スポーツ実習
	三好 俊介	11/27 (火)	3	7-303	ロシア語 I A b

(表 2) 平成 30 年度「公開授業実施結果」報告

学部	仏教学部	実施教員	松田 陽志
1. 実施日・曜日・時限	11月28日(水)・3時限	教場	禅研一坐禅堂
2. 実施科目名	(全学共通科目) 坐禅	報告責任者	佐藤 秀孝
3. 学生履修者数	120人		
4. 公開授業参加者数	1人		
5. 授業実施状況 全学共通科目の坐禅なので、各学部学科で坐禅に興味のある学生が受講して坐禅を行なっている。松田・大澤両先生の指導によって整然と所作がなされており、学生が静寂の中で坐禅・経行・唱偈をこなしていた。松田先生の『正法眼蔵坐禅儀』の提唱も落ち着いた雰囲気の中で淡々とつづけられていた。全体として学生たちに好印象を受けた。他の一般的な授業と違って自己と向き合う坐禅の授業の重要性を改めて感じた。			
6. 授業改善ポイント指摘事項 若干、姿勢の悪い学生や、坐禅講本の持ち方が気になる学生も存した。坐禅を終了して単から降りるのが早い学生が多く、結跏趺坐、半跏趺坐なのか否かが少し気になった。			

学部	仏教学部	実施教員	藤井 淳
1. 実施日・曜日・時限	11月27日(火)・3時限	教場	8-258
2. 実施科目名	仏教漢文入門	報告責任者	岩永 正晴
3. 学生履修者数	35人		
4. 公開授業参加者数	5人		
5. 授業実施状況 語学修得のための授業ということで反復が意図され、授業の終わりに次回授業での学習範囲の予習として先生による訓読の音読がなされ、学生達がそれを確認していた。その際に、あるいは次回授業までに出された質問に答えることから授業が始められた。そして学生に訓読とみずから作成した訳を音読させていた。授業時においては、毎回異なる学生が二人一組になるよう座らせ、不明点を互いに確認させるようにしていた。そのことが学生達に緊張感を保たせることに結びついていると考えられた。また教場全体に気配りがなされ、机間指導も適切に行われ、落ちこぼれを出さない配慮がなされていた。			
6. 授業改善ポイント指摘事項 以下の2点の意見が出された。 1) 学生を呼ぶ際は性によって「君」「さん」と区別するのではなく、「さん」で統一した方が良い。 2) 基本構文は初出でなくても、その都度繰り返し解説をした方が良い。以上			

学部	仏教学部	実施教員	藤井 淳
1. 実施日・曜日・時限	12月12日(水)・2時限	教場	8-258
2. 実施科目名	基礎演習	報告責任者	大澤 邦由
3. 学生履修者数	30人		
4. 公開授業参加者数	2人		
5. 授業実施状況			
<p>学生を3グループに分けて難民問題について調べさせ、パワーポイントにより40分の持ち時間で発表させた後、他の2グループに良かった点、改善点、質問をそれぞれ挙げさせていた。今回の発表では7名からなるグループのリーダーが司会を兼ね、各人がそれぞれのパートについて発表し、時に教室の学生に問いかけて進めていた。</p> <p>単に発表をさせるだけではなく前後の指導が細かくなされていた。発表外の学生の発言に対してもコメントをしており、よい質問についてはほめるなどして、学生とのコミュニケーションを密にしながら指導を行っていた。</p> <p>課題や報告分を添削して返しており、綿密な指導がなされていた。</p> <p>次週は学生の3000字論文の回し読みをさせる予定という。</p>			
6. 授業改善ポイント指摘事項			
<p>グループ発表中に、発言者以外で携帯を見ている人がいた。自分の発表のメモだと思われるが、仲間の発表を聞く姿勢の指導が必要との意見がでた。</p> <p>また、グループ全員がそれぞれ担当部分を発表したものの、積極的に発言する人は一人に偏っており、その他の人は用意された原稿を読んでいただけのように見受けられた。それは7名というグループ人数の多さに起因する可能性があると思われた。</p>			

学部	文学部	実施教員	北原 賢一
1. 実施日・曜日・時限	12月1日(土)・2時限	教場	3-303
2. 実施科目名	英語演習	報告責任者	大淵 利春
3. 学生履修者数	28人		
4. 公開授業参加者数	2人		
5. 授業実施状況			
<p>①10分間の text review drill、その後、学生と答え合わせ。Beginner's Level の vocabulary と idiom の問題だが、warm-up として効果的。</p> <p>②テキストの解説。syntax について、具体例をあげて説明。その後、学生に問題を解かせる。答え合わせは学生に板書させて行なう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ランダムに学生を指名するため、緊張感がある。</li> <li>・言語学に関する専門知識を活かし、それを通常の語学の授業に応用している。</li> </ul>			
6. 授業改善ポイント指摘事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・syntax についての説明は、一年生ということを考えれば、やや難解だと思われる。</li> </ul> <p>もう少し時間をとって、学生の理解をうながすのも効果的かもしれない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・また diagram の説明をもう少し詳しくした方がよいかも。</li> </ul>			

学部	経済学部	実施教員	宮田 惟史
1. 実施日・曜日・時限	11月14日(水)・3時限	教場	1-301
2. 実施科目名	経済学史b	報告責任者	田中 綾一
3. 学生履修者数	約120人		
4. 公開授業参加者数	1人		
5. 授業実施状況			
<p>●その日の授業内容を記した、比較的詳細なレジュメを開始時に配布。レジュメの内容を板書で敷衍していくスタイルで講義は進行する。</p> <p>●この日の内容は、A3両面で2枚程度。当日の内容に入る前に、前回の復習を10分弱程度実施する。</p> <p>●授業の最後にリアクション・ペーパーを配布して記入させるが、いわゆる「アクティブ・ラーニング」的な要素は多くなく、大学の講義らしいスタイルといえる。</p>			
6. 授業改善ポイント指摘事項			
[参考にしたい点]			
<p>●レジュメの作り方が参考になる。読み物としても興味が持てるように構成されている。</p> <p>●板書が綺麗にまとまっているところが良い。一時的に話の筋を見失うことがあっても、本筋に戻りやすい。</p> <p>●1回分として用意した内容を、途中で終わったり時間を余らせたりせず、授業1回分できちんと消化していることも評価できる。</p>			
[その他コメント]			
<p>●良い意味で、大学の授業らしい、オーソドックスなスタイルである。教員の話聞いて、レジュメを熟読しつつ、じっくり自分のペースで考えるには適しているのではないか。</p> <p>●もう一回り板書の文字は大きい方がよいかもかもしれない(現状でも、大教室の真ん中あたりで十分判別することは可能だが、やや読みにくそうにしている学生がいた)。</p>			

学部	経済学部	実施教員	石川 祐二
1. 実施日・曜日・時限	11月20日(火)・3時限	教場	1-401
2. 実施科目名	管理会計論b	報告責任者	高野 学
3. 学生履修者数	242人		
4. 公開授業参加者数	1人		
5. 授業実施状況			
<p>アメリカ生まれの管理会計技法であるバランスト・スコアカード (Balanced Scorecard) について解説した授業であった。まず、管理会計の歴史、経済的背景を踏まえながら、また伝統的な業績評価の会計的側面における問題点を取り上げながら、バランスト・スコアカードが生まれた背景を出発点として講義が行われた。続いて、バランスト・スコアカードで用いられている4つの視点(財務の視点、顧客の視点、業務プロセスの視点、学習と成長の視点)についてそれぞれ取り上げ、最後に今回の講義のまとめとして、バランスト・スコアカードの新規性について触れられた。</p>			

## 6. 授業改善ポイント指摘事項

大教室の授業であったが、私語をする学生はおらず、静かな授業環境が保たれた講義であった。また、配布プリントと黒板を効果的に使用した授業であった。特にプリントについては、キーワードになる用語を空欄にしておき、学生に適宜穴埋めするような工夫がなされていた。さらに、講義自体もバランスト・スコアカード登場の背景からバランスト・スコアカードの新規性まで流れるような解説が行われ、90分ちょうどで今回のバランスト・スコアカードの講義内容を説明し終えた点は見事であった。授業の改善点を強いて挙げれば、プリントの空欄のスペースをもう少し取っていただければ、余裕をもって用語を書き込めたかもしれない（空欄のスペースが若干狭かったため）。また、マイクの音量を今よりももう少し大きくした方が、学生により聴きやすくなるのではないかと感じた。

学部	経済学部	実施教員	舘 健太郎
1. 実施日・曜日・時限	11月30日(金)・2時限	教場	1-401
2. 実施科目名	産業組織論b	報告責任者	明石 英人
3. 学生履修者数	490人		
4. 公開授業参加者数	2人		

## 5. 授業実施状況

「垂直的取引関係」というタイトルが付けられた、レジュメ(A4で6ページ分)が配布された。最初に前回の講義の復習として、「戦略的参入阻止」について解説があった。新規参入をめぐる水面下での駆け引きについて、展開型ゲームを用いながら、簡単なシミュレーションが行われた。参入障壁を意図的に大きくする戦略的参入阻止や規制緩和のメリット・デメリットに関して、非常にわかりやすい説明がなされた。次に本題として、垂直的取引について論じられた。サプライチェーンの垂直的取引関係について、メーカーと小売業者の取引を例に採りながら、解説がなされた。その際に、再び展開型ゲームを用いられ、部分ゲーム完全均衡を求めてゲームの結果について予想が提示された。それによって、垂直的取引関係における非効率性(二重マージン)の問題がありうる事が明らかにされた。全体的に落ち着いた雰囲気の中で講義が進み、展開型ゲームに関連する作業など、受講生が意欲的に取り組むための工夫がなされていた。

## 6. 授業改善ポイント指摘事項

板書が見やすく、発声ははっきりしており、授業スピードも適度であったと思われる。レジュメは丁寧に作成されており、受講生が復習しやすいものになっている。口頭説明の際に出された具体的な事例の中で、学生の世代には少し認知されにくいものが一部あったが、それはむしろ社会の変化のスピードを実感させる面もある。そうした点について教員同士がコミュニケーションを深めていくことがFDの取り組みにおいて重要なことの一つなのかもしれないと感じられた。

学部	法学部	実施教員	高田 実宗
1. 実施日・曜日・時限	12月6日(木)・1時限	教場	8-255
2. 実施科目名	行政法	報告責任者	塩入 みほも
3. 学生履修者数	210人		
4. 公開授業参加者数	5人(教務部職員含む)		

## 5. 授業実施状況

授業は通常の講義形式で実施されている（但し、最後の方に 5 分程プロジェクターを用いた手紙の紹介があった）。その日の講義のレジюмеは Y e s t u d y により事前に配布されているとのことであるが、印刷済みの資料一式が教場にも用意されており、自分でプリントアウトした資料を持参していない学生でも当日レジюмеを参照できるように配慮されていた。なお、レジюмеだけでなく、教科書の該当ページのコピーも毎回配布されているようである（学生に過去の配布資料を見せてもらったところ、毎回のレジюмеと一緒に教科書のコピーが綴られていた）。

レジюмеは数ページに及び（この回は A3 で 6 枚・12 頁、前回は 4 枚・8 頁）、その日のテーマに係る論点整理、関連条文、判例（事案概要と判旨）、新聞記事のコピー、例題等が掲載されており、手間をかけて丁寧に作成されていた。

授業は、教科書とレジюмеに沿い、黒板に図解をしながら口頭により説明する方式で進められた。板書の文字は、黒板をいっぱい使用した非常に大きな楷書で最後部座席でも読み易く（1 文字 A3 以上？）、声も大きく快活な喋りで非常に聞き取り易かった。なお、定着度の確認を目的とした演習問題も普段は実施しているとのことであるが、この日は時間の都合により演習問題は行われず、次回に持ち越しとなった。

## 6. 授業改善ポイント指摘事項

上記のとおり、レジюмеの作成等の準備に相当の手間を掛け、あらゆる面で受講生に配慮した非常に親切な授業が行われている。また、板書の文字の大きさと、1 限から元気でパワフルな解説には圧倒され、感心させられた。

但し、その学生目線の親切さが裏目に出ている部分もあるように見受けられた。例えば、①受講生の殆どが後部座席に偏っており、中央より前方はほぼ空席であったこと、②レジюме・教科書のコピーが配布されるため、(a) 板書や解説をノートに書き取っている学生が殆ど見当たらず、大半の者が配布資料をただ読み（但し、直接レジюме等にメモ書きする者は有り）、また (b) スマホをいじる、寝ているといった学生も散見されたこと、(c) 出席率が必ずしも良くないこと、である。丁寧にまとめられた資料一式（又はそのコピー）を入手することで、真面目に受講してノートを取らなくても試験対策に問題ないものと安心してしまうのではなかろうか。また、関係条文や判例も全てレジюмеに掲載されているため、六法や判例集を持参・参照している学生が（この日だけかもしれないが）ほぼ見当たらなかったことも気になった。他学部開講科目であれば必要な配慮であり、受講者にとっては有り難いことであるが、法律学科の学生に対する教育の一環として、少なくとも六法は持参・参照させるようにした方が良いのではないかと思われる。しかし、教員の熱意は十分に伝わってくる授業なので、サービスの提供（＝配布資料の内容）を適度に調整することにより、学生の好奇心と学習意欲を引き出せる良い授業になるものと思料する。

学部	法学部	実施教員	山崎 望
1. 実施日・曜日・時限	1 1 月 2 8 日（水）・1 時限	教場	8 - 2 5 5
2. 実施科目名	政治学（国際社会と日本）	報告責任者	高田 実宗
3. 学生履修者数	1 9 2 人		
4. 公開授業参加者数	1 人		

## 5. 授業実施状況

本講義は、学習において必要となる適度な情報が記載されたレジュメを配布したうえで、簡単なキーワードおよび図を板書しながら、伝統的なレクチャー方式に則って進められた。担当教員は、講義開始10分以上前から教場に待機し、予め、事務的な伝達事項を黒板の右側に記載し、その周知を図っていた。講義の冒頭に、レジュメ3枚およびレスポンスカード1枚が配布され、最初の35分間ほど、教員自身の体験談や身近な話題を織り交ぜながら、本講義のテーマである民主主義について、その導入となる話題提供がなされており、学生の知的好奇心を刺激する工夫がみられた。また、前回の講義に際して、インターネット上に掲載された報道番組の動画について、本日までに視聴しておくようこの課題が提示されていた模様であり、担当教員が、動画を視聴した者に対して挙手を求めたところ、8割以上の学生が、これに応じて手を挙げており、課外における学習機会の担保が図られていたと思われる。講義が本題に移ってからは、口頭による説明を行う傍ら、基本的事項の概略図を板書にて示し、その理解を助けていた。さらに、こうした一方的な講義に終始するにとどまらず、適宜、教員から学生に対して問いを投げかけた上で、それに対して挙手で応答させる取り組みも実施され、この他、講義の終盤に際して、講義内容に係る課題を提示し、それに対する賛成または反対の意見を上記のカードに記入させており、考える機会を与える双方向的な学習環境の形成に努めていた。

## 6. 授業改善ポイント指摘事項

本講義は、開講時限が1限であるにもかかわらず、講義開始前から多くの学生が集まっており、かつ、大教場であるにもかかわらず、前方の席に空席が少なく、その人気度の高さが伺えた。その一方、先に触れた開講時限の都合からか、遅刻してくる学生が少なからずいたことに加え、講義が進むにつれ、睡魔に襲われ夢の世界へ旅立つ学生の姿が目についた。また、特に講義の後半に差し掛かると、スマートフォンと戯れる学生が散見されるようになった。本講義それ自体は、とても興味深い内容であるにもかかわらず、こうした姿勢の学生が生じてしまうことは、担当教員の立場からすれば、残念であるといわざるを得ないであろう。結局のところ、90分間に及ぶ講義は、いくら熱のこもった講義を教員が一方的に展開しても、学生の集中力を持続させるという観点からは、その難しさを抱えていると思われる。こうした問題点を念頭に置いてか、本講義では、適宜、担当教員から学生に対する質問が発せられ、これに対して挙手を求めている。このような双方向的なコミュニケーションは、学生にとって、自らの頭で考える機会となっており、さらに言えば、その集中力を途切れさせない手法として、一定の効果があると考えられる。こうした機会の設定頻度を高めることができれば、本講義の質は、さらに向上するといえよう。同様の理由から、レスポンスカードを用いた意見聴取は、その意義が大きい。この意見を記入させるに際して、学生同士に議論させる時間を与えれば、より多様な意見を念頭に置いた思考力の養成に繋がり、本講義が持つ価値の更なる付加に寄与するであろう。

学部	経営学部	実施教員	福田 慎
1. 実施日・曜日・時限	11月27日(火)・1時限	教場	1-202
2. 実施科目名	金融論	報告責任者	中川 淳平
3. 学生履修者数	83人		
4. 公開授業参加者数	2人		

## 5. 授業実施状況

・日本の金融システムの特徴について、メインバンク制度から日本版ビッグバンまで歴史的、制度的な観点から分類、整理したうえで、国内の金融システムだけに関心を寄せるのではなく、国際的な整合性をとる必要性がある点について説明がなされた。

・講義スタイルはプロジェクトに項目とその内容を表示しながら詳細な説明を行う形で進められ、履修者は、YeStudy で事前にアップロードされた講義のアウトラインを示したパワーポイント資料をプリントアウトして持参するか、ノートパソコンを持ち込んで、掲示された内容を補足し、説明について適宜メモ（または入力）しており、総じて真剣な履修態度であった。

## 6. 授業改善ポイント指摘事項

・事例が豊富で説明内容が分かりやすく、発声も明瞭であるため、理解しやすかったが、実施時間帯が異なるなど、履修者のレベルが変化した場合には、進め方を遅らせる、もしくは補習の機会を与える必要があると思われるが、前期試験の結果から高い水準の履修者が多いことが判明しているため、今年度は現状のままで良いと考えられる。

学部	経営学部	実施教員	菅野 佐織
1. 実施日・曜日・時限	11月30日（金）・1時限	教場	3-211
2. 実施科目名	消費者行動論	報告責任者	武谷 慧悟
3. 学生履修者数	107人		
4. 公開授業参加者数	5人		

## 5. 授業実施状況

「感情と消費者行動」と題し、学生にも身近な「衝動購買」のメカニズムを中心に興味深い授業が展開された。授業は、パワーポイントを用いた講義形式である。受講者は、2日前までにYeStudy にアップロードされる資料を印刷し、授業に持参することになっている。アップロードされる資料には適宜空白が設けられており、受講者に投影スライドの一部を記入させる形式であった。スライドや授業展開方法について、公開授業に出席された先生方からは、以下のような意見が寄せられた。

- ・授業内容を具体的にイメージさせる画像がスライドに多数用いられており、非常にわかりやすい
- ・話す速度がゆっくりで聞き取りやすく、低めに整えられた声のトーンからは落ち着きを感じられる
- ・菅野先生ご自身が取り組まれた研究のエピソードなど、興味深い話題が多数織り込まれた授業が展開されていた
- ・授業時間の管理が巧みである（ちょうど90分間でその日の内容を終えていた）

1 限開講にもかかわらず、学生の出席状況は極めて良好であった。教場内は静粛な環境が保たれており、90分間を通して学生の集中力も高い状態が維持されていた。授業終了後には、質問待ちの列ができており、受講者の授業内容に対する関心の高さを伺うことができた。

## 6. 授業改善ポイント指摘事項

一部の学生は、スライドの内容を書き写すのではなく、スマホで撮影していた。しかし、記入には十分な時間が与えられており、メモをとることは可能である。むしろ、公開授業に参加した先生からは、「スライドの内容を書き写させることで、学生が集中力を切らさずに受講できている」「学生がスライドを書き写している間、教員が次に話す内容について考える余裕を持つことができる」といった好意的な意見が

複数挙がった。以上を踏まえると、スライドの内容を記入させるという現在の形式と記入量について、変更は不要だと考えられる。

学部	医療健康科学部	実施教員	藤田 幸男
1. 実施日・曜日・時限	11月27日(火)・2時限	教場	3-206
2. 実施科目名	放射線関係法規	報告責任者	志村 一男
3. 学生履修者数	52人		
4. 公開授業参加者数	3人		
5. 授業実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令の授業は学生にとって理解しにくい授業であるが、国家試験の出願等を加味したポイントが示されていて、学生の意識を引く工夫がなされていた。</li> <li>・C-Learning を利用した出欠、YeStudy を利用した小テストなど本学の教育用 IT を上手に活用していた。</li> <li>・学生も私語もなく、配布プリントに線を引きメモを取りながら授業に取り組んでいるのが印象に残った。</li> </ul>			
6. 授業改善ポイント指摘事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2、3名ではあるが、授業中に一部寝ている学生もいた。</li> </ul> <p>学生への質問など双方向授業の取り組み等を加えると更に効果的な授業になると思われる。</p>			

学部	GMS 学部	実施教員	朴 正洙
1. 実施日・曜日・時限	11月21日(水)・4時限	教場	8-150
2. 実施科目名	マーケティングコミュニケーション	報告責任者	山口 浩
3. 学生履修者数	約250人		
4. 公開授業参加者数	2人		
5. 授業実施状況			
<p>大教場のため開始当初はざわついていたが徐々に静まり、最後までをそれを保った。授業は講義形式でテキストを用いつつ内容をパワーポイントのスライドで示して説明する。内容は東日本大震災時の公共広告の放映量と印象に関する分析結果をもとに広告コミュニケーションの効果に影響を与える要因を説明するもの。広告はウェブで公開された動画を見せるなど動きのある構成といえる。大教場ゆえ細かなインタラクションは難しい状況だが適宜リアクションペーパーを用いるなどして双方向性の確保を図っている。</p>			
6. 授業改善ポイント指摘事項			
<p>一部スライドでフォントが小さいものがあつたため、可能な限りそろえとよい。</p> <p>グラフによる分析結果の説明は多くの場合わかりやすかつたが、中にはもう少ししていねいに説明した方がよいと思われるものもあつた。インタラクティブな授業構成はこの人数では難しく、可能なら人数を絞る方がよいのではないか。</p>			

学部	GMS 学部	実施教員	平井 辰典
1. 実施日・曜日・時限	11月19日(月)・3時限	教場	1-402

2. 実施科目名	Web コンテンツデザイン各論	報告責任者	石橋 直樹
3. 学生履修者数	60人		
4. 公開授業参加者数	1人		
5. 授業実施状況			
<p>本講義は、様々な HTML のタグや Javascript を用いた Web コンテンツデザインの基礎を学ぶためのものである。また、4 限に実施されている Web コンテンツデザイン演習とセットで履修することで、学生は講義を受けた上で実践的にデザインを実習することができる。加えて、講義資料を拝見したところ、特に Javascript プログラミングに重心を置くことで、静止画的なデザインだけではなく、動きを伴ったコーディングをデザインとして教えているところが興味深い。</p> <p>11/19 に実施された講義を拝聴したところ、画像・動画・音声に関わる基本的なタグや Javascript（具体的には Canvas など）の動作と使い方などについて、非常に丁寧に講義されていた。講義資料自体は画面での表示に加えて GMS の授業支援システムにおいて配信されており、学生はそれらを手元に見ながら受講している。教員はその資料を見せつつ、実際に画面上でプログラミングを行い、またそのプログラミングの過程を実験的に見せることで、考えながら学習できる工夫がなされているように見受けられた。音量・声質ともに申し分なく、学生も集中して受講していたように見受けられた。</p>			
6. 授業改善ポイント指摘事項			
<p>邪推かもしれないが、公開授業ということで、数回分の話題を総括的に今回にまとめてくださったように思う。お気遣いいただいた関係で非常に密度の濃い講義だったが、逆に内容が多いので、消化不良の学生もいたかもしれない。</p> <p>また、平井先生の責任ではなく、私の講義も同様だが、遅刻して教室に入る学生が多い。講義開始時の受講者は 45 名程度だったが、終了時点では 60 名程度であった。教員個人はもとより学部や大学全体としても、大学の学びにかかわる意識やマナーについて、学生に対する意識付けが望まれる。</p>			

学部	総合教育研究部	実施教員	山本 敏子
1. 実施日・曜日・時限	11月29日(木)・6時限	教場	3-312
2. 実施科目名	教育実習指導	報告責任者	伊藤 茂樹
3. 学生履修者数	29人		
4. 公開授業参加者数	2人		
5. 授業実施状況			
<p>来年度教育実習を行う 3 年次生を対象とした事前指導の科目であり、本時においては計 4 名の学生が 2 組に分かれ、実習科目である高校の現代社会及び政治経済の模擬授業を行った。それぞれが作成した学習指導案と使用する教科書の該当部分のコピーを配布して模擬授業を行う一方、他の受講者は生徒役となって授業に参加し、終了後には批評を行うという形式で進行した。</p>			
6. 授業改善ポイント指摘事項			
<p>3 年次後期において多くの学生の授業を行う力量はまだ不足しており、模擬授業においてはそのことが露呈する場面が少なくなかったが、他の学生はそのことを指摘しつつ、長所を見つけて褒めることで、模擬授業をした学生の動機づけを高めていた。担当教員は自身によるコメントを最小限に抑えてこうした雰囲気作りを効果的に行う一方、必要な指摘は個別に行うことで改善につなげることを可能にしていた。</p>			

学部	総合教育研究部	実施教員	出井 章雅
1. 実施日・曜日・時限	11月12日(月)・3時限	教場	2研-101
2. 実施科目名	生涯スポーツ実習	報告責任者	秋田 浩一
3. 学生履修者数	30人		
4. 公開授業参加者数	1人		
5. 授業実施状況 <p>体育実技として、卓球の授業が行われた。シラバスにも記載している内容通り、「卓球の学年別対抗戦」が行われた。4学年に分かれシングルスとダブルスを行い、合計得点により勝敗が決定していく。シングルスではオーダー順に対戦が振り分けられ、ダブルスではペア決めの時間が設けられ、各学年どのようなペアで戦うか相手との心理戦の中でディスカッションが行われた。指導教員からは基本的に男女ミックスのペアを作るように指示がなされた。体育実技において、競技力向上は勿論、受講生の競技意欲がどれほど高いかが授業を進行していく上で重要となる。全員が卓球で汗を流し、休憩の者は審判等で時間を上手く有効活用していた。どの学生も楽しく受講しており、チーム戦もありチームメイトと協力してゲームを実施していた。</p>			
6. 授業改善ポイント指摘事項 <p>履修人数が30名に対して当日の欠席者が多少多いと感じられた。指導教員からは、後期最初では履修をしているが初回の授業から出席していない学生が多数いるため、履修人数と参加人数に差が生じていると報告があった。また、学年対抗戦において特にシングルスでの力の差がある組み合わせがあったので、チーム編成の工夫があればよりよかったのではないかと指摘された。</p>			

学部	総合教育研究部	実施教員	三好 俊介
1. 実施日・曜日・時限	11月27日(火)・3時限	教場	7-303
2. 実施科目名	ロシア語 I A b	報告責任者	下薮 りさ
3. 学生履修者数	12人		
4. 公開授業参加者数	5人		
5. 授業実施状況 <p>授業は教科書『《新版》はじめてのロシア語』に沿って、板書、OHP、CDプレーヤー、プリントなど様々なツールを駆使して行われた。内容的には土曜日ロシア語 I B b で扱われた「造格」の復習が中心だったが、説明→発音→CDを用いた発音チェックという一連の流れが終わるたびに、文化等の紹介(ロシア語フェス、展覧会、ロシアでの教員の実体験など)をしており、学生をあきさせない工夫に満ちた授業だった。</p>			
6. 授業改善ポイント指摘事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜日(ロシア語 I B)と火曜日(ロシア語 I A)の授業で役割分担がなされている。</li> <li>・学生の理解度を確認しながらゆっくりと進めている。</li> <li>・板書したのちに、ノートに書き写すための時間がとられている。</li> <li>・全体として、学生の集中力をたもたせる、安心感を持たせるための工夫がなされており、今後の参考になった。</li> </ul>			

## 5. 学生による授業アンケート

### (1) 「学生による授業アンケート」の概要

各教員の授業の改善を目的に、平成 30 年度「学生による授業アンケート」を下記の要領で実施した。C-Learning システムを利用し、Web 上で学生は回答をし、教員は結果を確認する方式をとっている。本報告書では、集約したデータの学部学科専攻部門・質問項目ごとの平均値を示した。

#### ◇実施期間

下記の期間に、該当科目の授業時間内に実施した。

前期（前期終了科目対象）： 2018年 6月4日～23日

後期（後期・通年科目対象）： 2018年11月5日～24日

#### ◇対象科目および対象学生数

全科目を対象に実施した。ただし、演習科目、集中講義科目ならびに受講者数が 20 名未満の科目は対象外とした。

#### ◇実施科目数および回答者数

前期 1, 247 科目

対象者：79, 031 人

回答者：39, 885 人（50. 5%）

後期 1, 712 科目

対象者：133, 754 人

回答者：50, 214 人（37. 5%）

## (2) 授業アンケート質問項目

Q 1. どのような理由でこの授業を履修しましたか。(複数選択可)

- 7: シラバスを見て授業内容に興味を持った
- 6: シラバス以外の情報(友人等)により、授業内容に興味を持った
- 5: 履修モデル(コース制等)を見て決めた
- 4: 資格の取得
- 3: 必修科目または選択科目だったから
- 2: 時間割(曜日時限)を考慮して決めた
- 1: その他

Q 2. この授業の予習に当てている時間は1週間に何時間くらいですか。

Q 3. この授業の復習に当てている時間は1週間に何時間くらいですか。

(Q 2・3 選択肢)

- 5: 3時間以上～
- 4: 2時間以上～3時間未満
- 3: 1時間以上～2時間未満
- 2: 1時間未満
- 1: 全くしていない

Q 4. あなたは授業に熱心に取り組んでいますか。

(Q 4の選択肢はQ 9の後に記載)

Q 5. この授業を何回欠席しましたか。

- 5: 0回
- 4: 1～2(半期科目)、1～4(通年科目)回
- 3: 3～4回、5～9(通年科目)回
- 2: 5～6回、10～13(通年科目)回
- 1: 7回以上、14(通年科目)回以上

Q 6. 授業はほぼ定刻通りに実施されていますか。

Q 7. 通常通り、授業回数は確保されていますか。(補講・YeStudy等による課題授業含む)

Q 8. 授業にはおおむねシラバスの内容が反映されていますか。

Q 9. この授業の進み方はあなたにとって適切ですか。

(Q 4・6～9 選択肢)

- 5: そう思う
- 4: ややそう思う
- 3: どちらとも言えない
- 2: ややそう思わない

1： そう思わない

Q 1 0. 教科書・配布資料等は授業内容を理解する上で効果的ですか。

5： そう思う

4： ややそう思う

3： どちらとも言えない

2： ややそう思わない

1： そう思わない

0： 教科書・配布資料等がない授業

Q 1 1. 担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられますか。

Q 1 2. 教員の話し方・ボリュームは聞き取りやすいですか。

(Q 1 1・1 2 選択肢)

5： そう思う

4： ややそう思う

3： どちらとも言えない

2： ややそう思わない

1： そう思わない

Q 1 3. 板書や投影されたスクリーンの文字・図表等は見やすいですか。

5： そう思う

4： ややそう思う

3： どちらとも言えない

2： ややそう思わない

1： そう思わない

0： 板書・スクリーンの投影がない授業

Q 1 4. 教員は授業内容に沿った授業環境・雰囲気づくりに配慮していますか。

(Q 1 4の選択肢はQ 1 8の後に記載)

Q 1 5. 教員はあなたの意見や質問に対して適切に対応していますか。

5： そう思う

4： ややそう思う

3： どちらとも言えない

2： ややそう思わない

1： そう思わない

0： あなたが当該授業において意見・質問をしたことがない場合

Q 1 6. この科目の授業内容についてよく理解できていますか。

Q 1 7. 授業内容に興味を持っていますか。

Q 1 8. あなたはこの授業の到達目標を達成できると思いますか。

(Q 1 4・1 6～1 8 選択肢)

5: そう思う

4: ややそう思う

3: どちらとも言えない

2: ややそう思わない

1: そう思わない

Q 1 9. 教員自由設定質問 (選択)

Q 2 0. 教員自由設定設問 (記述)

Q 2 1. この授業のよかった点を具体的に記入してください。

Q 2 2. この授業の改善してほしい点を具体的に記入してください。

Q 2 3. 所属学部学科等

20: 仏教 19: 国文 18: 英米文 17: 地理 16: 日本史学 15: 外国史学 14: 考古学  
13: 社会学 12: 社会福祉学 11: 心理 10: 経済 9: 商 8: 現代応用経済 7: 法律 A  
6: 法律 B 5: 政治 4: 経営 3: 市場戦略 2: 診療放射線技術科 1: グローバル・メディア

Q 2 4. 学年

5: 4年 4: 3年 3: 2年 2: 1年 1: その他

Q 2 5. どのような入学試験を受け、あなたは本学に入学しましたか。

11: 一般入試 10: 大学入試センター試験利用入試 9: 一般推薦入試・自己推薦入試

8: スポーツ推薦入試 7: 指定校推薦 6: 付属校推薦入試 5: 留学生特別入試

4: 帰国生特別入試 3: 編入学試験 2: その他の試験 1: 回答しない

### (3) 項目別平均値

「項目別平均値」に関しては、前期・後期で実施されたアンケートについて、質問項目 Q 2～18 の学部・学科・専攻・部門別平均値を表に示したものである。学科・専攻・部門は、担当教員の所属による集計となっている。

これらの表を解釈する際、Q 2～5 までが学生の授業への取り組みについての結果であるのに対して、Q 6～18 までが該当授業の内容についての結果であることを念頭においておく必要がある。

なお、学生による自由記述項目 (Q 21・22) に関してはここでは報告していない。

#### I. 学部・学科別平均値

表 1 学科等別平均値 (前期実施科目) ※「-」は前期アンケート対象科目なし

(学部) 学科等	(仏教) 禅			(仏教) 仏教			(文) 国文			(文) 英米文		
	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
Q2 平均値	1.4	1.4	-	1.3	1.3	-	1.6	1.6	-	1.9	-	1.9
Q3 平均値	1.3	1.3	-	1.4	1.4	-	1.2	1.2	-	1.7	-	1.7
Q4 平均値	4.1	4.1	-	4.1	4.1	-	4.1	4.1	-	3.9	-	3.9
Q5 平均値	4.6	4.6	-	4.5	4.5	-	4.7	4.7	-	4.5	-	4.5
Q6 平均値	4.6	4.6	-	4.7	4.7	-	4.6	4.6	-	4.5	-	4.5
Q7 平均値	4.8	4.8	-	4.7	4.7	-	4.8	4.8	-	4.6	-	4.6
Q8 平均値	4.7	4.7	-	4.6	4.6	-	4.5	4.5	-	4.4	-	4.4
Q9 平均値	4.5	4.5	-	4.5	4.5	-	4.5	4.5	-	3.8	-	3.8
Q10 平均値	4.3	4.3	-	4.5	4.5	-	4.6	4.6	-	4.1	-	4.1
Q11 平均値	4.7	4.7	-	4.7	4.7	-	4.7	4.7	-	4.2	-	4.2
Q12 平均値	4.8	4.8	-	4.7	4.7	-	4.7	4.7	-	4.4	-	4.4
Q13 平均値	4.6	4.6	-	4.5	4.5	-	4.7	4.7	-	4.2	-	4.2
Q14 平均値	4.7	4.7	-	4.5	4.5	-	4.6	4.6	-	3.9	-	3.9
Q15 平均値	4.7	4.7	-	4.5	4.5	-	4.7	4.7	-	4.1	-	4.1
Q16 平均値	4.5	4.5	-	4.4	4.4	-	4.6	4.6	-	3.8	-	3.8
Q17 平均値	4.2	4.2	-	4.1	4.1	-	4.1	4.1	-	3.7	-	3.7
Q18 平均値	4.5	4.5	-	4.3	4.3	-	4.3	4.3	-	3.8	-	3.8
有効回答数	109			78			72			155		

(学部)学科等	(文) 地域文化			(文) 地域環境			(文) 日本史学			(文) 外国史学		
	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
Q2 平均值	1.4	1.4	1.3	1.4	1.5	1.3	1.7	1.3	2.0	1.5	-	1.5
Q3 平均值	1.6	1.6	1.5	1.6	1.7	1.4	1.7	1.4	1.9	1.6	-	1.6
Q4 平均值	4.0	4.0	4.0	3.9	4.1	3.7	4.2	4.1	4.4	3.9	-	3.9
Q5 平均值	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5	4.7	4.7	4.7	4.4	-	4.4
Q6 平均值	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8	4.6	4.7	4.7	4.7	4.7	-	4.7
Q7 平均值	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.8	-	4.8
Q8 平均值	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7	4.6	4.5	4.7	4.5	-	4.5
Q9 平均值	4.4	4.3	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.3	-	4.3
Q10 平均值	4.4	4.3	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.3	-	4.3
Q11 平均值	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.8	4.7	4.8	4.6	-	4.6
Q12 平均值	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.7	4.5	-	4.5
Q13 平均值	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.0	-	4.0
Q14 平均值	4.4	4.4	4.4	4.6	4.6	4.5	4.7	4.7	4.7	4.4	-	4.4
Q15 平均值	4.4	4.4	4.5	4.5	4.6	4.5	4.6	4.5	4.7	4.5	-	4.5
Q16 平均值	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.0	4.3	4.2	4.5	4.0	-	4.0
Q17 平均值	4.1	4.1	4.2	4.3	4.4	4.2	4.4	4.3	4.6	4.3	-	4.3
Q18 平均值	3.9	3.9	3.9	4.1	4.1	4.1	4.2	4.0	4.4	4.1	-	4.1
有効回答数	786			533			232			245		

(学部)学科等	(文) 考古学			(文) 社会学			(文) 社会福祉学			(文) 心理		
	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
Q2 平均值	2.0	-	2.0	1.4	1.6	1.4	1.3	1.2	1.3	1.3	1.4	1.3
Q3 平均值	2.1	-	2.1	1.5	1.6	1.5	1.5	1.4	1.6	1.5	1.6	1.5
Q4 平均值	4.0	-	4.0	3.7	3.7	3.7	3.8	3.7	3.9	4.0	4.1	3.8
Q5 平均值	4.8	-	4.8	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5
Q6 平均值	4.9	-	4.9	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5	4.7	4.6	4.8
Q7 平均值	4.8	-	4.8	4.7	4.7	4.7	4.7	4.5	4.8	4.8	4.7	4.8
Q8 平均值	4.6	-	4.6	4.4	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6
Q9 平均值	4.0	-	4.0	4.0	4.1	3.9	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.2
Q10 平均值	4.1	-	4.1	4.1	4.1	4.1	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3
Q11 平均值	4.3	-	4.3	4.1	4.3	4.1	4.6	4.6	4.5	4.5	4.6	4.5
Q12 平均值	4.6	-	4.6	3.7	4.3	3.5	4.5	4.6	4.4	4.3	4.2	4.3
Q13 平均值	4.3	-	4.3	3.8	4.0	3.7	4.0	3.9	4.1	4.3	4.3	4.3
Q14 平均值	4.3	-	4.3	3.8	4.1	3.7	4.3	4.4	4.3	4.4	4.5	4.3
Q15 平均值	4.4	-	4.4	3.9	4.2	3.8	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.4
Q16 平均值	4.0	-	4.0	3.7	3.8	3.6	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9
Q17 平均值	4.0	-	4.0	3.8	3.9	3.8	4.1	4.0	4.2	4.1	4.3	3.9
Q18 平均值	4.1	-	4.1	3.6	3.8	3.6	3.9	3.9	4.0	3.9	4.0	3.8
有効回答数	68			539			967			1,216		

(学部)学科等	(経済) 経済			(経済) 商			(経済) 現代応用			(法) 法律		
	専任・非常勤	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専
Q2 平均値	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.4	1.5	1.6	1.5
Q3 平均値	1.6	1.5	1.6	1.7	1.6	1.7	1.6	1.6	1.5	1.6	1.7	1.6
Q4 平均値	3.8	3.9	3.7	3.9	3.9	3.8	4.0	4.0	4.0	3.6	3.4	3.6
Q5 平均値	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.6	4.3	4.0	4.3
Q6 平均値	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.6	4.8	4.6	4.5	4.6
Q7 平均値	4.6	4.6	4.7	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.8	4.6	4.7	4.6
Q8 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.6	4.5	4.7	4.5	4.5	4.5
Q9 平均値	4.2	4.3	4.2	4.1	4.2	4.0	4.4	4.3	4.5	4.3	4.4	4.3
Q10 平均値	4.3	4.3	4.2	4.2	4.3	4.2	4.4	4.3	4.5	4.3	4.2	4.3
Q11 平均値	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	4.6
Q12 平均値	4.4	4.5	4.3	4.4	4.4	4.3	4.5	4.5	4.6	4.6	4.7	4.6
Q13 平均値	4.2	4.4	4.0	4.1	4.1	4.0	4.3	4.3	4.4	4.1	4.3	4.1
Q14 平均値	4.3	4.4	4.3	4.3	4.4	4.2	4.5	4.4	4.6	4.5	4.4	4.5
Q15 平均値	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.5	4.4	4.5	4.4	4.3	4.4
Q16 平均値	4.0	4.0	3.9	4.0	3.9	4.0	4.1	4.0	4.3	3.8	4.0	3.8
Q17 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.2	4.1	4.3	3.9	3.7	4.0
Q18 平均値	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	3.9	4.1	4.0	4.3	3.9	3.8	3.9
有効回答数	3,812			2,428			1,983			312		

(学部)学科等	(法) 政治			(経営) 経営			(経営) 市場戦略			(医療)			
	専任・非常勤	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
Q2 平均値	1.7	1.9	1.5	1.5	1.4	1.6	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.5
Q3 平均値	1.8	1.9	1.7	1.6	1.5	1.7	1.6	1.7	1.6	1.8	1.8	1.8	1.9
Q4 平均値	3.8	3.8	3.6	3.8	3.7	4.0	3.7	3.7	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0
Q5 平均値	4.4	4.3	4.4	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.4	4.8	4.8	4.8	4.8
Q6 平均値	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.7	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8
Q7 平均値	4.8	4.7	4.8	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8
Q8 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.6	4.4	4.4	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7
Q9 平均値	4.1	4.2	3.8	4.1	4.0	4.2	3.9	3.8	4.2	4.3	4.2	4.2	4.5
Q10 平均値	4.1	4.2	4.0	4.2	4.1	4.4	4.0	4.0	4.3	4.3	4.3	4.3	4.5
Q11 平均値	4.5	4.6	4.4	4.3	4.2	4.5	4.3	4.2	4.4	4.6	4.5	4.5	4.7
Q12 平均値	4.4	4.6	4.0	4.3	4.1	4.6	4.0	4.0	4.2	4.6	4.6	4.6	4.6
Q13 平均値	3.9	4.0	3.8	4.1	4.0	4.2	3.9	3.9	3.9	4.3	4.2	4.2	4.6
Q14 平均値	4.3	4.4	4.2	4.3	4.2	4.4	4.1	4.0	4.4	4.5	4.4	4.4	4.5
Q15 平均値	4.3	4.3	4.2	4.3	4.2	4.5	4.2	4.2	4.5	4.5	4.5	4.5	4.7
Q16 平均値	3.7	3.8	3.4	3.8	3.7	4.1	3.6	3.6	3.9	3.9	3.9	3.9	4.1
Q17 平均値	4.0	4.1	3.6	3.9	3.7	4.2	3.7	3.7	4.2	4.1	4.1	4.1	4.3
Q18 平均値	3.6	3.7	3.5	3.9	3.8	4.1	3.7	3.6	3.9	4.0	4.0	4.0	4.2
有効回答数	500			1,602			1,414			1,071			

(学部)学科等	(GMS)			(総合)文化学			(総合)自然科学			(総合)日本文化		
	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
Q2 平均値	1.7	1.6	1.9	1.4	1.2	1.4	1.5	1.4	1.5	1.4	1.4	1.4
Q3 平均値	1.8	1.8	1.9	1.4	1.3	1.6	1.6	1.6	1.6	1.4	1.4	1.4
Q4 平均値	3.9	3.9	4.0	3.9	3.8	4.0	3.8	3.8	3.8	4.0	3.9	4.1
Q5 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5
Q6 平均値	4.6	4.7	4.6	4.7	4.6	4.8	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.6
Q7 平均値	4.7	4.8	4.7	4.8	4.8	4.9	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	4.7
Q8 平均値	4.5	4.6	4.5	4.6	4.4	4.8	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5
Q9 平均値	4.1	4.2	3.9	4.4	4.3	4.6	4.2	4.3	4.1	4.4	4.5	4.3
Q10 平均値	4.1	4.2	4.0	4.4	4.3	4.5	4.3	4.3	4.2	4.4	4.4	4.4
Q11 平均値	4.4	4.5	4.3	4.7	4.6	4.7	4.5	4.5	4.3	4.7	4.7	4.5
Q12 平均値	4.5	4.6	4.4	4.3	4.4	4.2	4.4	4.5	4.3	4.5	4.6	4.3
Q13 平均値	4.2	4.3	4.1	4.1	4.3	4.0	4.2	4.2	4.1	4.3	4.4	4.1
Q14 平均値	4.3	4.4	4.2	4.5	4.4	4.5	4.3	4.4	4.2	4.5	4.5	4.3
Q15 平均値	4.4	4.4	4.3	4.5	4.3	4.6	4.3	4.4	4.2	4.5	4.5	4.2
Q16 平均値	3.9	4.0	3.8	4.1	3.9	4.2	3.9	4.0	3.9	4.2	4.2	4.2
Q17 平均値	4.0	4.1	3.9	4.2	3.9	4.4	4.1	4.1	4.0	4.3	4.3	4.2
Q18 平均値	3.9	3.9	3.8	4.1	3.9	4.2	3.9	4.0	3.8	4.1	4.2	4.1
有効回答数	2,530			342			2,923			1,029		

(学部)学科等	(総合)外国語一			(総合)外国語二			(総合)スポーツ			(総合)教職課程		
	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
Q2 平均値	1.9	1.8	2.0	1.9	1.7	2.1	1.4	1.4	-	1.4	1.4	1.4
Q3 平均値	1.8	1.7	1.8	2.0	1.8	2.1	1.4	1.4	-	1.5	1.5	1.5
Q4 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	3.9	4.2	4.1	4.1	-	4.1	4.0	4.1
Q5 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	-	4.6	4.6	4.6
Q6 平均値	4.7	4.8	4.7	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	-	4.7	4.8	4.6
Q7 平均値	4.8	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.7	-	4.8	4.8	4.8
Q8 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	-	4.7	4.7	4.7
Q9 平均値	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.6	4.6	-	4.4	4.5	4.3
Q10 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	-	4.5	4.6	4.4
Q11 平均値	4.6	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	-	4.6	4.7	4.5
Q12 平均値	4.5	4.6	4.5	4.6	4.6	4.5	4.8	4.8	-	4.5	4.6	4.4
Q13 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	-	4.4	4.6	4.2
Q14 平均値	4.4	4.5	4.4	4.5	4.4	4.5	4.7	4.7	-	4.5	4.6	4.4
Q15 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.7	4.7	-	4.5	4.6	4.3
Q16 平均値	4.2	4.2	4.2	4.1	4.0	4.1	4.4	4.4	-	4.2	4.3	4.1
Q17 平均値	4.0	4.1	4.0	4.1	4.0	4.2	4.3	4.3	-	4.2	4.3	4.2
Q18 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	4.3	4.3	-	4.1	4.2	4.1
有効回答数	4,952			2,639			407			942		

表 2 学科等別平均値（後期実施科目）

(学部)学科等	(仏教) 禅			(仏教) 仏教			(文) 国文			(文) 英米文		
	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
Q2 平均値	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.7	1.5	1.7	1.7	1.6
Q3 平均値	1.5	1.5	1.8	1.6	1.6	1.8	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
Q4 平均値	3.5	3.5	3.6	3.6	3.6	3.6	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	4.0
Q5 平均値	4.1	4.1	4.0	3.9	3.9	3.6	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2
Q6 平均値	4.3	4.3	4.6	4.4	4.3	4.6	4.7	4.6	4.7	4.6	4.6	4.8
Q7 平均値	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.5	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.9
Q8 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6
Q9 平均値	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3
Q10 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	4.5
Q11 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6
Q12 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.7
Q13 平均値	4.1	4.1	4.3	4.1	4.0	4.2	4.3	4.3	4.3	4.5	4.5	4.6
Q14 平均値	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.2	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4
Q15 平均値	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.2	4.6	4.7	4.6	4.5	4.5	4.5
Q16 平均値	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.9	4.0	3.9	4.0	4.1	4.1	4.1
Q17 平均値	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8	4.0	4.1	4.0	4.2	4.0	4.0	3.9
Q18 平均値	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9
有効回答数	1,677			2,006			1,194			604		

(学部)学科等	(文) 地域文化			(文) 地域環境			(文) 日本史学			(文) 外国史学		
	全体	専	非									
Q2 平均値	1.5	1.4	1.6	1.5	1.5	1.4	1.6	1.6	1.6	1.7	1.6	1.7
Q3 平均値	1.6	1.6	1.6	1.7	1.8	1.5	1.6	1.6	1.7	1.7	1.8	1.6
Q4 平均値	3.9	3.8	4.0	3.9	4.0	3.8	3.9	4.0	3.8	4.0	4.1	3.9
Q5 平均値	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.5	4.2	4.2	4.3	4.3	4.4	4.3
Q6 平均値	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.6	4.4	4.2	4.8	4.8	4.7	4.8
Q7 平均値	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	4.7	4.6	4.5	4.7	4.7	4.6	4.8
Q8 平均値	4.6	4.5	4.6	4.7	4.8	4.7	4.5	4.5	4.6	4.7	4.6	4.7
Q9 平均値	4.3	4.2	4.5	4.4	4.3	4.6	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4
Q10 平均値	4.3	4.3	4.5	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3	4.4
Q11 平均値	4.5	4.5	4.6	4.7	4.7	4.6	4.5	4.5	4.5	4.7	4.6	4.7
Q12 平均値	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.6	4.4	4.3	4.5	4.5	4.3	4.7
Q13 平均値	4.3	4.2	4.5	4.4	4.4	4.3	4.1	4.0	4.3	4.2	4.2	4.3
Q14 平均値	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.3	4.3	4.3	4.5	4.4	4.5
Q15 平均値	4.4	4.4	4.5	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5	4.7
Q16 平均値	4.0	3.9	4.1	3.9	3.8	4.1	4.0	4.1	3.9	4.0	4.0	4.1
Q17 平均値	4.1	4.0	4.2	4.2	4.1	4.3	4.2	4.3	4.1	4.2	4.1	4.2
Q18 平均値	4.0	3.9	4.1	3.9	3.9	4.1	3.9	4.0	3.9	4.0	3.9	4.0
有効回答数	805			639			1,012			700		

(学部)学科等	(文) 考古学			(文) 社会学			(文) 社会福祉学			(文) 心理		
	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
Q2 平均値	1.5	1.6	1.4	1.4	1.3	1.4	1.4	1.3	1.4	1.4	1.3	1.4
Q3 平均値	1.7	1.8	1.6	1.6	1.7	1.6	1.4	1.3	1.5	1.5	1.5	1.5
Q4 平均値	3.8	4.0	3.7	3.9	3.4	4.0	3.9	3.9	4.0	3.9	4.0	3.9
Q5 平均値	4.3	4.3	4.2	4.3	4.6	4.3	4.4	4.4	4.4	4.3	4.6	4.3
Q6 平均値	4.7	4.6	4.8	4.5	4.3	4.6	4.7	4.8	4.6	4.6	4.7	4.6
Q7 平均値	4.7	4.7	4.8	4.8	4.6	4.8	4.8	4.8	4.7	4.7	4.7	4.8
Q8 平均値	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6
Q9 平均値	4.3	4.4	4.3	3.9	4.1	3.9	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4
Q10 平均値	4.4	4.6	4.3	4.0	3.6	4.1	4.5	4.6	4.3	4.4	4.4	4.3
Q11 平均値	4.6	4.7	4.6	4.2	4.0	4.3	4.6	4.7	4.5	4.6	4.6	4.6
Q12 平均値	4.3	4.2	4.5	3.9	3.8	3.9	4.5	4.6	4.2	4.5	4.3	4.5
Q13 平均値	4.2	4.3	4.2	3.9	3.5	3.9	4.3	4.4	4.1	4.4	4.4	4.4
Q14 平均値	4.4	4.6	4.4	4.1	3.7	4.1	4.4	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5
Q15 平均値	4.4	4.6	4.2	4.0	3.8	4.0	4.5	4.6	4.4	4.6	4.6	4.6
Q16 平均値	3.9	3.9	3.9	3.7	3.3	3.7	4.1	4.2	4.1	4.0	4.0	4.0
Q17 平均値	4.0	4.1	3.9	3.7	3.4	3.7	4.2	4.3	4.1	4.2	4.3	4.2
Q18 平均値	3.8	3.9	3.8	3.7	3.6	3.7	4.1	4.1	4.0	3.9	3.9	4.0
有効回答数	415			468			822			2,040		

(学部)学科等	(経済) 経済			(経済) 商			(経済) 現代応用			(法) 法律		
	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
Q2 平均値	1.6	1.6	1.6	1.5	1.6	1.5	1.5	1.5	1.4	1.6	1.6	1.5
Q3 平均値	1.7	1.7	1.7	1.6	1.7	1.6	1.6	1.7	1.5	1.7	1.8	1.6
Q4 平均値	3.8	3.9	3.8	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	4.2	3.7	3.7	3.6
Q5 平均値	4.4	4.4	4.3	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.1	4.1	4.1
Q6 平均値	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.6	4.8	4.4	4.4	4.5
Q7 平均値	4.6	4.6	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7	4.8	4.5	4.5	4.6
Q8 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.6	4.4	4.4	4.5
Q9 平均値	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.3	4.4	4.4	4.5	4.0	3.9	4.1
Q10 平均値	4.3	4.4	4.3	4.2	4.2	4.4	4.5	4.4	4.6	4.1	4.1	4.1
Q11 平均値	4.4	4.4	4.4	4.5	4.4	4.6	4.6	4.6	4.6	4.3	4.3	4.4
Q12 平均値	4.4	4.4	4.4	4.5	4.4	4.5	4.6	4.6	4.7	4.3	4.2	4.4
Q13 平均値	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.4	4.4	4.4	3.9	3.8	4.0
Q14 平均値	4.3	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.6	4.2	4.2	4.3
Q15 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.5	4.5	4.5	4.6	4.3	4.2	4.3
Q16 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.2	4.1	4.0	4.3	3.6	3.6	3.8
Q17 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.2	4.3	4.2	4.4	3.8	3.8	3.9
Q18 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.2	4.1	4.0	4.3	3.6	3.6	3.8
有効回答数	2,884			1,195			1,334			4,053		

(学部)学科等	(法) 政治			(経営) 経営			(経営) 市場戦略			(医療)		
	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
Q2 平均値	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.6	1.5	1.3	1.3	1.2
Q3 平均値	1.7	1.8	1.7	1.7	1.7	1.8	1.7	1.7	1.6	1.6	1.7	1.4
Q4 平均値	3.7	3.7	3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	3.7	3.9	3.9	3.9	3.9
Q5 平均値	4.1	4.0	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2	4.3	4.1	4.7	4.8	4.6
Q6 平均値	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.7	4.6	4.6	4.9
Q7 平均値	4.6	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.8	4.7	4.7	4.8
Q8 平均値	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.7
Q9 平均値	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.4	4.3	4.6
Q10 平均値	4.2	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1	4.2	4.1	4.4	4.4	4.6
Q11 平均値	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.6	4.6	4.7
Q12 平均値	4.4	4.3	4.4	4.4	4.3	4.5	4.2	4.1	4.4	4.5	4.5	4.7
Q13 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.1	4.0	4.0	4.1	4.4	4.4	4.7
Q14 平均値	4.3	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.3	4.5	4.5	4.7
Q15 平均値	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.4	4.6	4.6	4.7
Q16 平均値	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.9	4.1	4.0	4.3
Q17 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	3.9	4.1	4.2	4.2	4.3
Q18 平均値	3.8	3.8	3.8	3.9	3.8	3.9	3.8	3.8	4.0	4.1	4.1	4.3
有効回答数	1,989			2,462			1,492			631		

(学部)学科等	(GMS)			(総合) 文化学			(総合) 自然科学			(総合) 日本文化		
	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
Q2 平均値	1.7	1.5	2.0	1.3	1.3	1.3	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
Q3 平均値	1.8	1.7	1.9	1.4	1.4	1.5	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5
Q4 平均値	4.0	3.9	4.0	3.7	3.7	3.7	4.0	3.9	4.0	4.0	3.9	4.0
Q5 平均値	4.4	4.4	4.3	4.2	4.2	4.2	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3
Q6 平均値	4.8	4.8	4.9	4.5	4.5	4.5	4.6	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8
Q7 平均値	4.8	4.8	4.9	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.7
Q8 平均値	4.7	4.6	4.8	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.6
Q9 平均値	4.4	4.3	4.5	4.2	4.2	4.2	4.4	4.4	4.3	4.5	4.5	4.4
Q10 平均値	4.4	4.3	4.5	4.2	4.2	4.2	4.4	4.4	4.3	4.5	4.5	4.5
Q11 平均値	4.6	4.5	4.7	4.4	4.4	4.4	4.5	4.6	4.4	4.7	4.7	4.6
Q12 平均値	4.6	4.5	4.7	4.2	4.2	4.2	4.5	4.6	4.3	4.5	4.6	4.4
Q13 平均値	4.4	4.4	4.4	4.0	4.1	3.9	4.3	4.4	4.2	4.3	4.3	4.3
Q14 平均値	4.5	4.4	4.6	4.2	4.2	4.2	4.4	4.5	4.3	4.5	4.5	4.5
Q15 平均値	4.6	4.5	4.7	4.3	4.3	4.3	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	4.4
Q16 平均値	4.1	4.0	4.3	3.7	3.8	3.7	4.1	4.1	4.0	4.2	4.2	4.1
Q17 平均値	4.1	4.1	4.2	3.8	3.9	3.8	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3
Q18 平均値	4.0	4.0	4.1	3.8	3.8	3.7	4.1	4.1	4.0	4.1	4.1	4.1
有効回答数	1,470			2,889			1,669			743		

(学部)学科等	(総合)外国語一			(総合)外国語二			(総合)スポーツ			(総合)教職課程		
	専任・非常勤	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専
Q2 平均値	1.9	1.9	1.9	1.9	1.6	2.0	1.3	1.4	1.2	1.4	1.6	1.4
Q3 平均値	1.8	1.6	1.8	1.9	1.7	2.1	1.3	1.4	1.2	1.5	1.6	1.5
Q4 平均値	4.0	3.9	4.0	4.1	3.8	4.2	4.4	4.4	4.6	4.0	4.1	4.0
Q5 平均値	4.4	4.3	4.4	4.4	4.3	4.4	4.5	4.4	4.5	4.4	4.4	4.5
Q6 平均値	4.7	4.8	4.7	4.6	4.6	4.5	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.7
Q7 平均値	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.8	4.9	4.7
Q8 平均値	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.7	4.8	4.7	4.7	4.6
Q9 平均値	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.6	4.7	4.6	4.4	4.5	4.4
Q10 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.7	4.7	4.7	4.5	4.5	4.4
Q11 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7	4.6	4.7	4.6
Q12 平均値	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.7	4.8	4.7	4.6	4.6	4.6
Q13 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.6	4.6	4.6	4.4	4.6	4.4
Q14 平均値	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.7	4.7	4.6	4.5	4.5	4.5
Q15 平均値	4.6	4.5	4.6	4.5	4.5	4.6	4.7	4.7	4.7	4.6	4.7	4.5
Q16 平均値	4.2	4.2	4.2	4.0	3.9	4.1	4.6	4.6	4.7	4.2	4.3	4.2
Q17 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.2	4.6	4.6	4.7	4.3	4.3	4.3
Q18 平均値	4.1	4.0	4.1	4.0	3.9	4.0	4.5	4.5	4.6	4.2	4.2	4.2
有効回答数	2,384			1,396			898			883		

表3 学科等別平均値(全体)

(学部)学科等	(仏教) 禅			(仏教) 仏教			(文) 国文			(文) 英米文		
	専任・非常勤	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専
Q2 平均値	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.7	1.5	1.7	1.7	1.8
Q3 平均値	1.5	1.5	1.8	1.6	1.6	1.8	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.7
Q4 平均値	3.6	3.6	3.6	3.6	3.7	3.6	3.9	3.8	3.9	3.8	3.8	3.9
Q5 平均値	4.1	4.1	4.0	3.9	3.9	3.6	4.2	4.2	4.1	4.2	4.1	4.4
Q6 平均値	4.3	4.3	4.6	4.4	4.3	4.6	4.7	4.6	4.7	4.6	4.6	4.6
Q7 平均値	4.6	4.6	4.5	4.5	4.6	4.5	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7
Q8 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.7	4.6	4.7	4.6	4.6	4.5
Q9 平均値	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2	4.4	4.4	4.4	4.3	4.4	4.0
Q10 平均値	4.2	4.2	2.6	4.2	4.2	4.3	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4
Q11 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.4
Q12 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5
Q13 平均値	4.1	4.1	2.6	4.1	4.0	4.2	4.3	4.3	4.3	4.5	4.5	4.5
Q14 平均値	4.3	4.3	4.2	4.3	4.3	4.2	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.1
Q15 平均値	4.3	4.3	2.3	4.3	4.3	4.2	4.6	4.7	4.6	4.5	4.5	4.4
Q16 平均値	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.9	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	3.9
Q17 平均値	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8	4.0	4.1	4.1	4.2	3.9	4.0	3.8
Q18 平均値	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	3.8
有効回答数	1,786			2,084			1,266			759		

(学部)学科等	(文) 地域文化			(文) 地域環境			(文) 日本史学			(文) 外国史学		
	全体	専	非									
専任・非常勤												
Q2 平均値	1.4	1.4	1.5	1.4	1.5	1.3	1.6	1.5	1.7	1.6	1.6	1.6
Q3 平均値	1.6	1.6	1.6	1.6	1.8	1.5	1.6	1.6	1.7	1.7	1.8	1.6
Q4 平均値	3.9	3.9	4.0	3.9	4.0	3.7	4.0	4.0	3.9	4.0	4.1	3.9
Q5 平均値	4.5	4.5	4.3	4.5	4.4	4.5	4.3	4.3	4.4	4.3	4.4	4.3
Q6 平均値	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.6	4.5	4.3	4.7	4.8	4.7	4.8
Q7 平均値	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.6	4.5	4.7	4.7	4.6	4.8
Q8 平均値	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.7	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	4.6
Q9 平均値	4.3	4.3	4.5	4.4	4.3	4.6	4.3	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3
Q10 平均値	4.4	4.3	4.5	4.4	4.4	4.5	4.4	4.3	4.4	4.4	4.2	4.4
Q11 平均値	4.5	4.5	4.6	4.6	4.7	4.6	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.7
Q12 平均値	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5	4.4	4.6	4.5	4.3	4.6
Q13 平均値	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.2	4.1	4.4	4.2	4.0	4.2
Q14 平均値	4.4	4.4	4.5	4.5	4.6	4.5	4.4	4.4	4.4	4.5	4.4	4.5
Q15 平均値	4.4	4.4	4.5	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.3	4.6
Q16 平均値	4.0	3.9	4.1	4.0	3.9	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.1
Q17 平均値	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2	4.2	4.1	4.3
Q18 平均値	3.9	3.9	4.0	4.0	3.9	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0
有効回答数	1,591			1,172			1,244			945		

(学部)学科等	(文) 考古学			(文) 社会学			(文) 社会福祉学			(文) 心理		
	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
専任・非常勤												
Q2 平均値	1.6	1.6	1.5	1.4	1.5	1.4	1.3	1.3	1.4	1.4	1.3	1.4
Q3 平均値	1.7	1.8	1.7	1.5	1.6	1.5	1.5	1.3	1.6	1.5	1.5	1.5
Q4 平均値	3.8	4.0	3.8	3.8	3.7	3.8	3.9	3.8	3.9	3.9	4.1	3.9
Q5 平均値	4.3	4.3	4.3	4.4	4.6	4.4	4.5	4.5	4.5	4.4	4.6	4.3
Q6 平均値	4.7	4.6	4.8	4.5	4.4	4.5	4.6	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7
Q7 平均値	4.7	4.7	4.8	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	4.7	4.8
Q8 平均値	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6
Q9 平均値	4.3	4.4	4.2	3.9	4.1	3.9	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4
Q10 平均値	4.4	3.9	4.3	4.1	3.9	4.1	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.3
Q11 平均値	4.6	4.7	4.5	4.2	4.2	4.2	4.6	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6
Q12 平均値	4.4	4.2	4.5	3.8	4.2	3.7	4.5	4.6	4.3	4.4	4.3	4.5
Q13 平均値	4.3	3.7	4.2	3.8	3.8	3.8	4.1	4.2	4.1	4.4	4.4	4.4
Q14 平均値	4.4	4.6	4.4	3.9	4.1	3.9	4.4	4.5	4.3	4.5	4.5	4.4
Q15 平均値	4.4	3.9	4.3	4.0	4.1	3.9	4.5	4.5	4.4	4.5	4.6	4.5
Q16 平均値	3.9	3.9	3.9	3.7	3.7	3.7	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
Q17 平均値	4.0	4.1	3.9	3.7	3.9	3.7	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.1
Q18 平均値	3.9	3.9	3.9	3.7	3.8	3.6	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9
有効回答数	483			1,007			1,789			3,256		

(学部)学科等	(経済) 経済			(経済) 商			(経済) 現代応用			(法) 法律		
	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
Q2 平均値	1.6	1.5	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.4	1.6	1.6	1.5
Q3 平均値	1.6	1.6	1.6	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.5	1.7	1.8	1.6
Q4 平均値	3.8	3.9	3.7	3.9	3.9	3.8	4.0	4.0	4.1	3.6	3.7	3.6
Q5 平均値	4.4	4.5	4.4	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.6	4.2	4.1	4.2
Q6 平均値	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.6	4.8	4.5	4.4	4.5
Q7 平均値	4.6	4.6	4.7	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.8	4.5	4.5	4.6
Q8 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5	4.7	4.4	4.4	4.5
Q9 平均値	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.1	4.4	4.3	4.5	4.0	3.9	4.2
Q10 平均値	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.3	4.4	4.4	4.5	4.1	4.1	4.1
Q11 平均値	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4	4.6	4.5	4.6	4.3	4.3	4.4
Q12 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.6	4.5	4.6	4.3	4.2	4.4
Q13 平均値	4.2	4.3	4.1	4.1	4.1	4.1	4.4	4.3	4.4	3.9	3.9	4.0
Q14 平均値	4.3	4.4	4.3	4.3	4.4	4.2	4.5	4.5	4.6	4.3	4.2	4.3
Q15 平均値	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.4	4.5	4.4	4.6	4.3	4.2	4.3
Q16 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	4.1	4.0	4.3	3.6	3.6	3.8
Q17 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.2	4.1	4.4	3.8	3.8	3.9
Q18 平均値	4.0	4.0	3.9	4.0	3.9	4.0	4.1	4.0	4.3	3.7	3.6	3.8
有効回答数	6,696			3,623			3,317			4,365		

(学部)学科等	(法) 政治			(経営) 経営			(経営) 市場戦略			(医療)		
	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
Q2 平均値	1.6	1.7	1.5	1.5	1.5	1.6	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4
Q3 平均値	1.7	1.8	1.7	1.7	1.6	1.7	1.7	1.7	1.6	1.7	1.7	1.7
Q4 平均値	3.7	3.7	3.8	3.8	3.7	3.9	3.7	3.7	3.9	4.0	4.0	3.9
Q5 平均値	4.2	4.1	4.2	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.8	4.8	4.7
Q6 平均値	4.6	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.8
Q7 平均値	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.8
Q8 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.6	4.7	4.6	4.7
Q9 平均値	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2	4.0	3.9	4.2	4.3	4.3	4.5
Q10 平均値	4.2	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.4	4.4	4.5
Q11 平均値	4.5	4.5	4.4	4.4	4.3	4.4	4.3	4.3	4.4	4.6	4.5	4.7
Q12 平均値	4.4	4.4	4.3	4.3	4.2	4.5	4.1	4.1	4.3	4.6	4.5	4.7
Q13 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.2	4.0	4.0	4.0	4.3	4.3	4.6
Q14 平均値	4.3	4.4	4.3	4.3	4.2	4.3	4.2	4.1	4.3	4.5	4.4	4.6
Q15 平均値	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.4	4.6	4.5	4.7
Q16 平均値	3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	3.9	3.7	3.7	3.9	4.0	3.9	4.2
Q17 平均値	4.0	4.0	3.9	4.0	3.9	4.1	3.9	3.8	4.1	4.2	4.1	4.3
Q18 平均値	3.8	3.8	3.7	3.9	3.8	4.0	3.8	3.7	4.0	4.0	4.0	4.2
有効回答数	2,489			4,064			2,906			1,702		

(学部)学科等	(GMS)			(総合)文化学			(総合)自然科学			(総合)日本文化			
	専任・非常勤	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
Q2 平均値	1.7	1.6	1.9	1.3	1.3	1.4	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.4
Q3 平均値	1.8	1.7	1.9	1.4	1.4	1.5	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5
Q4 平均値	3.9	3.9	4.0	3.7	3.7	3.7	3.9	3.9	3.9	4.0	3.9	4.1	4.1
Q5 平均値	4.5	4.5	4.4	4.2	4.3	4.2	4.5	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4
Q6 平均値	4.7	4.7	4.7	4.5	4.5	4.6	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7
Q7 平均値	4.8	4.8	4.8	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8	4.7
Q8 平均値	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6
Q9 平均値	4.2	4.3	4.1	4.3	4.2	4.3	4.3	4.3	4.2	4.4	4.5	4.3	4.3
Q10 平均値	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.4	4.3	4.5	4.5	4.4	4.4
Q11 平均値	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.6	4.4	4.7	4.7	4.5	4.5
Q12 平均値	4.5	4.6	4.5	4.2	4.2	4.2	4.5	4.6	4.3	4.5	4.6	4.3	4.3
Q13 平均値	4.3	4.3	4.2	4.0	4.2	3.9	4.2	4.3	4.1	4.3	4.3	4.2	4.2
Q14 平均値	4.4	4.4	4.4	4.2	4.3	4.2	4.4	4.4	4.3	4.5	4.5	4.4	4.4
Q15 平均値	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3	4.5	4.5	4.3	4.3
Q16 平均値	4.0	4.0	4.0	3.8	3.8	3.8	4.0	4.0	3.9	4.2	4.2	4.1	4.1
Q17 平均値	4.0	4.1	4.0	3.9	3.9	3.8	4.1	4.1	4.1	4.3	4.3	4.2	4.2
Q18 平均値	3.9	4.0	3.9	3.8	3.8	3.8	4.0	4.0	3.9	4.1	4.1	4.1	4.1
有効回答数	4,000			3,231			4,592			1,772			

(学部)学科等	(総合)外国語一			(総合)外国語二			(総合)スポーツ			(総合)教職課程			
	専任・非常勤	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
Q2 平均値	1.9	1.8	2.0	1.9	1.7	2.0	1.3	1.4	1.2	1.4	1.5	1.4	1.4
Q3 平均値	1.8	1.7	1.8	2.0	1.8	2.1	1.4	1.4	1.2	1.5	1.5	1.5	1.5
Q4 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	3.9	4.2	4.3	4.3	4.6	4.0	4.0	4.0	4.0
Q5 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
Q6 平均値	4.7	4.8	4.7	4.6	4.6	4.5	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.6	4.6
Q7 平均値	4.8	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.8	4.9	4.8	4.8
Q8 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.8	4.7	4.7	4.6	4.6
Q9 平均値	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.3	4.6	4.6	4.6	4.4	4.5	4.4	4.4
Q10 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.7	4.7	4.7	4.5	4.5	4.4	4.4
Q11 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.6	4.7	4.6	4.6
Q12 平均値	4.6	4.6	4.6	4.5	4.6	4.5	4.8	4.8	4.7	4.6	4.6	4.5	4.5
Q13 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.6	4.6	4.6	4.4	4.6	4.3	4.3
Q14 平均値	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.7	4.7	4.6	4.5	4.5	4.4	4.4
Q15 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.7	4.7	4.7	4.5	4.6	4.4	4.4
Q16 平均値	4.2	4.2	4.2	4.1	4.0	4.1	4.6	4.5	4.7	4.2	4.3	4.2	4.2
Q17 平均値	4.0	4.1	4.0	4.1	4.0	4.2	4.5	4.5	4.7	4.3	4.3	4.2	4.2
Q18 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	4.4	4.4	4.6	4.2	4.2	4.1	4.1
有効回答数	7,336			4,035			1,305			1,825			

## Ⅱ. 学年別平均値

表 4、5 は、アンケート質問項目の学年別平均値を示したものである。

表 4 学年別平均値（前期実施科目）

学年	1 年	2 年	3 年	4 年	その他
Q2	1.6	1.6	1.5	1.7	2.0
Q3	1.7	1.7	1.6	1.8	2.0
Q4	3.9	3.9	3.8	4.0	3.3
Q5	4.6	4.5	4.5	4.1	4.0
Q6	4.6	4.6	4.6	4.7	5.0
Q7	4.7	4.7	4.7	4.8	5.0
Q8	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7
Q9	4.2	4.2	4.3	4.4	3.3
Q10	4.3	4.3	4.3	4.4	3.3
Q11	4.5	4.5	4.5	4.6	5.0
Q12	4.5	4.4	4.5	4.5	5.0
Q13	4.3	4.2	4.2	4.3	5.0
Q14	4.4	4.4	4.4	4.5	3.3
Q15	4.4	4.4	4.5	4.5	3.3
Q16	4.0	4.0	4.0	4.1	3.0
Q17	4.0	4.0	4.1	4.3	3.7
Q18	4.0	3.9	4.0	4.1	3.3
有効 回答数	16,329	10,914	4,962	1,771	3

表 5 学年別平均値（後期実施科目）

学年	1 年	2 年	3 年	4 年	その他
Q2	1.5	1.6	1.5	1.8	-
Q3	1.6	1.7	1.7	1.9	-
Q4	3.9	3.8	3.8	3.9	-
Q5	4.4	4.3	4.1	3.7	-
Q6	4.6	4.6	4.6	4.6	-
Q7	4.7	4.7	4.7	4.7	-
Q8	4.6	4.6	4.5	4.6	-
Q9	4.2	4.2	4.3	4.4	-
Q10	4.3	4.3	4.3	4.4	-
Q11	4.5	4.5	4.5	4.6	-
Q12	4.4	4.4	4.4	4.6	-
Q13	4.2	4.2	4.2	4.3	-
Q14	4.3	4.4	4.4	4.5	-
Q15	4.4	4.4	4.4	4.5	-
Q16	3.9	3.9	3.9	4.1	-
Q17	4.0	4.0	4.1	4.3	-
Q18	3.9	3.9	3.9	4.1	-
有効 回答数	18,246	13,034	7,517	2,057	-

## Ⅲ. 入試形態別平均値

表6、7はアンケートの質問項目の入試形態別平均値を示したものである。

表6 入試形態別平均値（前期実施科目）

入試形態	一般入試	試験利用入試	大学入試センター 自己推薦入試	一般推薦入試・ スポーツ推薦入試	指定校入試	附属校推薦入試	留学生特別入試	帰国生特別入試	編入学試験	その他	回答しない
Q2平均値	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	2.3	1.8	1.7	1.5	1.7
Q3平均値	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.5	2.4	1.9	1.9	1.6	1.8
Q4平均値	3.9	3.9	4.0	3.9	4.0	3.8	4.4	3.7	3.8	3.9	3.8
Q5平均値	4.5	4.5	4.6	4.4	4.7	4.5	4.6	4.3	4.3	4.7	4.6
Q6平均値	4.6	4.6	4.7	4.6	4.6	4.7	4.8	4.4	4.7	4.7	4.5
Q7平均値	4.7	4.7	4.8	4.6	4.7	4.7	4.8	4.4	4.8	4.7	4.7
Q8平均値	4.6	4.6	4.6	4.4	4.6	4.5	4.8	4.2	4.6	4.6	4.4
Q9平均値	4.3	4.2	4.2	4.1	4.2	4.2	4.6	4.1	4.3	4.1	4.0
Q10 平均値	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.6	4.2	4.3	4.3	4.1
Q11 平均値	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	4.7	4.4	4.5	4.5	4.3
Q12 平均値	4.5	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.7	4.4	4.4	4.4	4.2
Q13 平均値	4.3	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2	4.7	4.1	4.2	4.2	4.1
Q14 平均値	4.4	4.4	4.4	4.3	4.4	4.3	4.7	4.1	4.4	4.4	4.2
Q15 平均値	4.4	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.7	4.3	4.5	4.5	4.3
Q16 平均値	4.0	4.1	3.9	3.9	3.9	3.9	4.5	3.9	3.9	3.9	3.8
Q17 平均値	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	3.9	4.5	4.0	4.1	3.9	3.8
Q18 平均値	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9	4.5	4.0	4.0	3.9	3.7
有効回答数	18,003	3,074	2,735	1,034	3,961	3,184	682	122	332	281	571

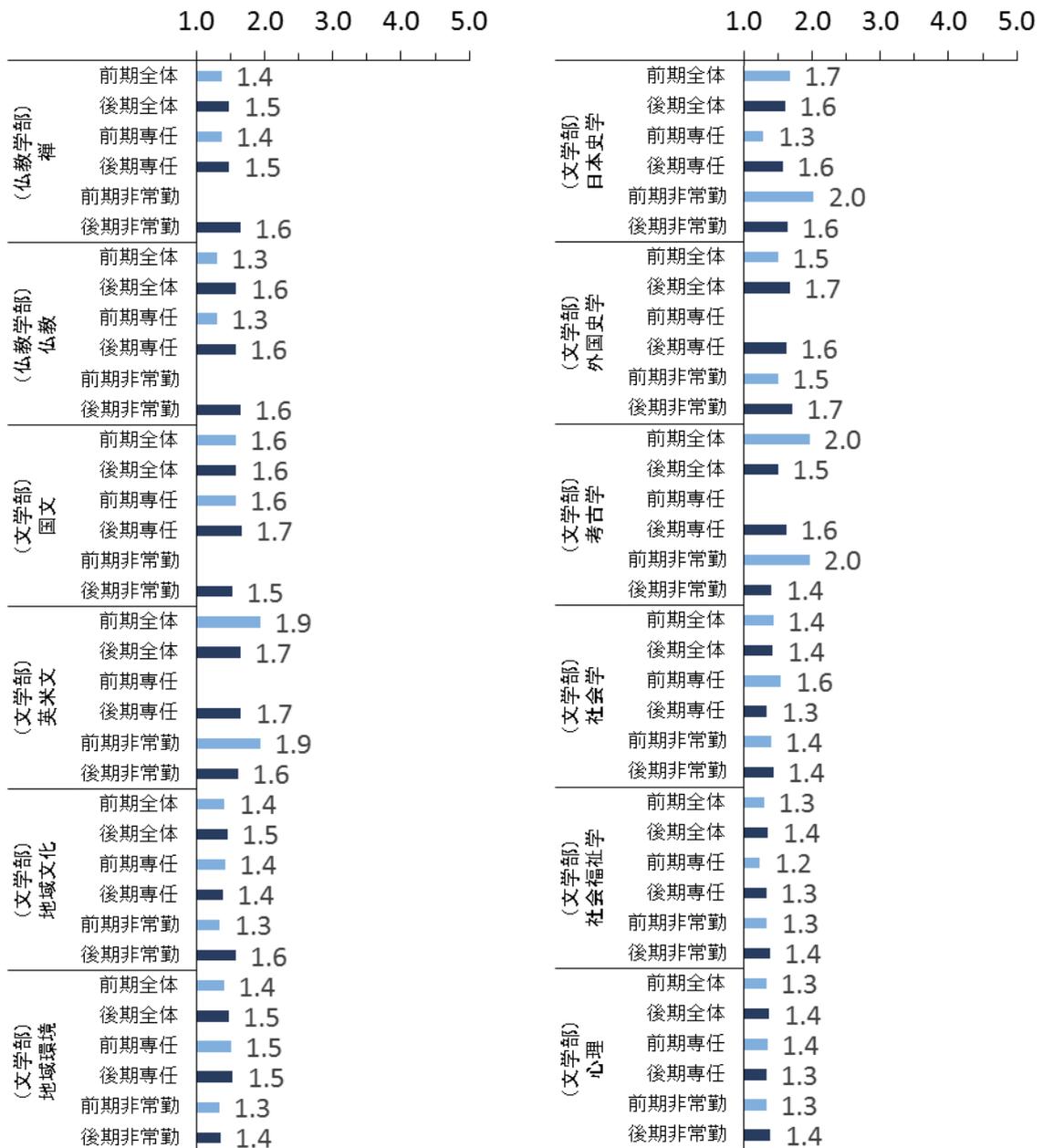
表 7 入試形態別平均値（後期実施科目）

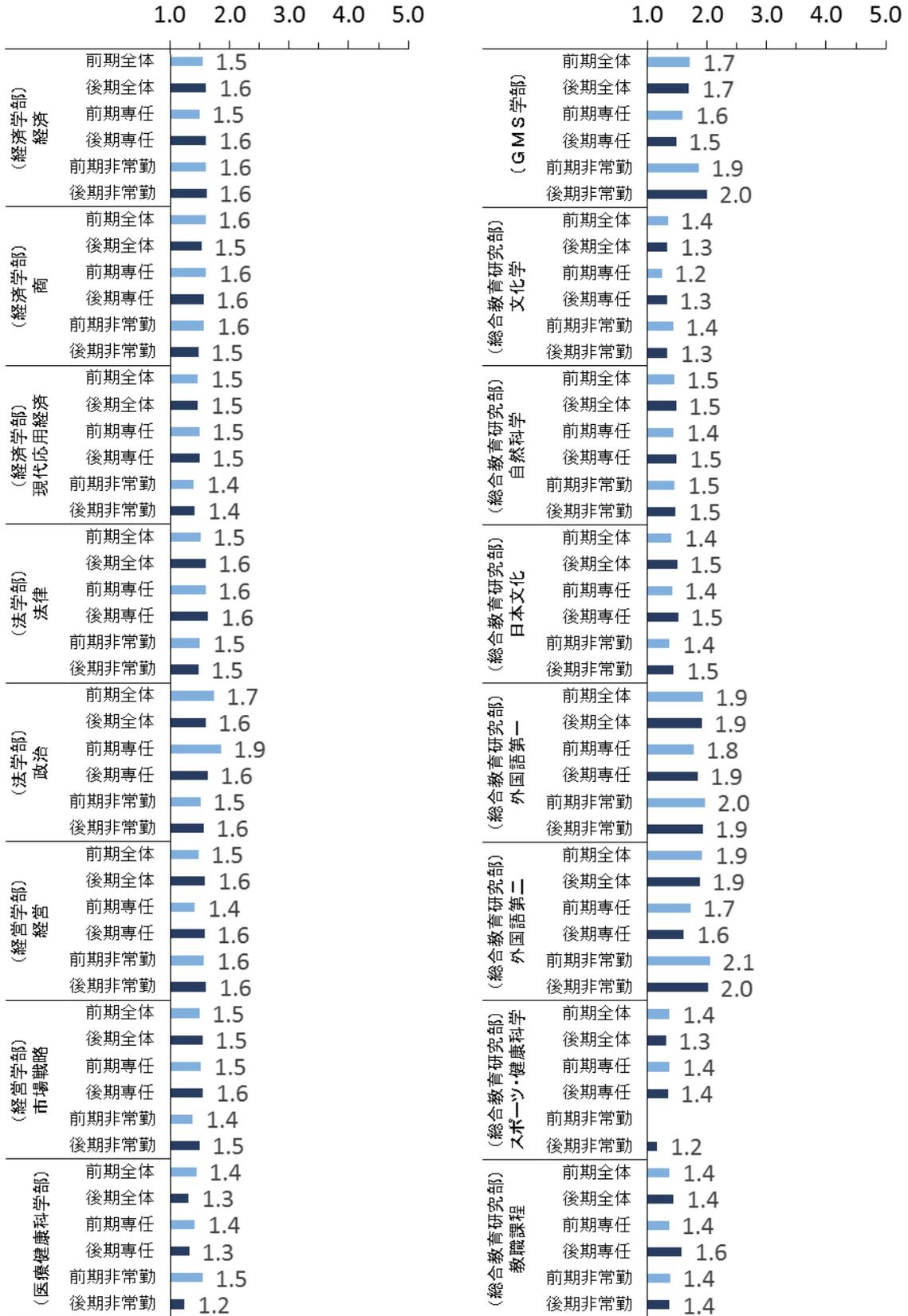
入試形態	一般入試	試験利用入試 大学入試センター	自己推薦入試 一般推薦入試・	スポーツ推薦入試	指定校入試	附属校推薦入試	留学生特別入試	帰国生特別入試	編入学試験	その他	回答しない
Q2平均値	1.5	1.5	1.6	1.7	1.6	1.5	2.3	1.8	1.6	1.6	1.5
Q3平均値	1.6	1.6	1.6	1.8	1.6	1.5	2.5	2.0	1.7	1.7	1.6
Q4平均値	3.8	3.7	3.9	3.9	3.9	3.9	4.3	3.7	3.9	3.9	3.6
Q5平均値	4.3	4.1	4.2	4.1	4.4	4.4	4.3	4.1	4.2	4.3	4.3
Q6平均値	4.6	4.5	4.6	4.6	4.5	4.6	4.7	4.6	4.7	4.7	4.4
Q7平均値	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.5
Q8平均値	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.6	4.7	4.6	4.7	4.7	4.3
Q9平均値	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.3	4.5	4.2	4.5	4.3	3.9
Q10 平均値	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.3	4.5	4.3	4.5	4.3	4.0
Q11 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.7	4.6	4.6	4.6	4.3
Q12 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.6	4.6	4.5	4.5	4.1
Q13 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.2	4.6	4.2	4.4	4.3	3.8
Q14 平均値	4.4	4.3	4.4	4.4	4.3	4.4	4.6	4.3	4.5	4.5	4.1
Q15 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.7	4.4	4.5	4.5	4.2
Q16 平均値	4.0	3.9	3.9	4.0	3.8	4.0	4.4	3.9	4.1	3.9	3.6
Q17 平均値	4.1	4.0	4.1	4.0	3.9	4.0	4.4	4.1	4.1	4.0	3.7
Q18 平均値	3.9	3.9	3.9	4.0	3.8	3.9	4.3	3.9	4.0	3.9	3.5
有効回答数	21,978	3,889	3,506	986	4,902	3,101	699	100	420	357	916

(4) 受講生の講義への取り組み

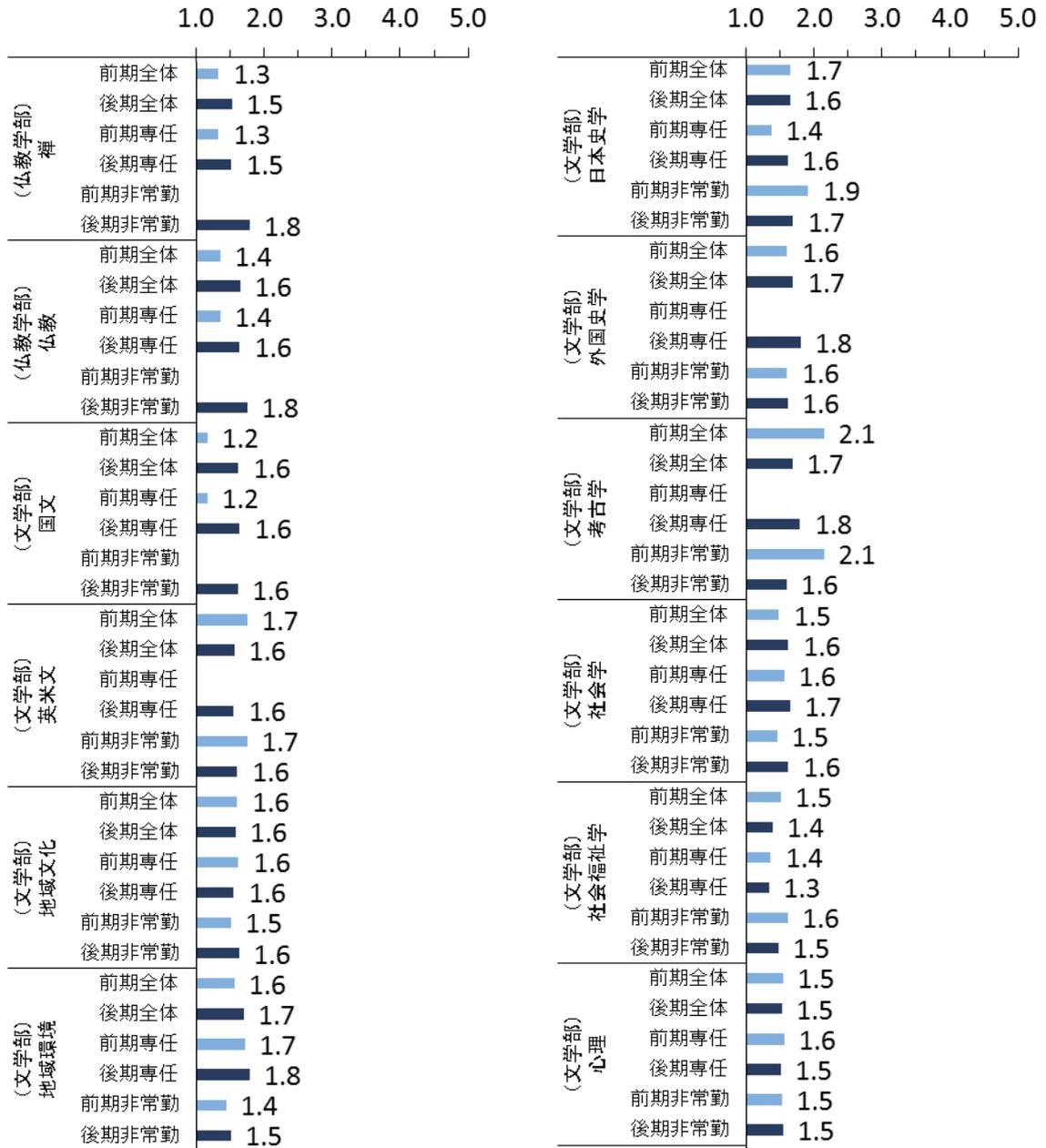
「受講生の講義への取り組み」に関しては、(3) 項目別平均値における(学)部・学科・部門別の全体・専任・非常勤別平均値を提示している。なお、各グラフには前期実施科目と後期実施科目の平均値を掲載している。各アンケート項目は5段階評価で、ポイントが大きいほど良い評価となっている。

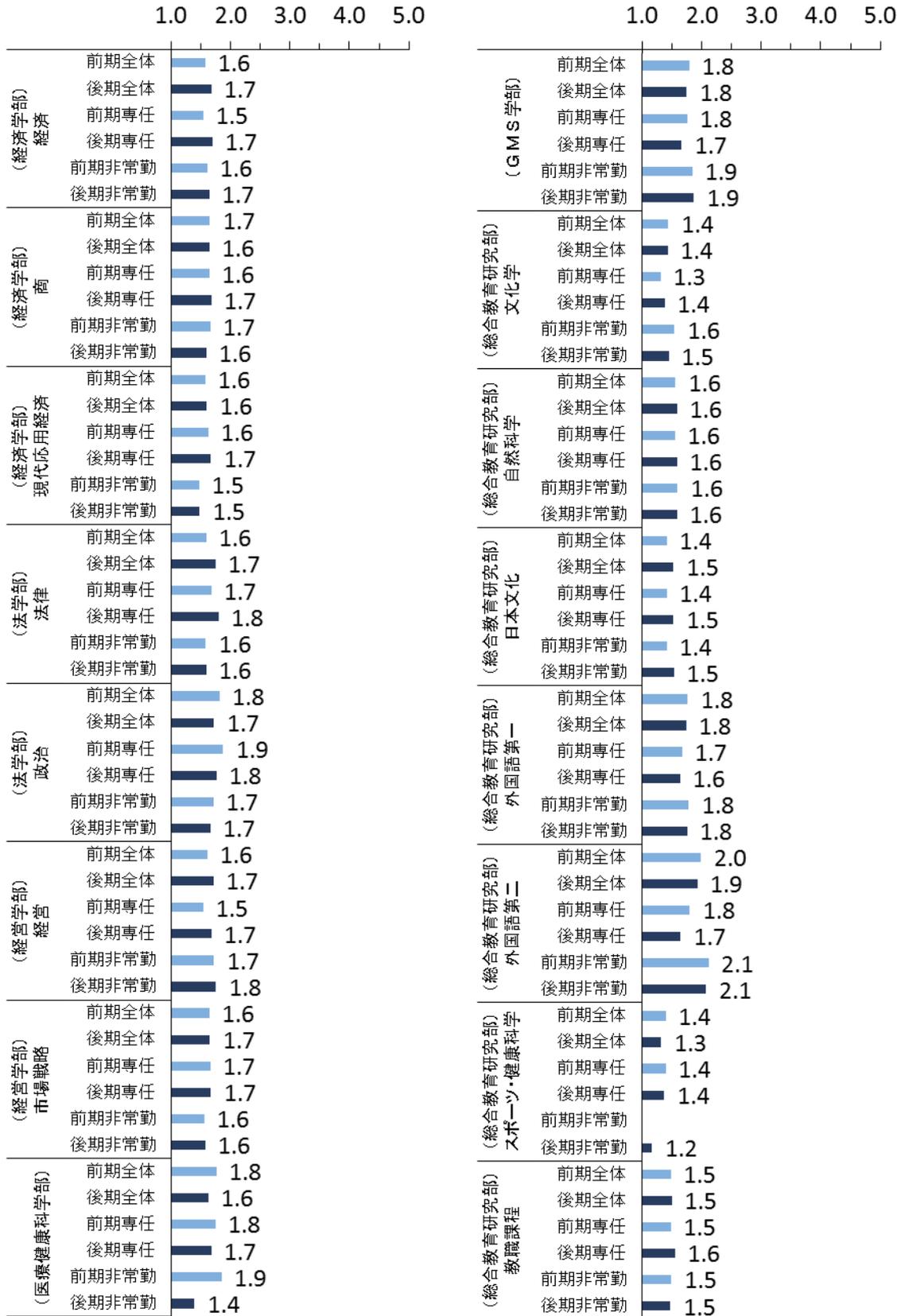
Q 2. この授業の予習にあてている時間は、1 週間に何時間くらいですか。		
5 : 3 時間以上	4 : 2 時間以上～3 時間未満	3 : 1 時間以上～2 時間未満
2 : 1 時間未満	1 : 全くしていない	



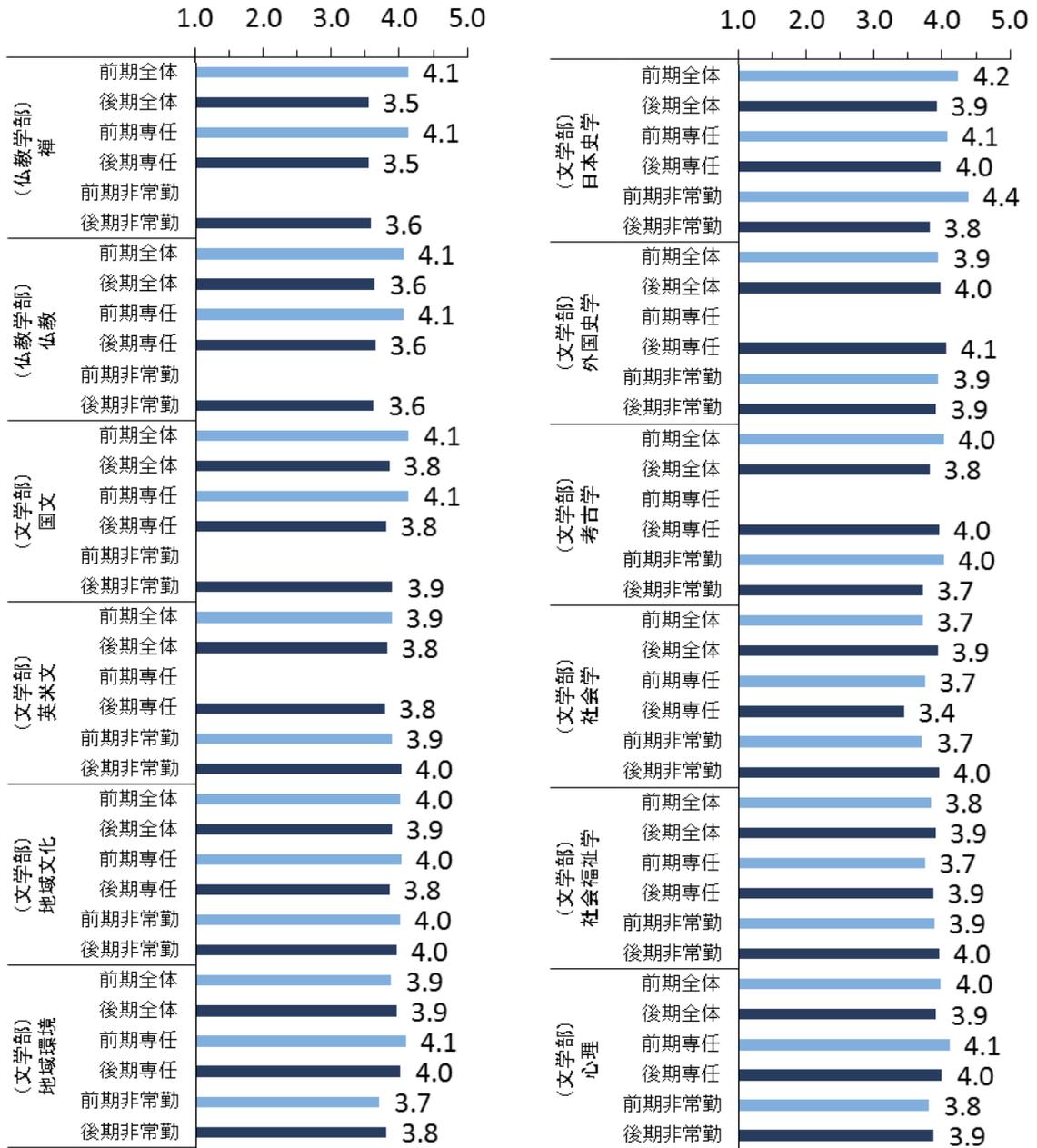


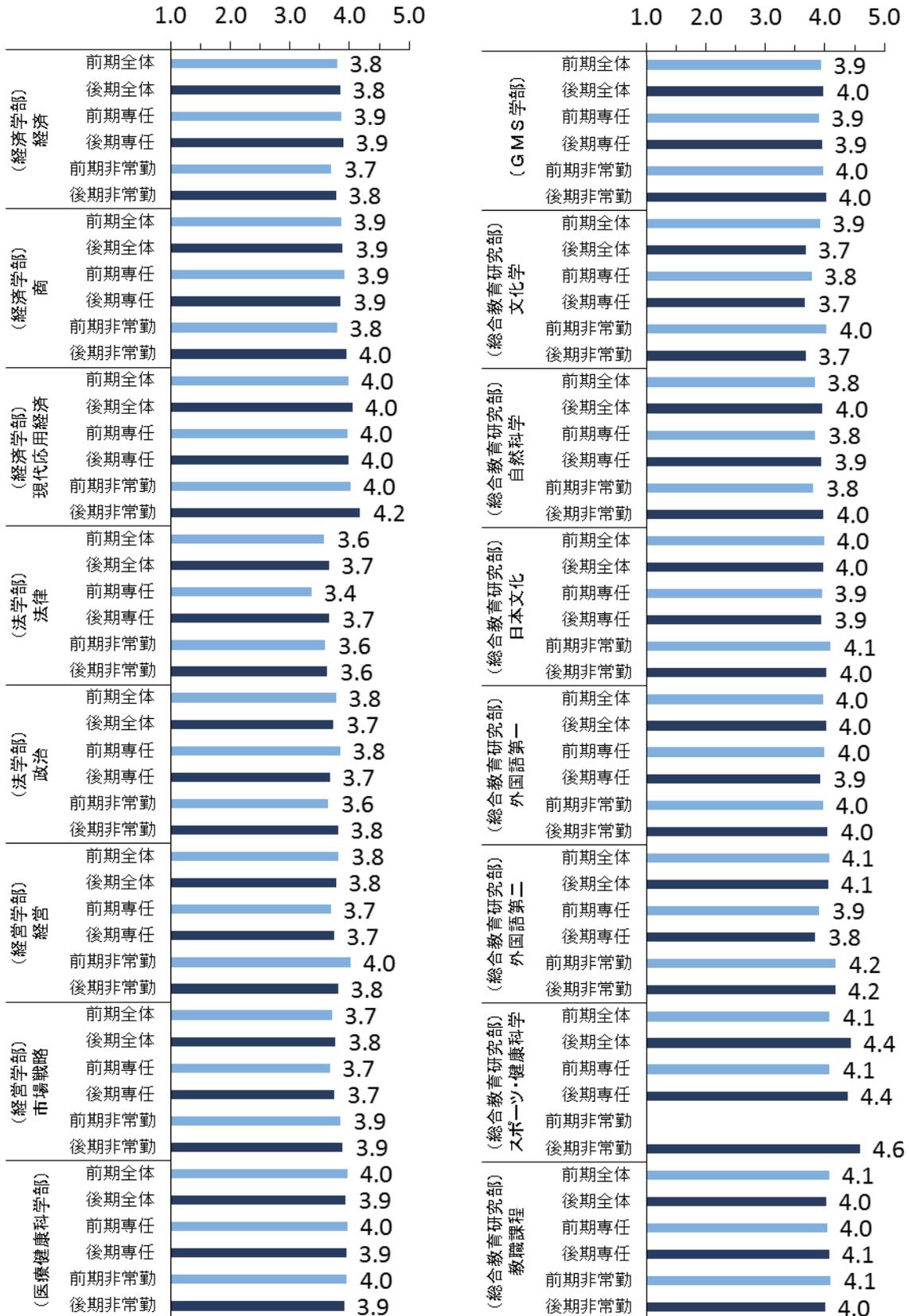
Q 3. この授業の予習にあてている時間は、1 週間に何時間くらいですか。  
 5 : 3 時間以上    4 : 2 時間以上～3 時間未満    3 : 1 時間以上～2 時間未満  
 2 : 1 時間未満    1 : 全くしていない



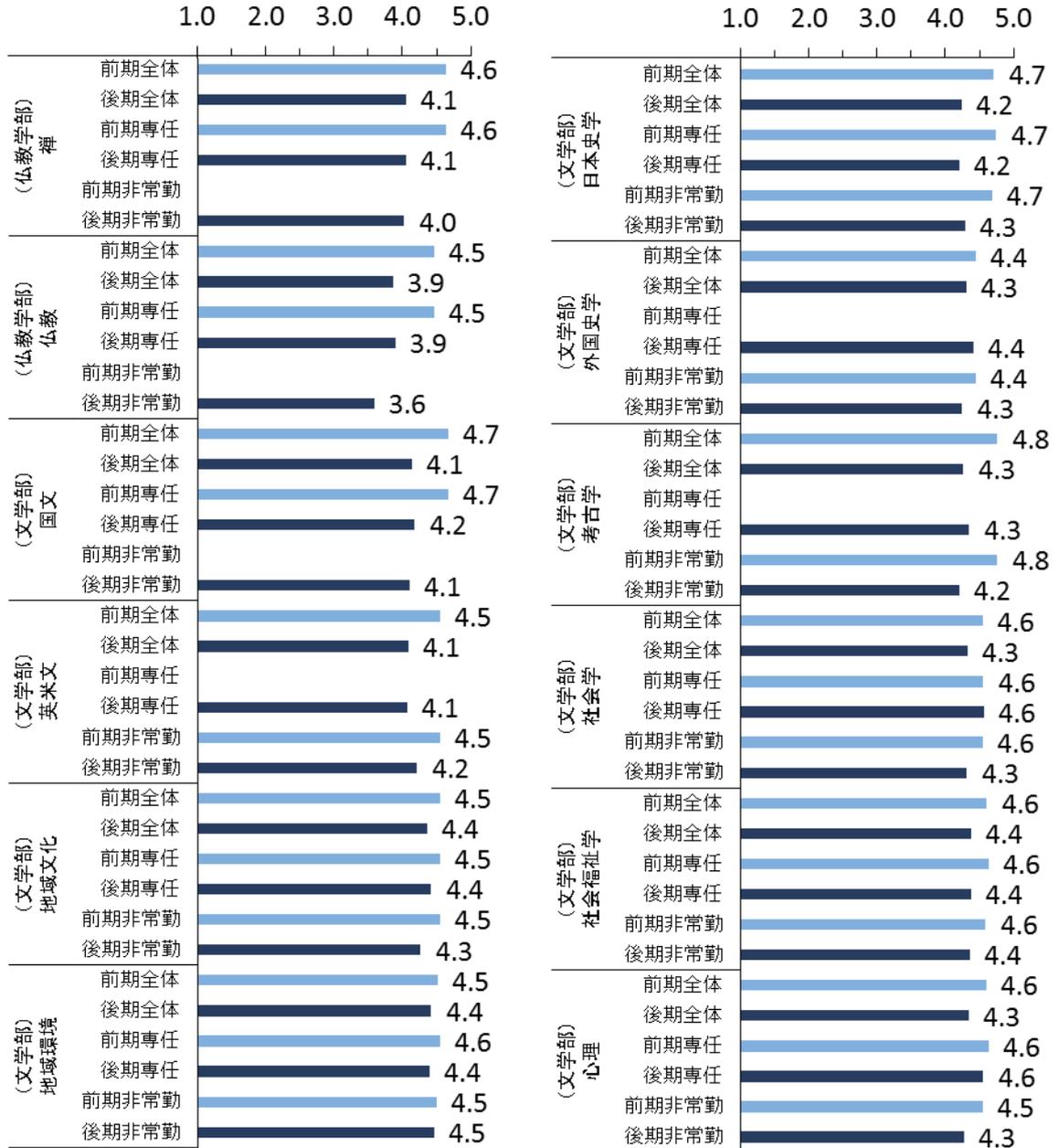


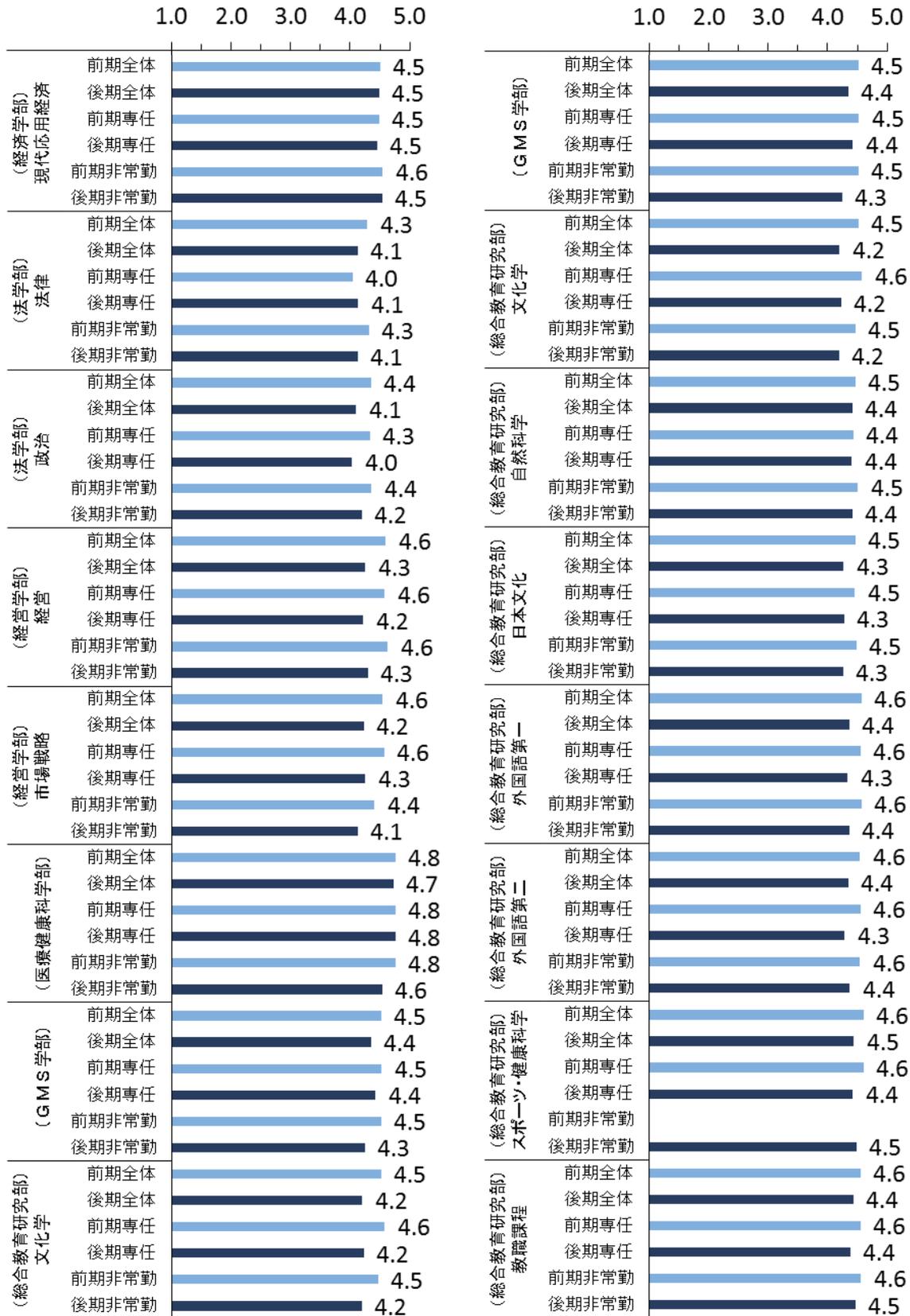
Q 4. あなたは授業に熱心に取り組んでいますか。  
 5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない





Q 5. この授業を何回欠席しましたか。					
(半期科目)	5 : 0 回	4 : 1~2 回	3 : 3~4 回	2 : 5~6 回	1 : 7 回以上
(通年科目)	5 : 0 回	4 : 1~4 回	3 : 5~9 回	2 : 10~13 回	1 : 14 回以上



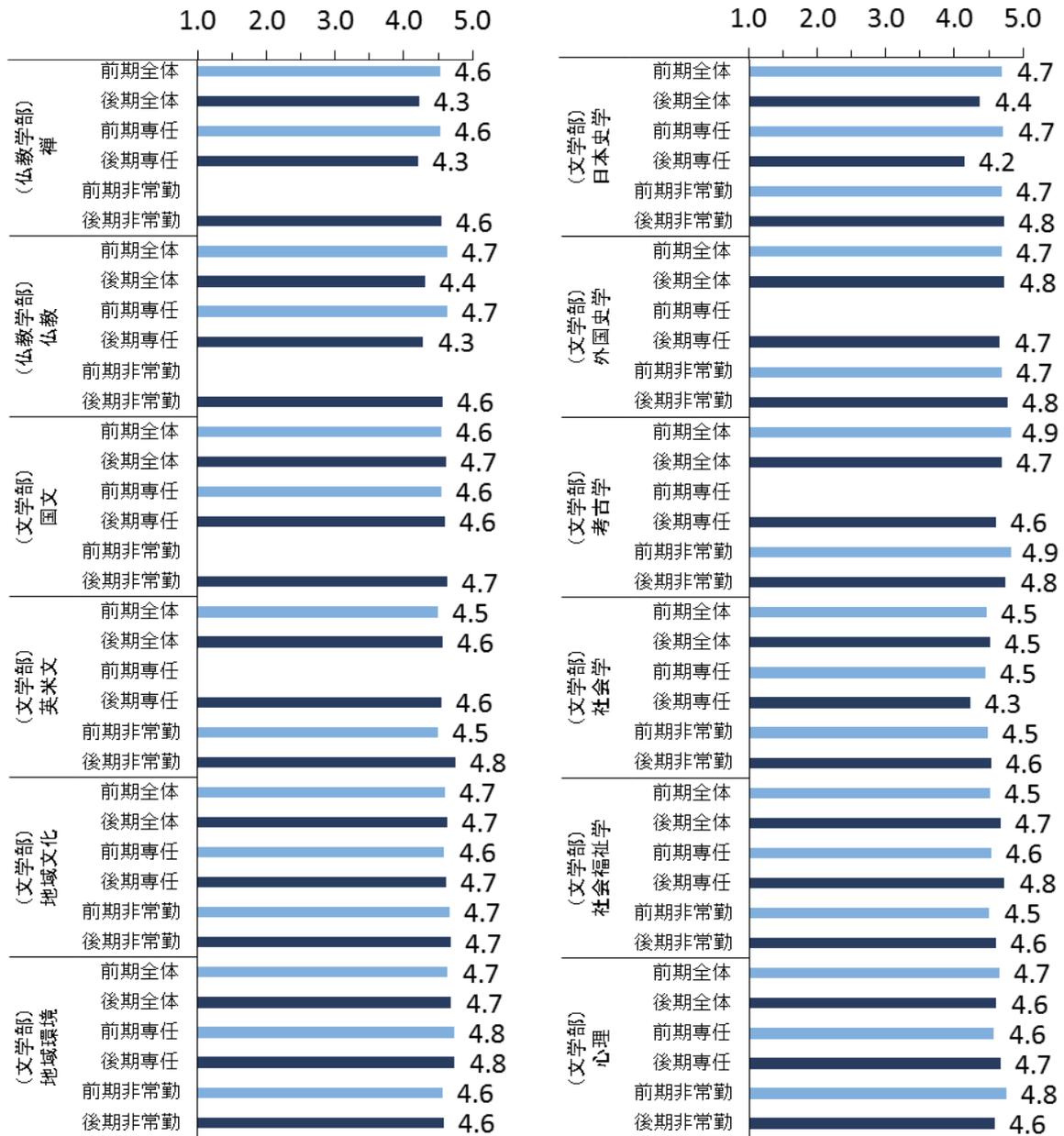


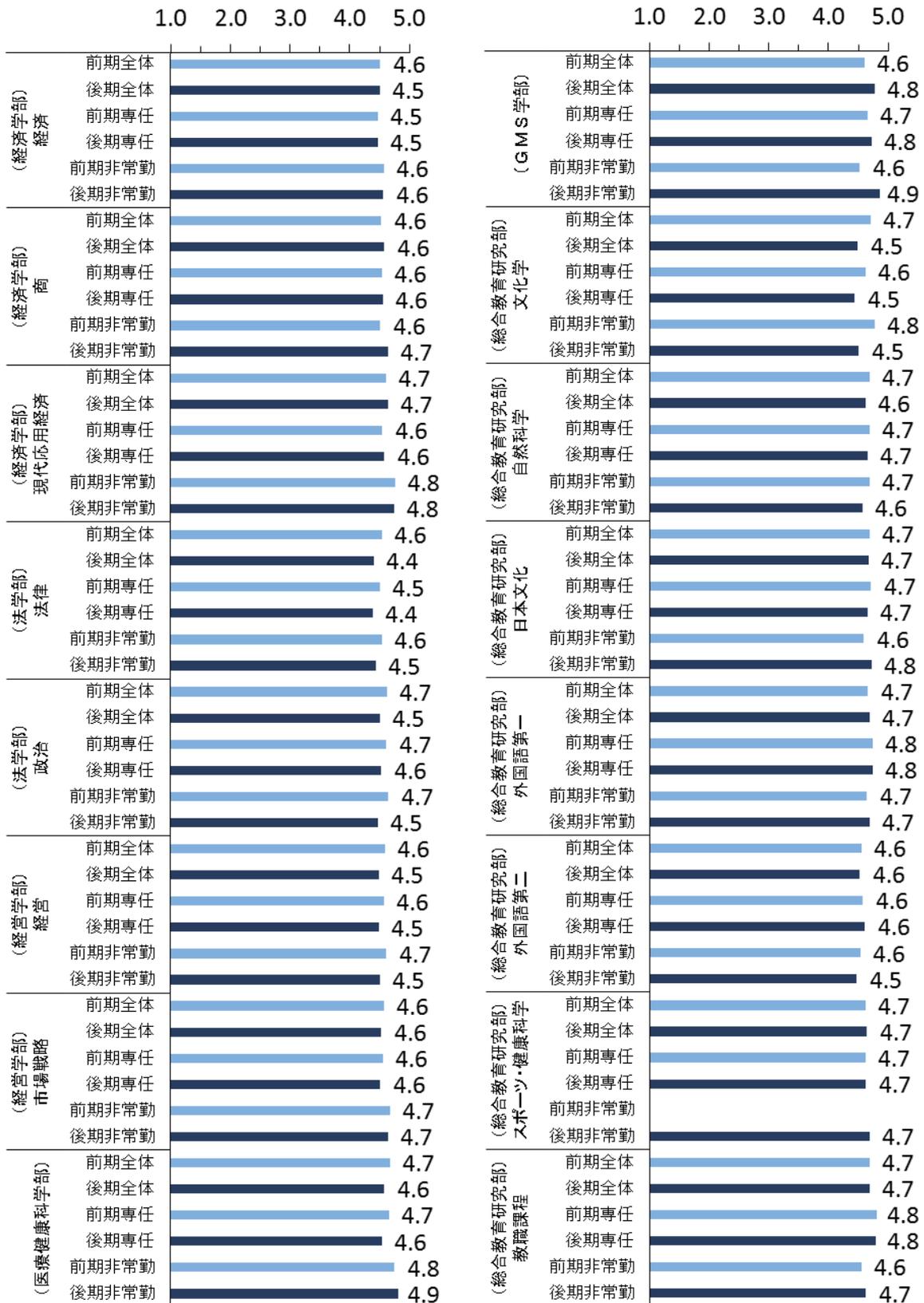
(5) 授業についての評価

「授業についての評価」に関しては、(3) 項目別平均値における(学)部・学科・部門別専任・非常勤別平均値に基づき、授業の開始時刻・終了時刻(Q6)、休講(Q7)、シラバスについて(Q8)、授業の進み方(Q9)、教材・資料・機材等の使い方(Q10)、授業に対する教員の取り組み(Q11~15)、授業内容の理解度(Q16)、授業内容への興味(Q17)、学修目標の達成(Q18)を検討した。

Q 6. 授業はほぼ定刻通りに実施されていますか。
5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

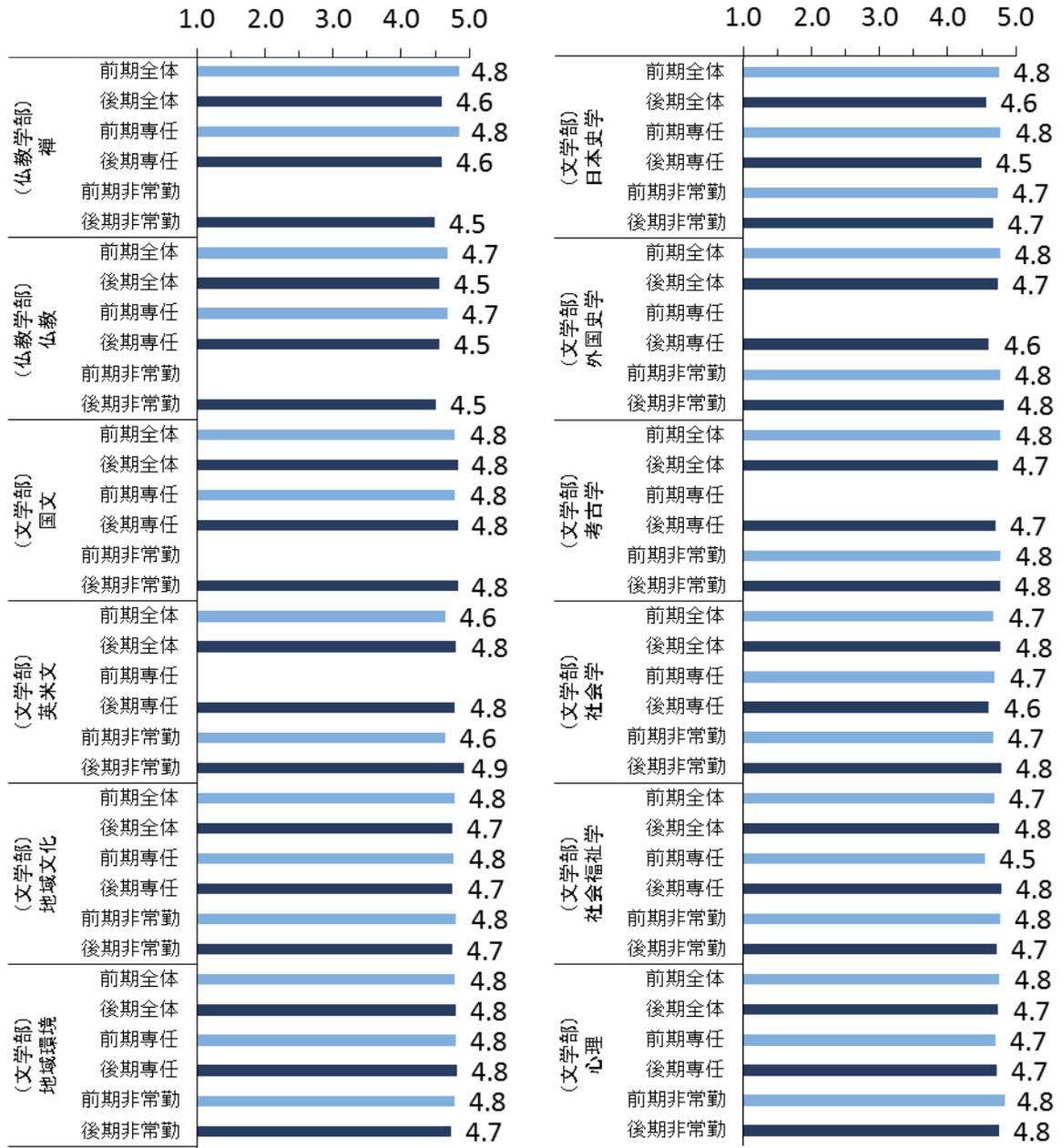
すべての学部において、4.0 ポイント以上の値となっており、定刻通りに実施されていたことがわかる。

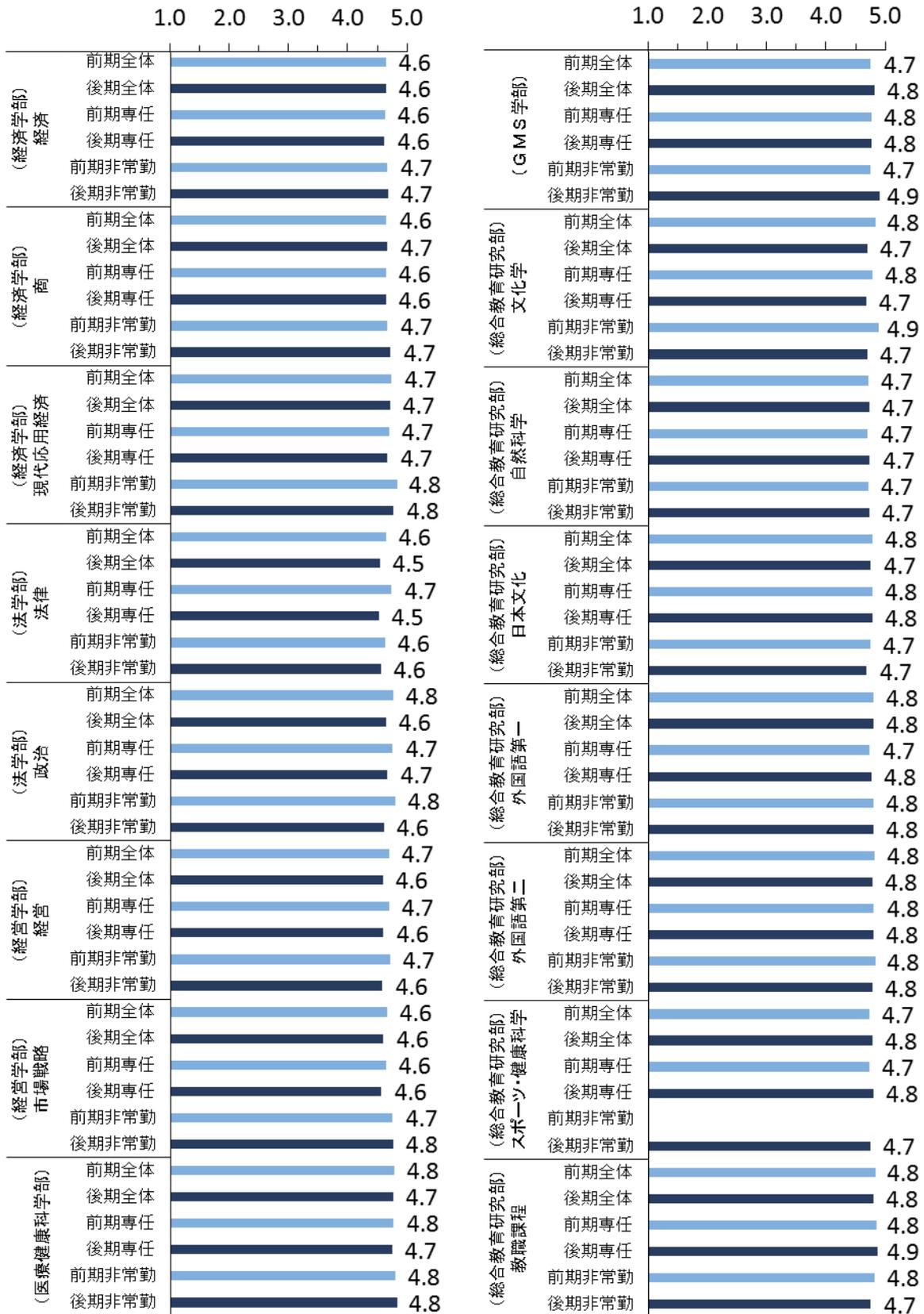




Q 7. 通常通り、授業回数は確保されていますか。(補講・YeStudy 等による課題授業含む)  
 5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

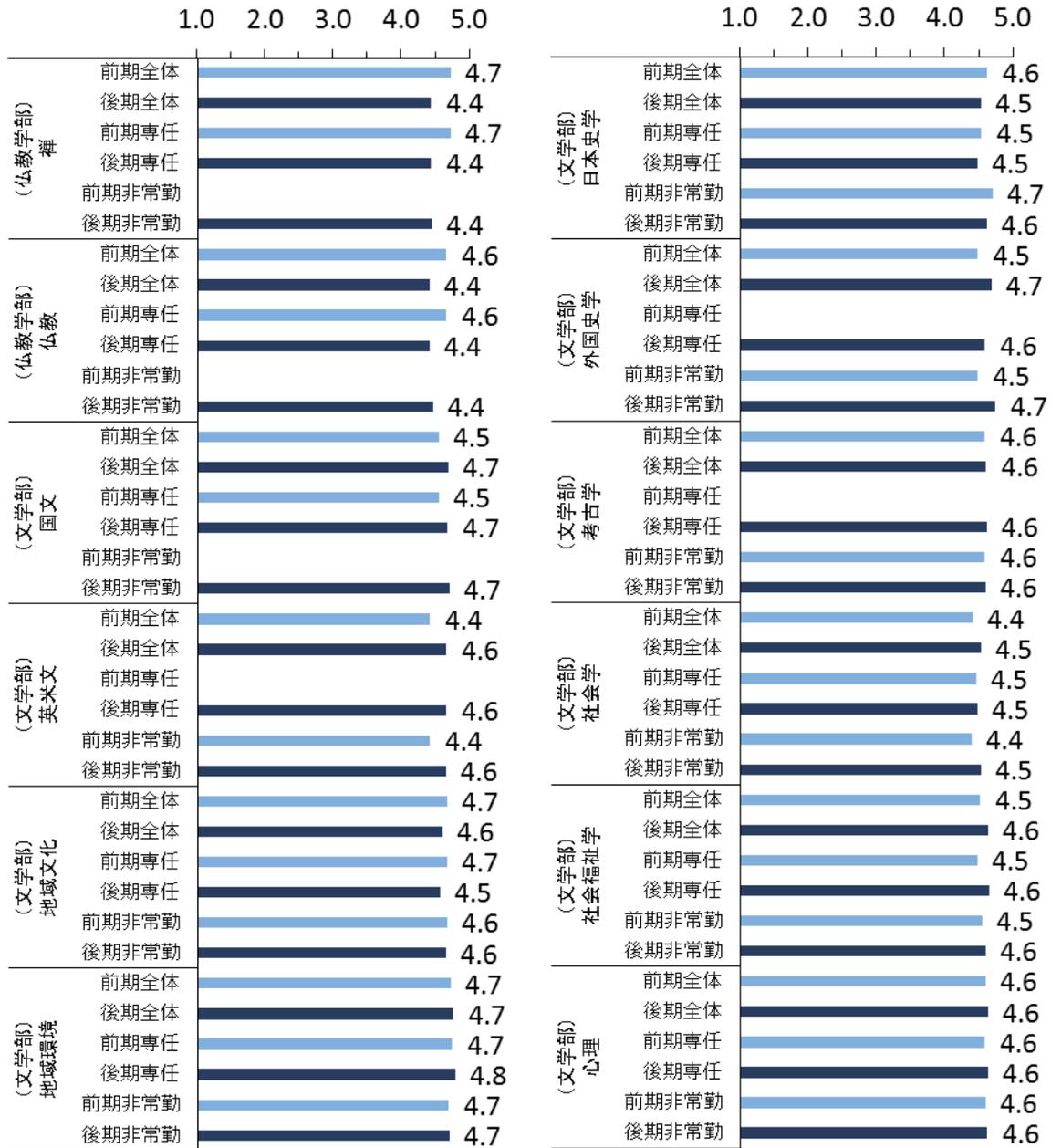
すべての学部において、4.0 ポイント以上の値となっており、通常通り授業回数が確保されていたことがわかる。

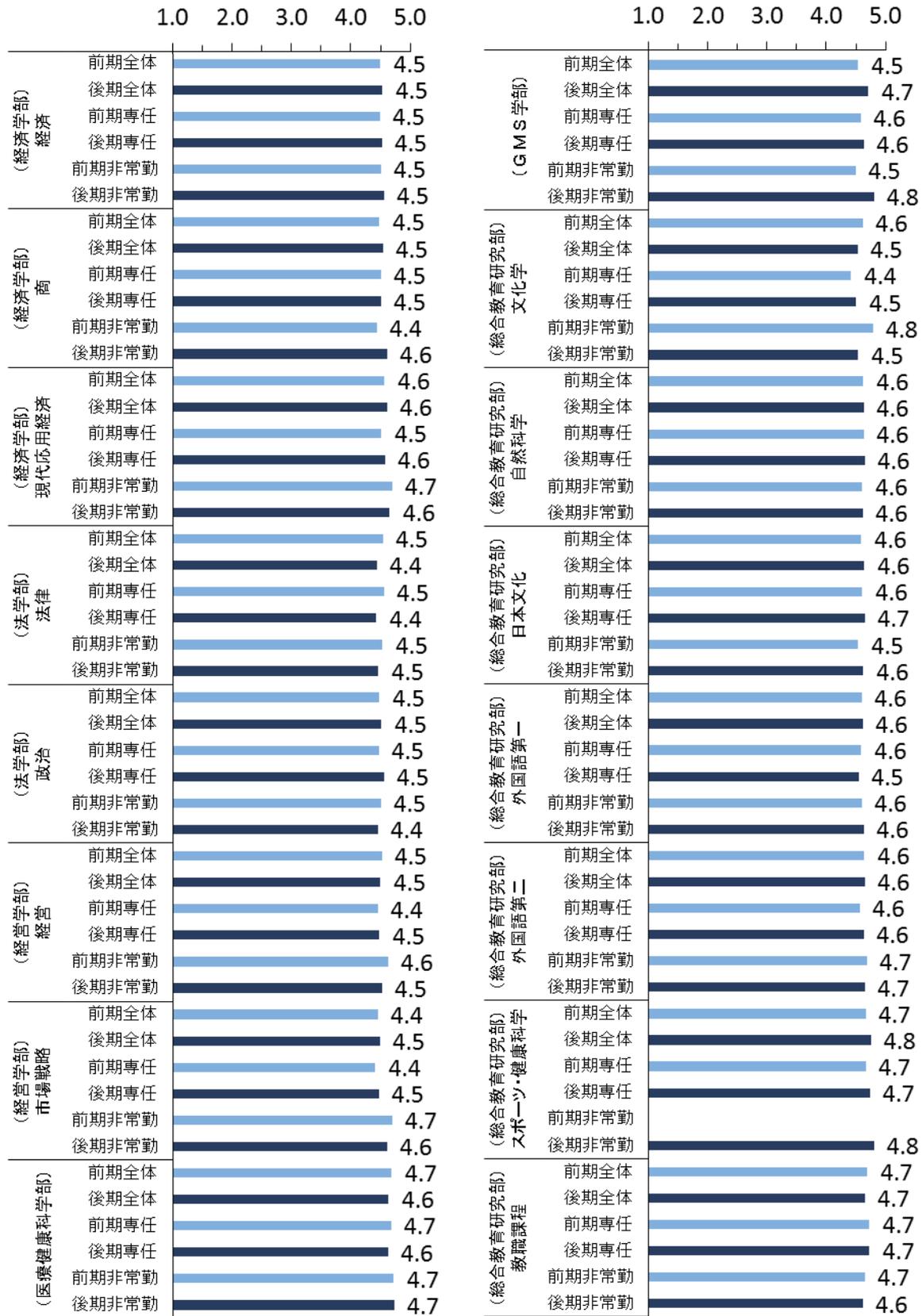




Q 8. 授業にはおおむねシラバスの内容が反映されていますか。  
 5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

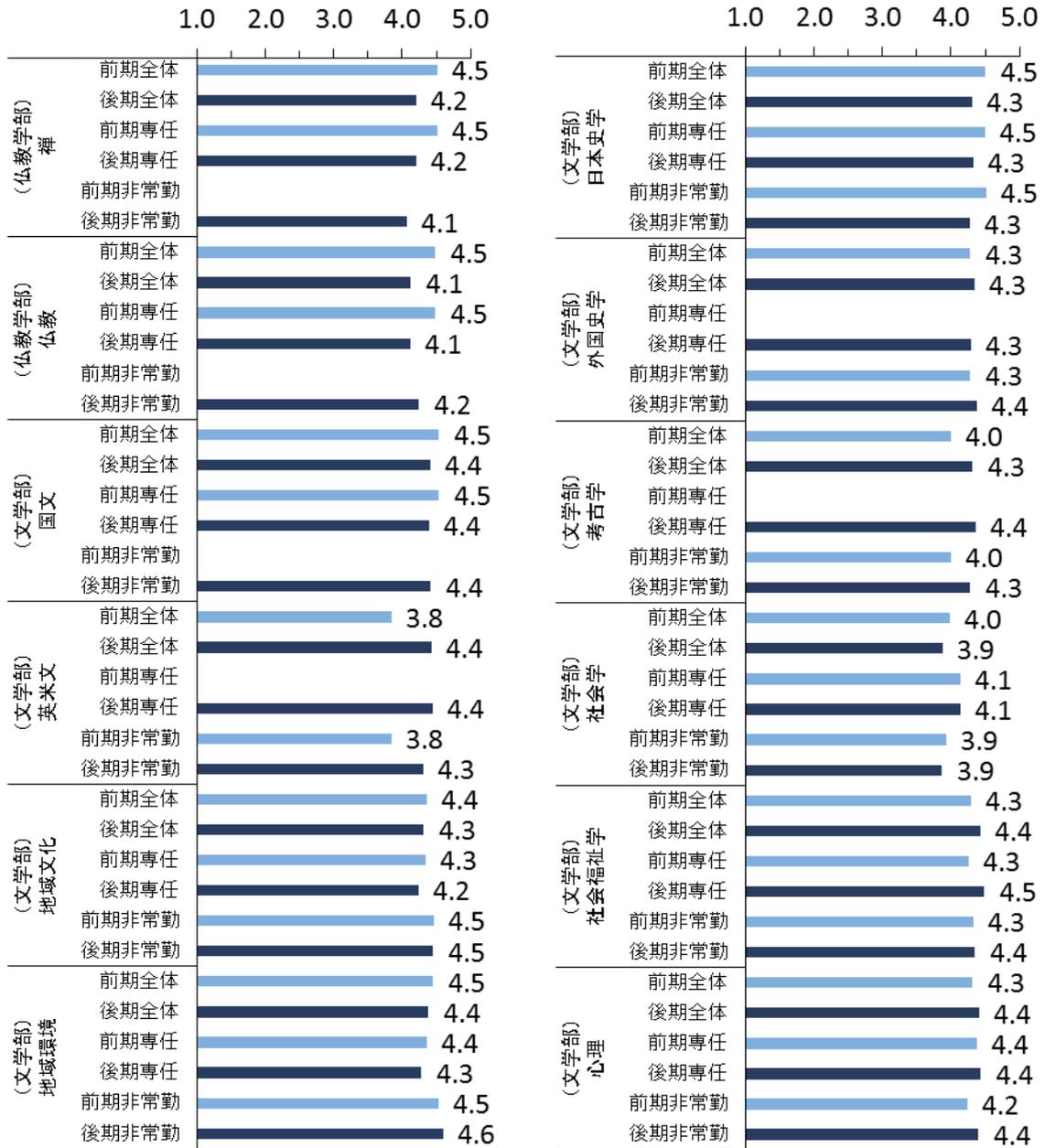
ほとんどの学部において、4.0 ポイント以上の値となっており、シラバスの内容が反映されていたことがわかる。

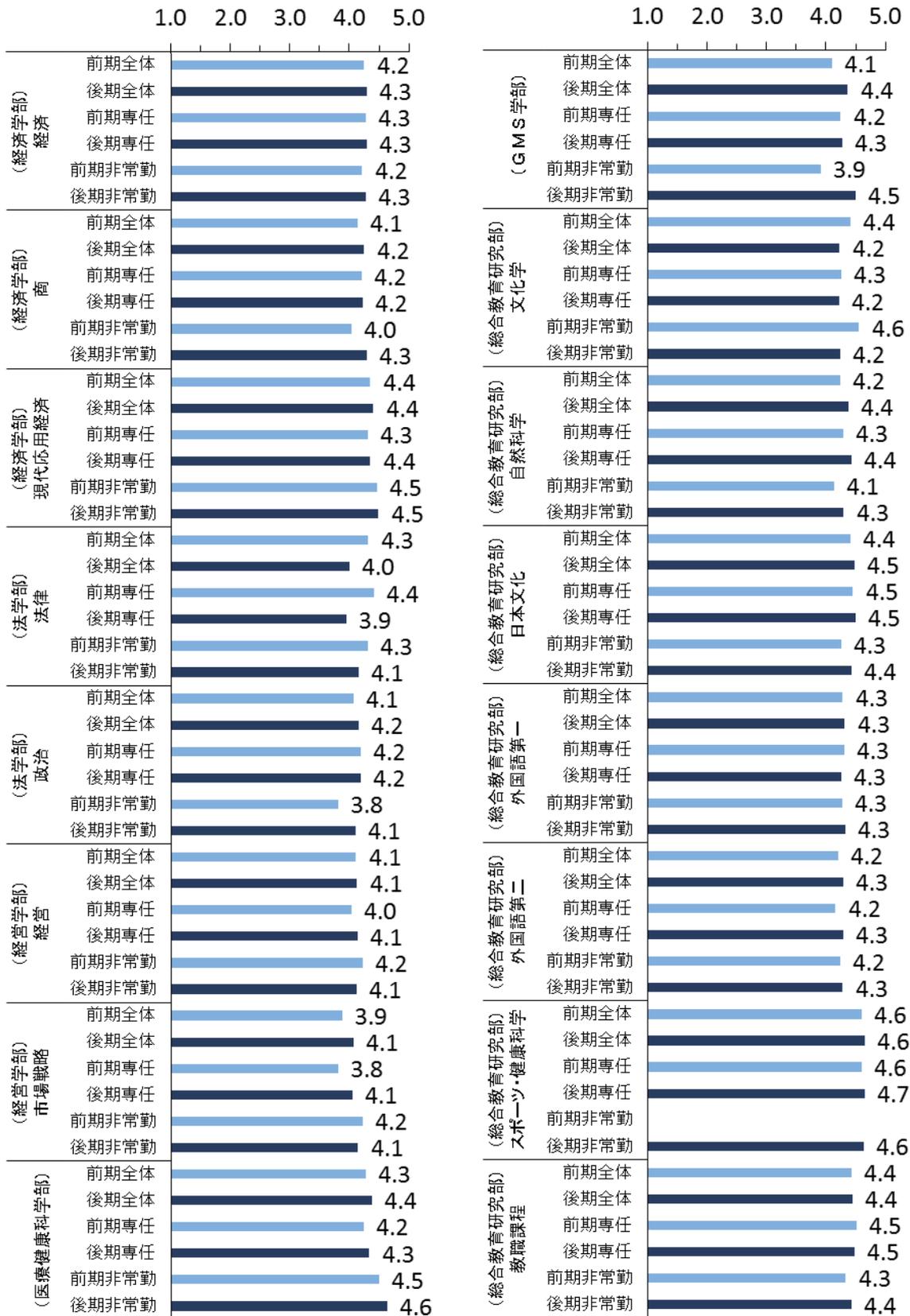




Q 9. この授業の進み方はあなたにとって適切ですか。  
 5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

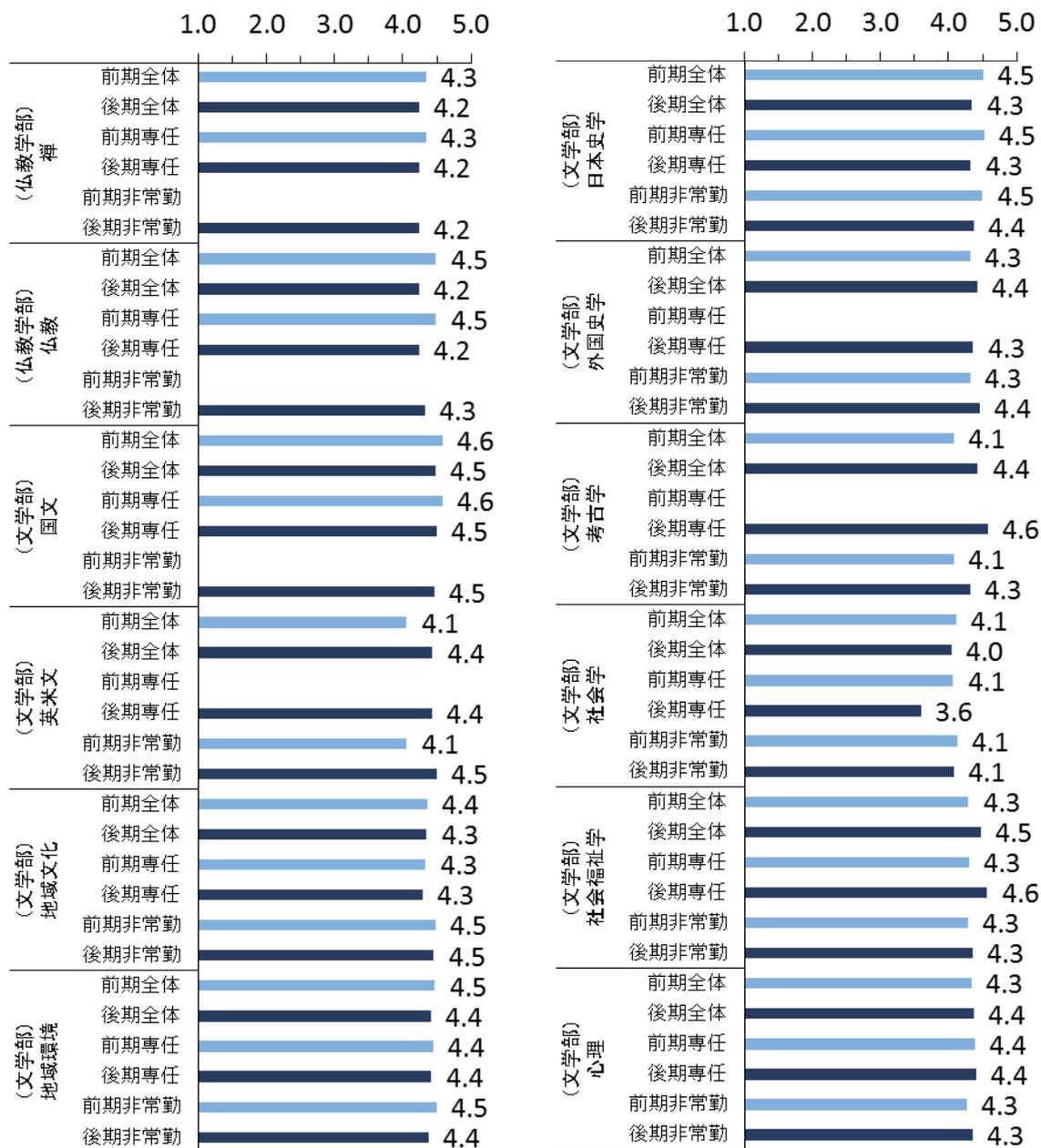
3.4~4.7 ポイントに推移しており、結果にばらつきはあるものの、進み方が適切であった傾向にあることがわかる。

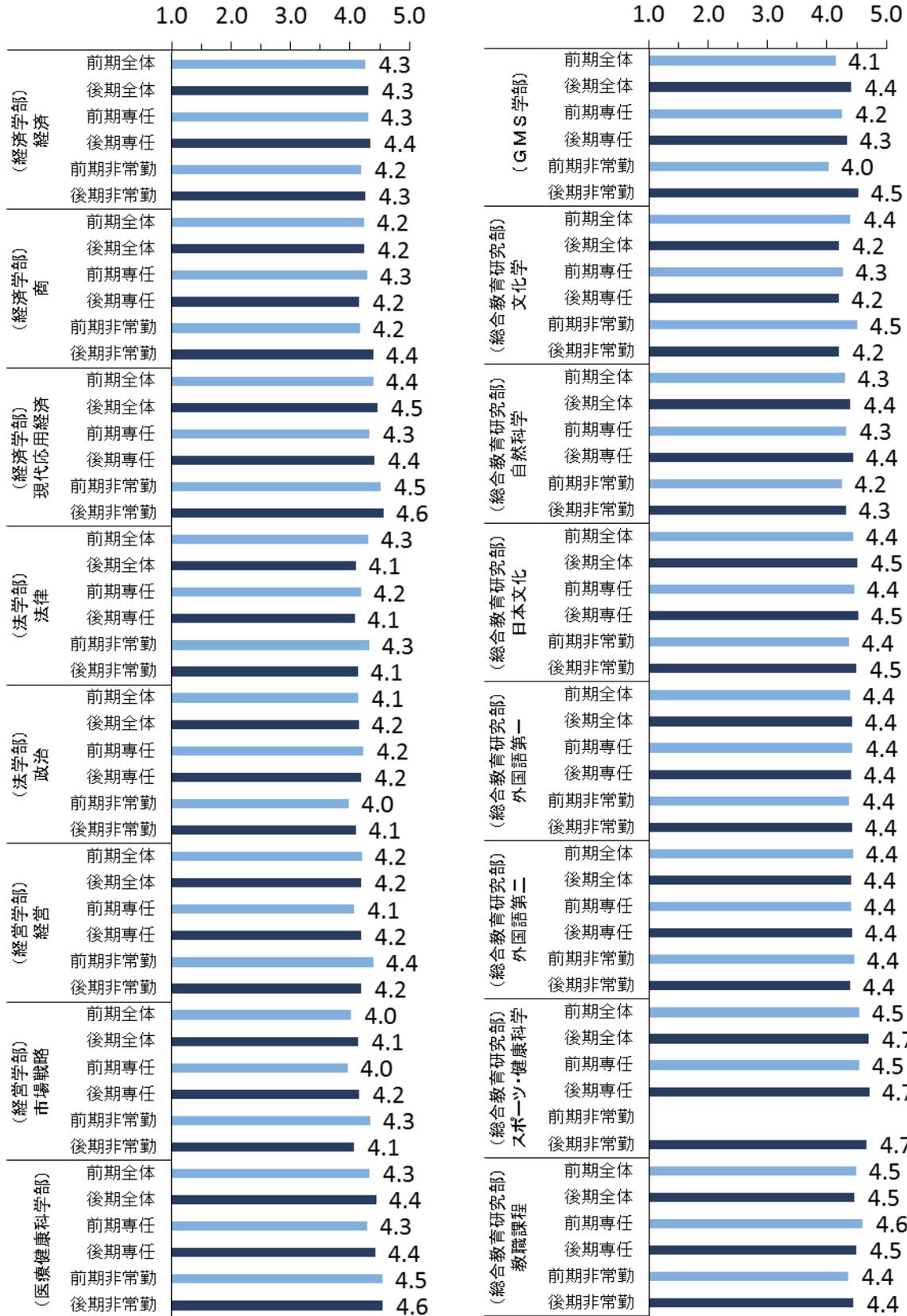




Q 1 0. 教科書・配付資料等は授業内容を理解するうえで効果的ですか。  
 5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない  
 0: 教科書・配付資料等がない場合

2.5~4.7 ポイントに推移しており、結果にばらつきはあるが、概ね効果的であった傾向にあることがわかる。

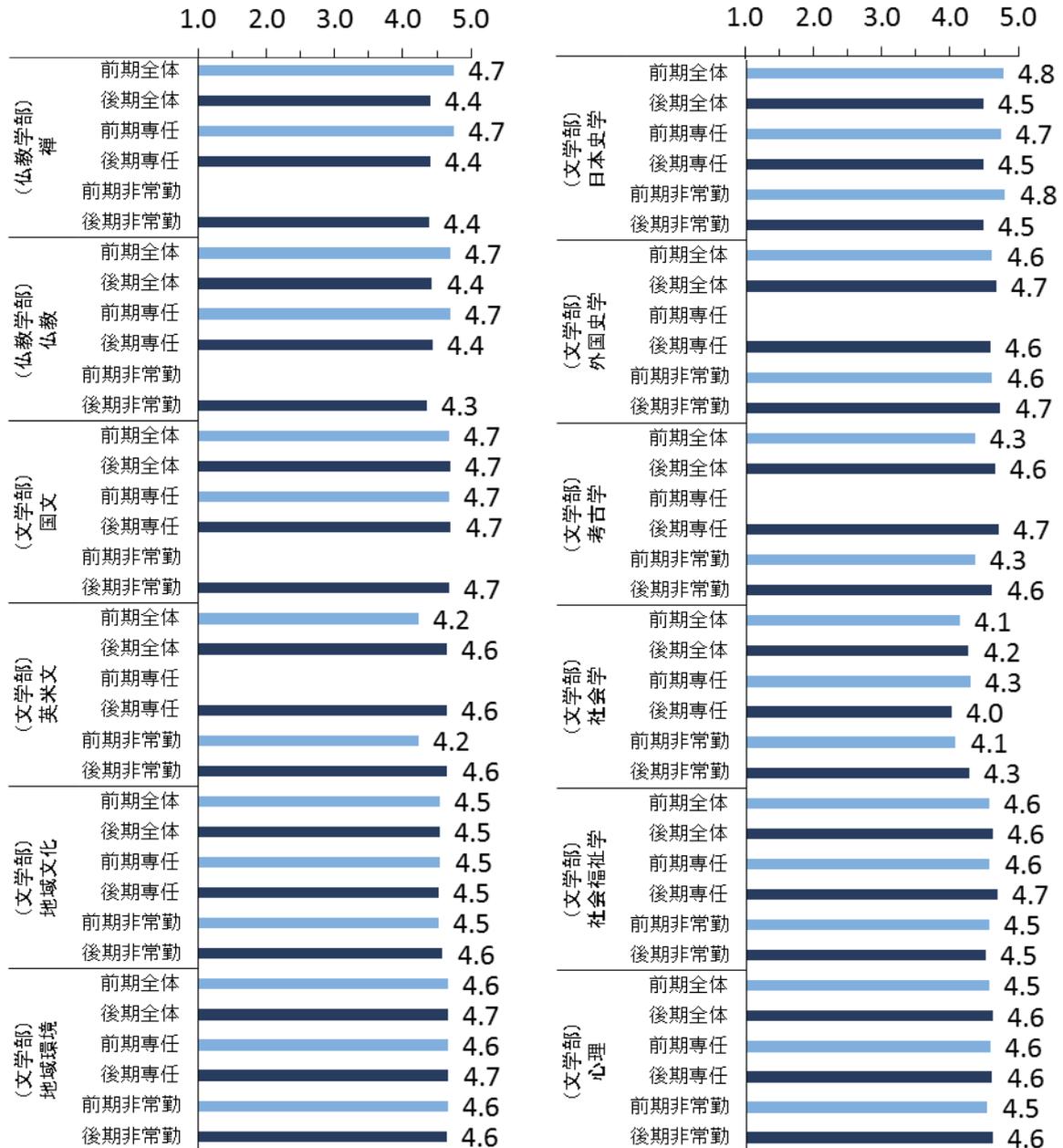


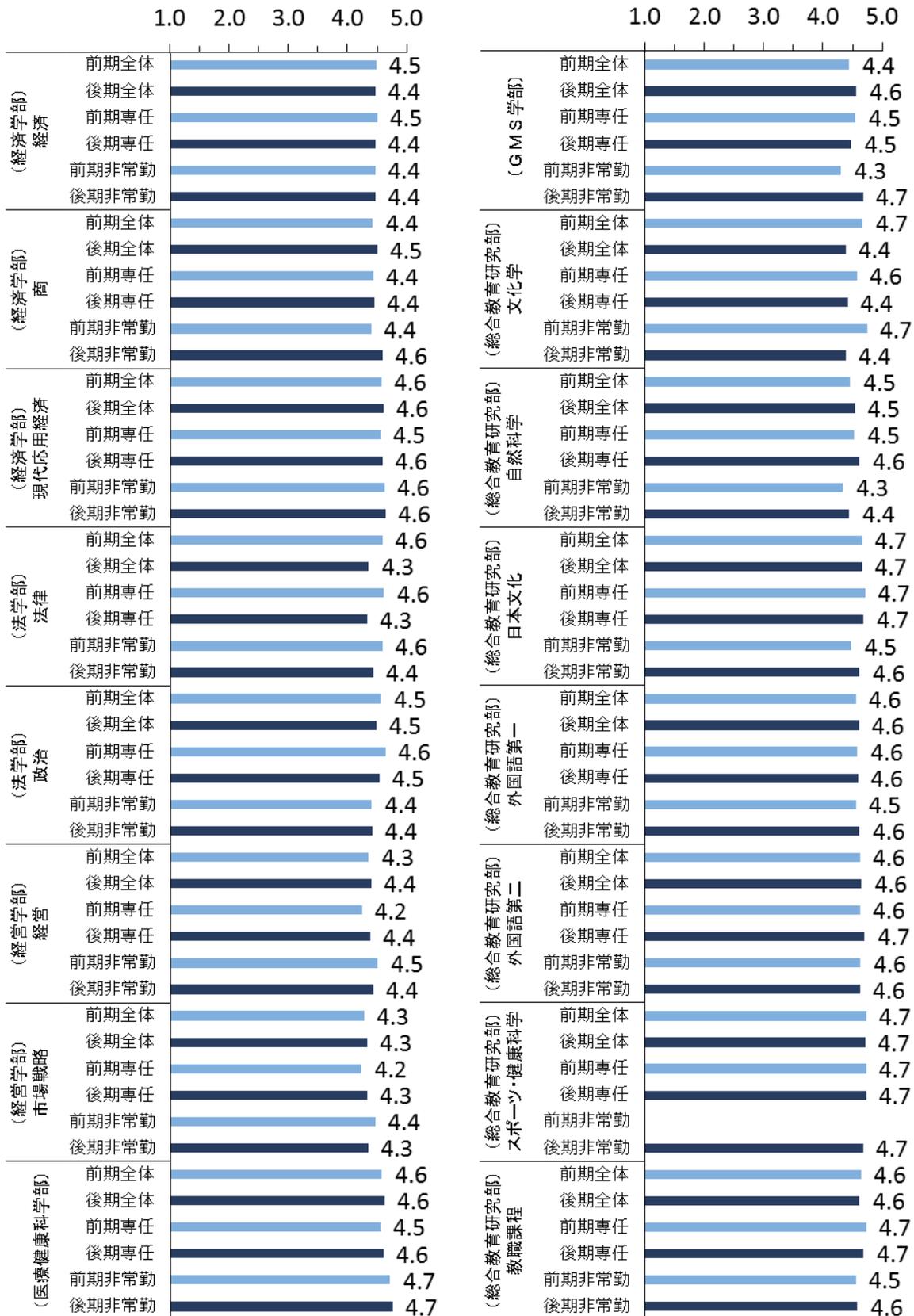


Q 1 1. 担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられますか。

5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

ほとんどの学部において、4.0 ポイント以上の値となっており、取り組みに熱意が感じられたことがわかる。

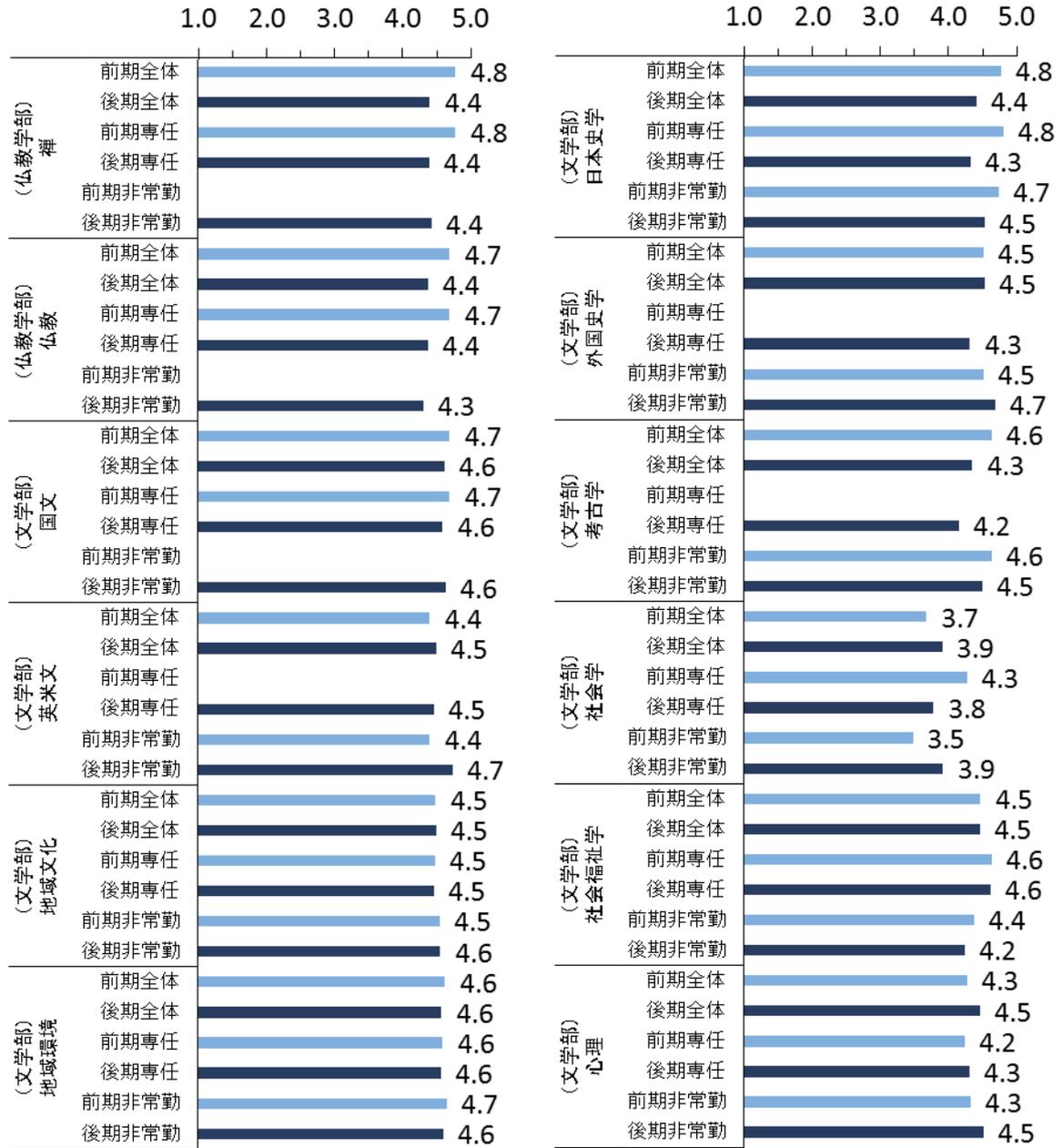


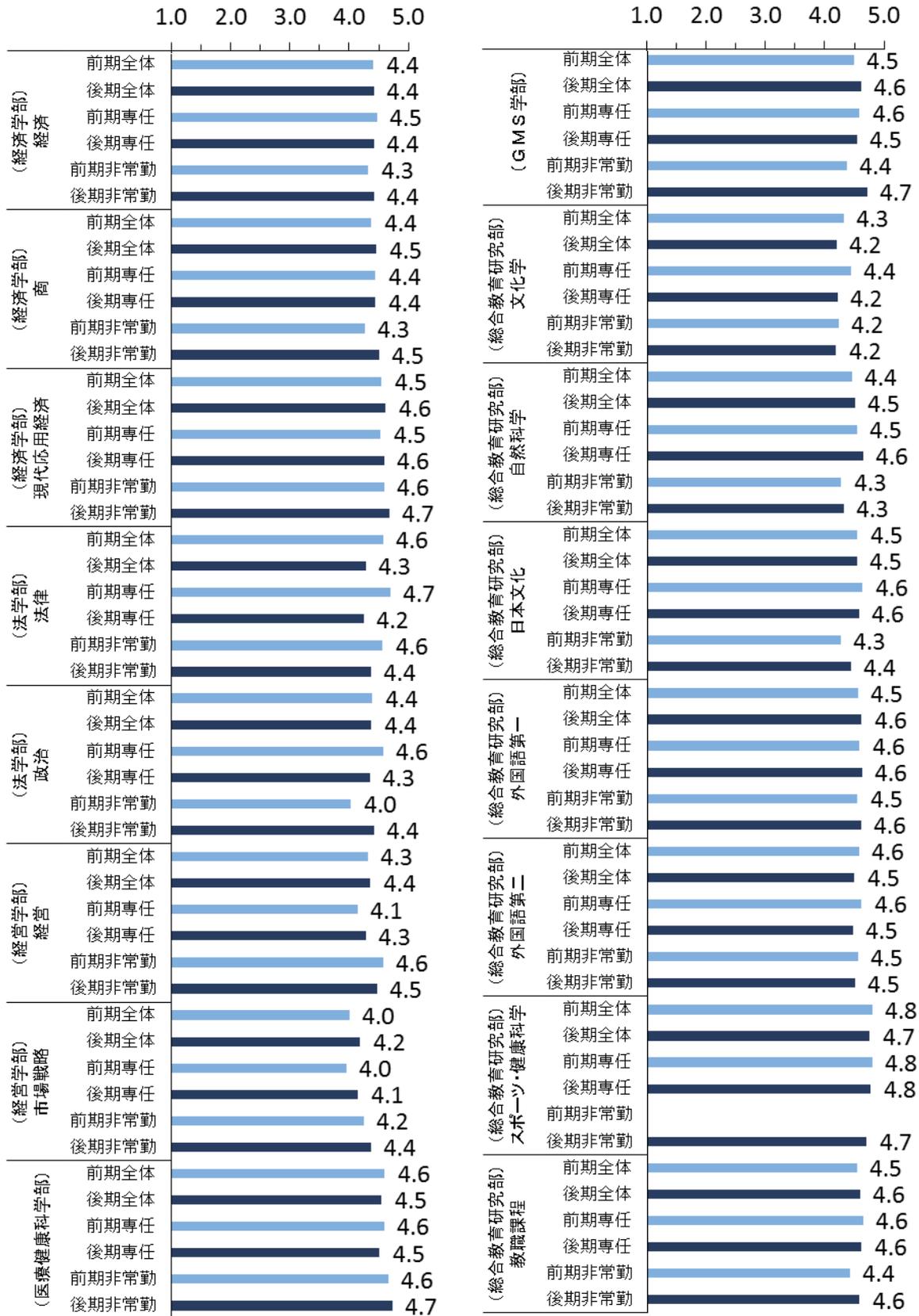


Q 1 2. 教員の話し方・声のボリュームは聞き取りやすいですか。

5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

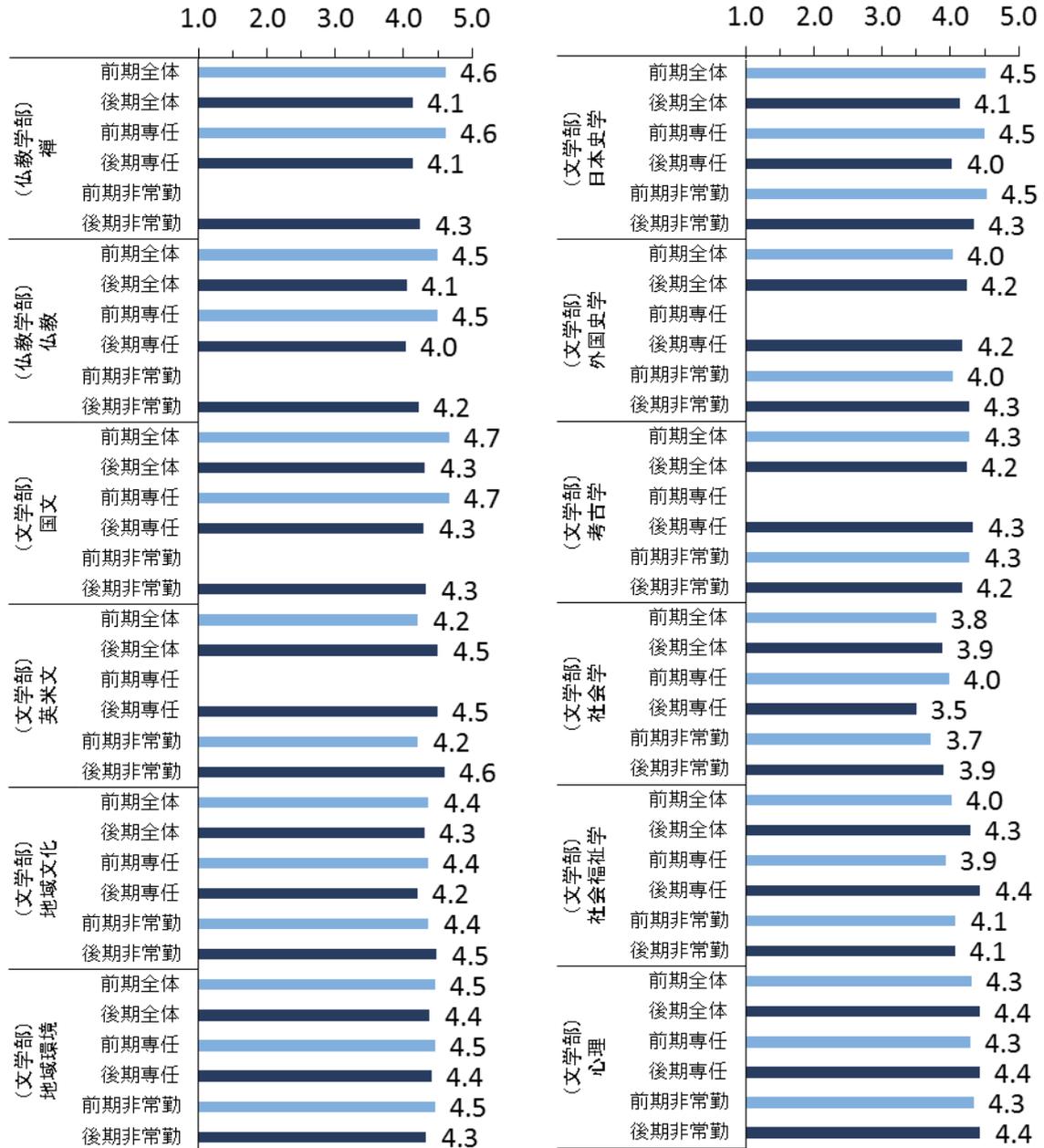
結果にばらつきはあるものの、ほとんどの学部で 4.0 ポイントに近い値となっており、聞き取りやすい傾向にあると思われる。

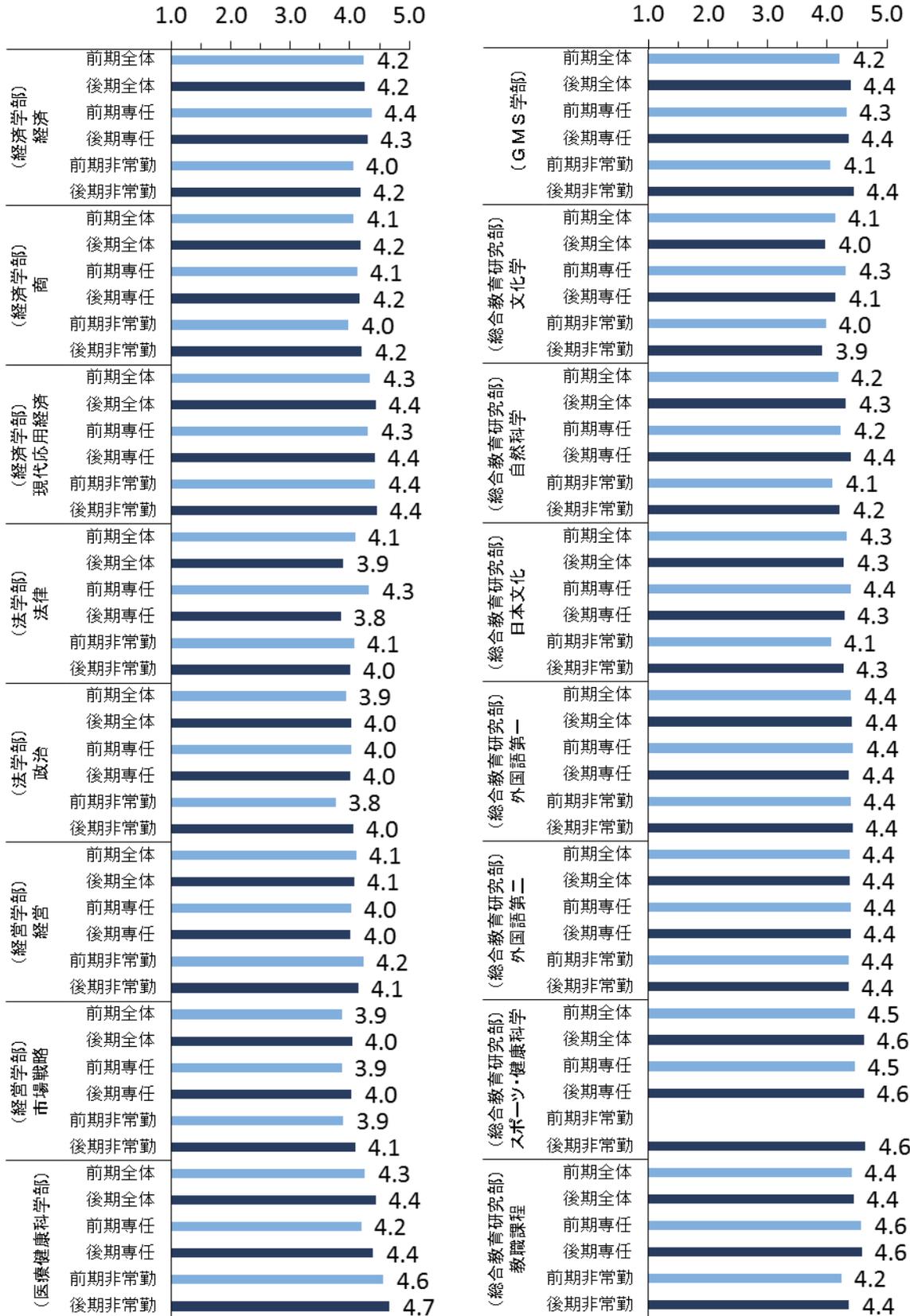




Q 1 3 . 板書や投影されたスクリーンの文字・図表等は見やすいですか。
5 : とてもそう思う 4 : そう思う 3 : どちらとも言えない 2 : あまりそう思わない 1 : 全くそう思わない
0 : 板書・スクリーンへの投影がない授業

3.2～4.8 ポイントに推移しており、結果にばらつきはあるものの、概ね見やすい傾向にあったと思われる。

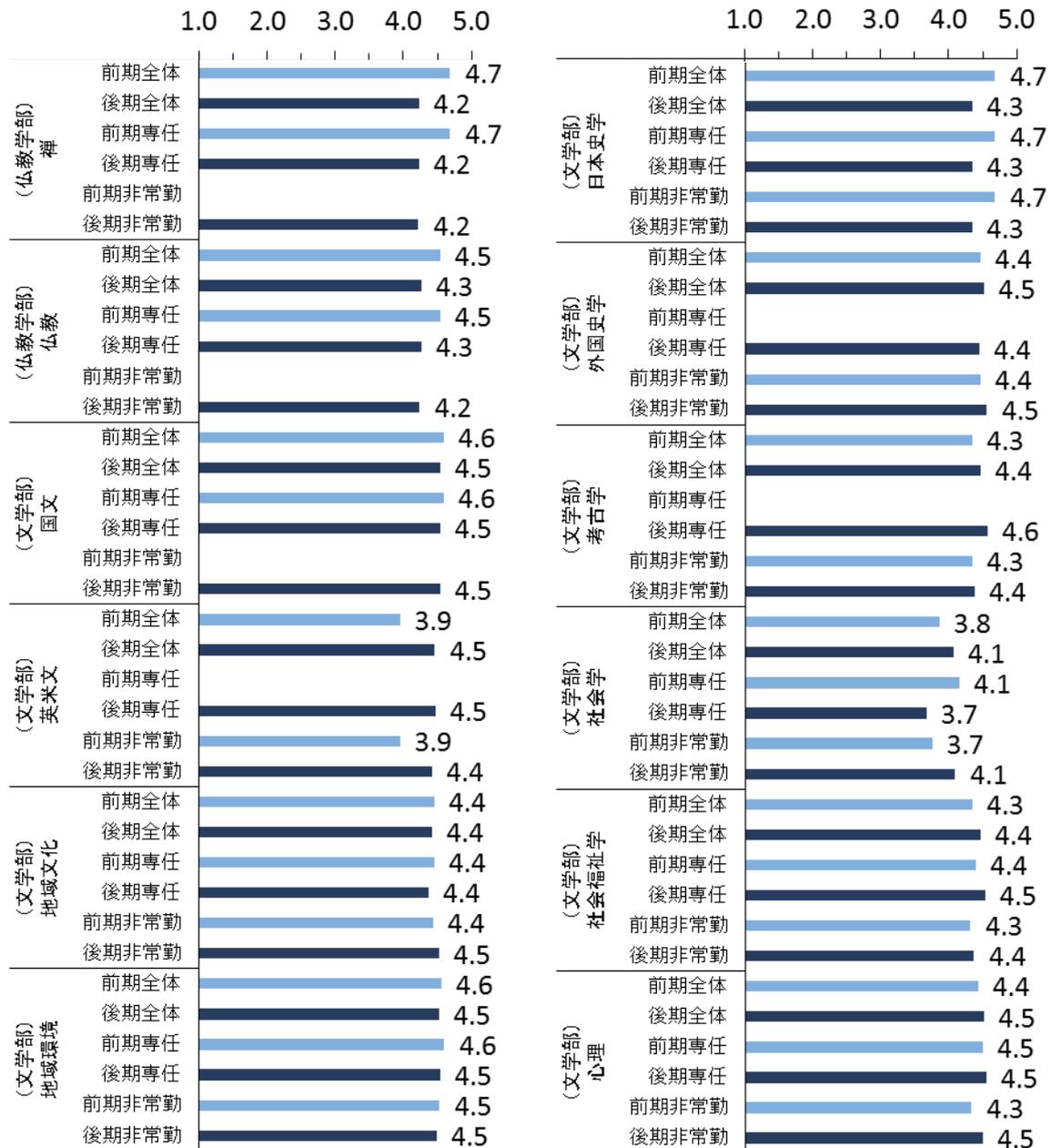


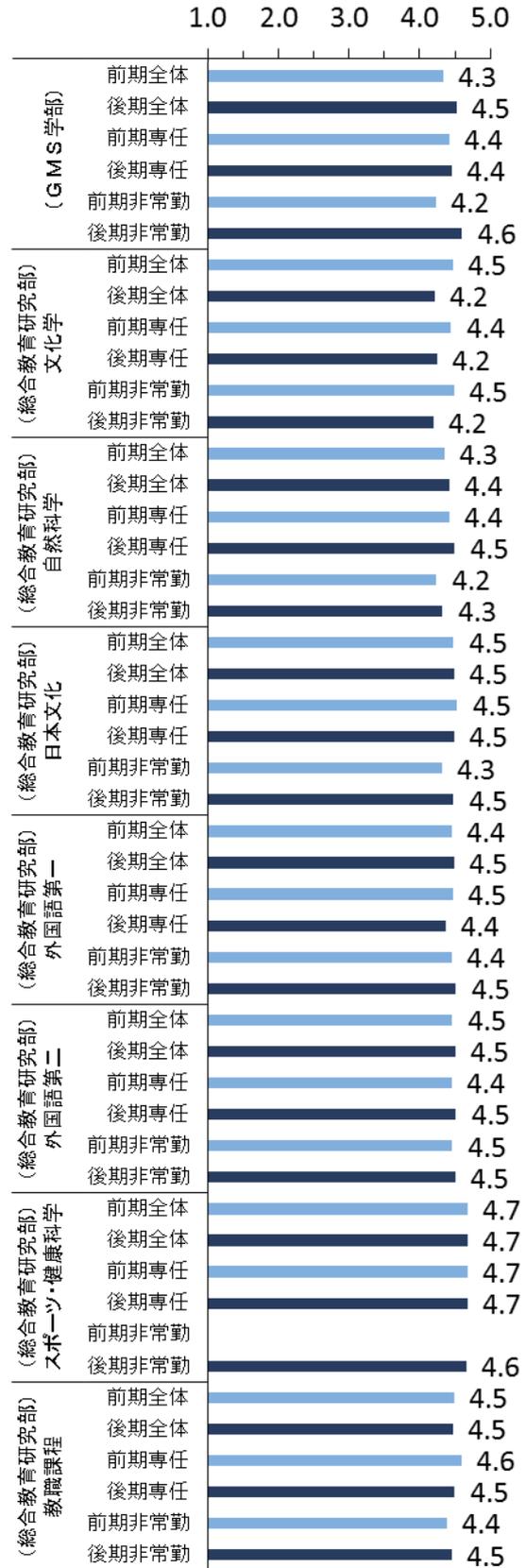
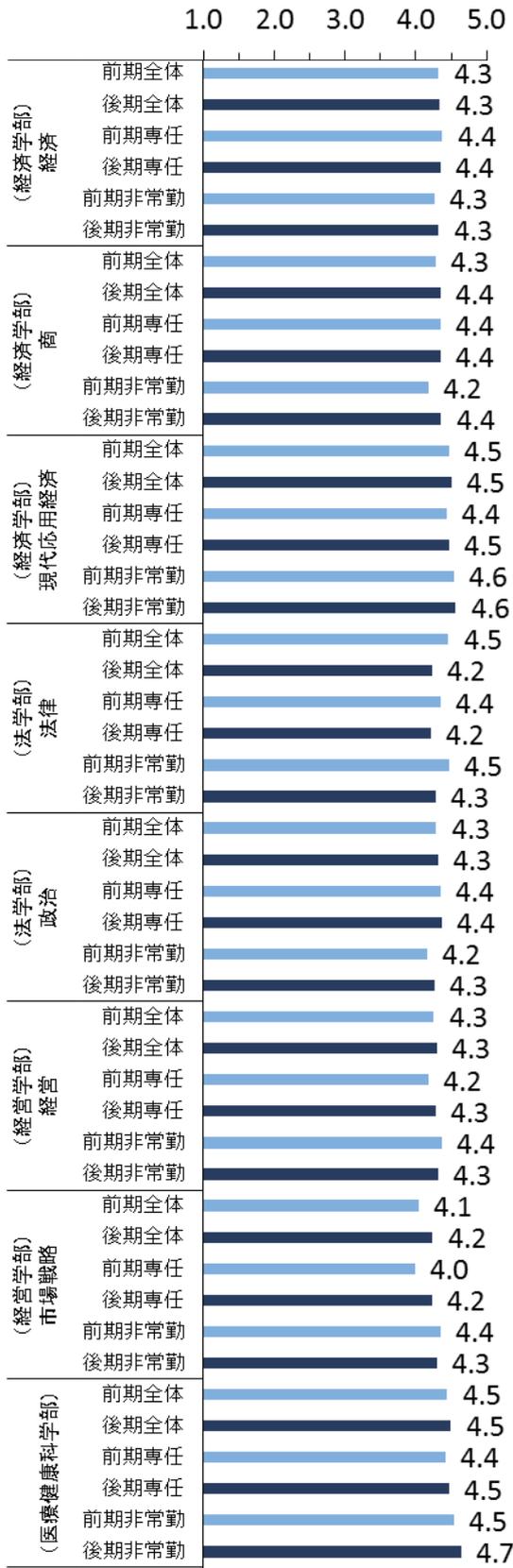


Q 1 4. 教員は授業内容に沿った授業環境・雰囲気づくりに配慮していますか。

5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

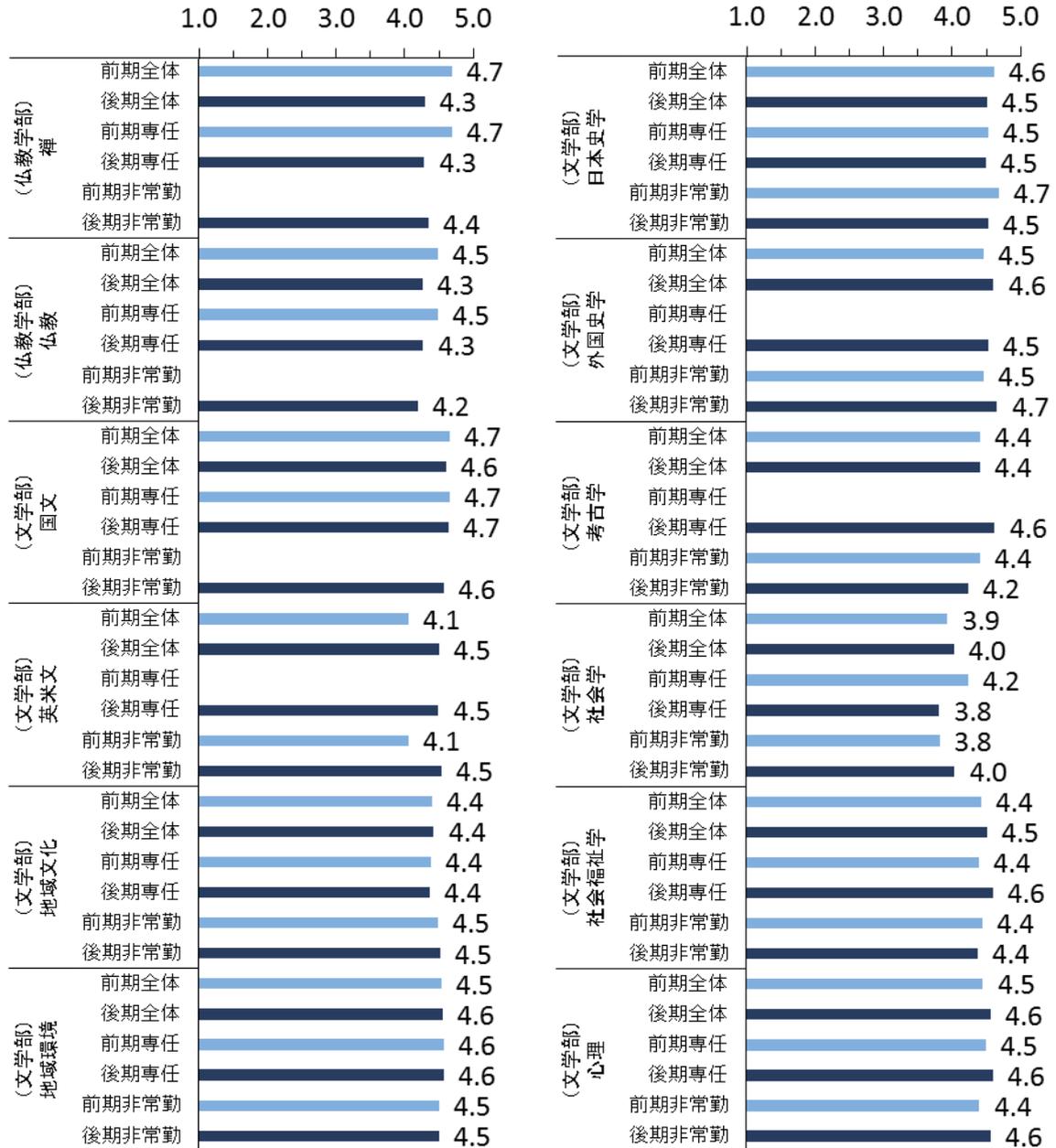
ほとんどの学部において、4.0 ポイントに近い値となっており、取り組みに熱意が感じられた傾向にあることがわかる。

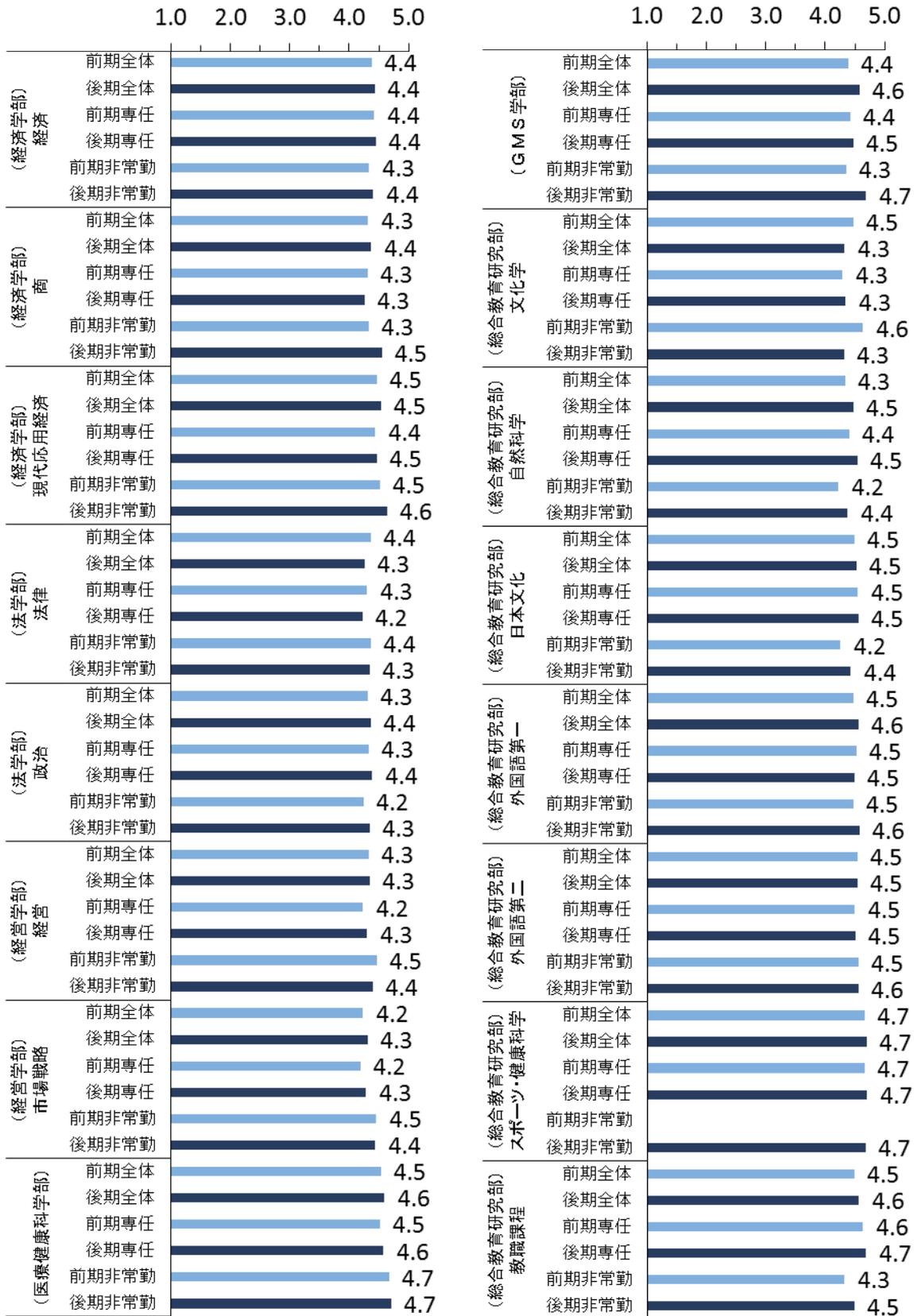




Q 1 5. 教員はあなたの意見や質問に対して適切に対応していますか。  
 5 : とてもそう思う 4 : そう思う 3 : どちらとも言えない 2 : あまりそう思わない 1 : 全くそう思わない  
 0 : あなたが当該授業において意見・質問をしたことがない場合

3.4～4.7 ポイントに推移しており、結果にばらつきはあるものの、適切に対応していた傾向にあることがわかる。

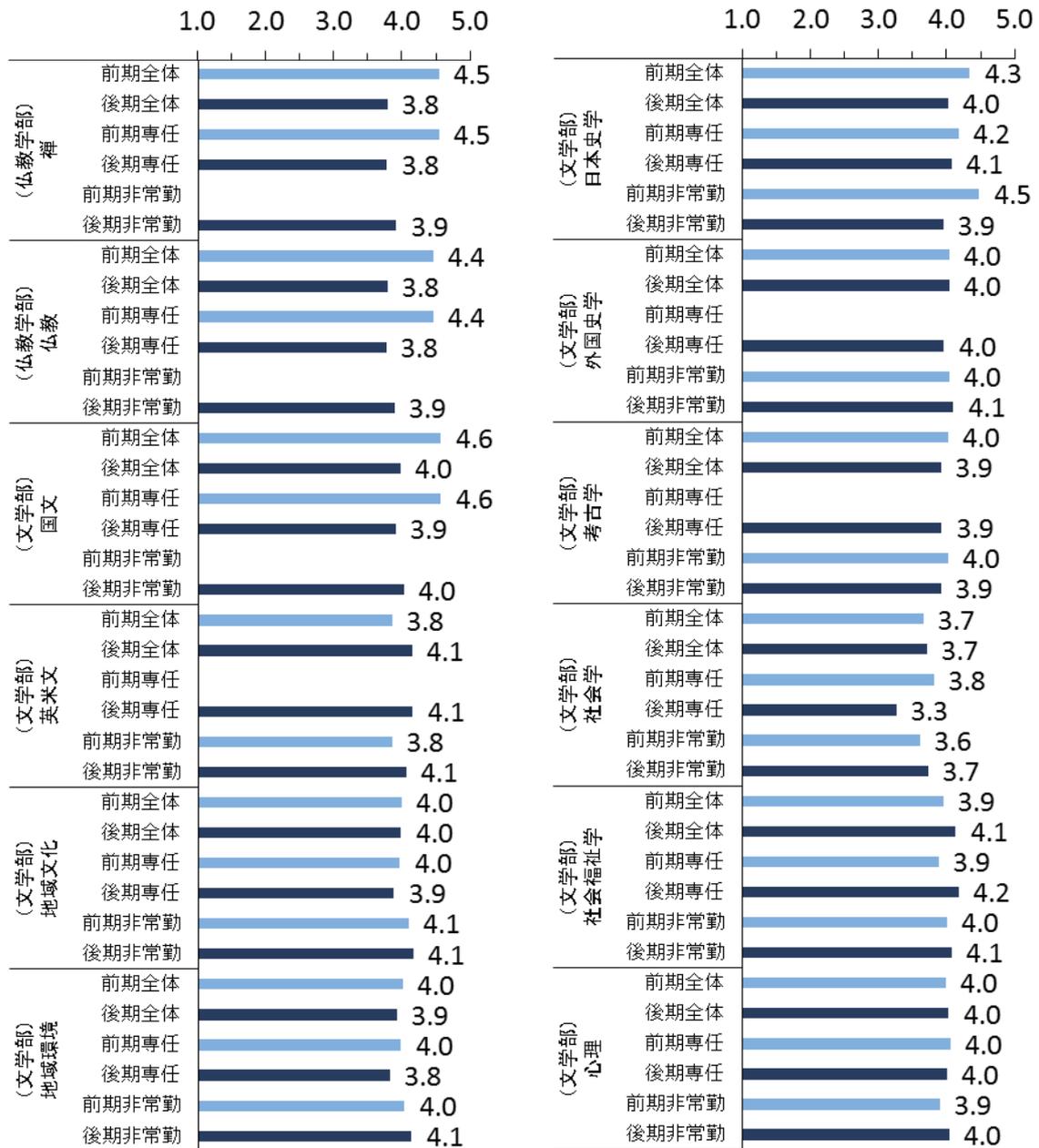


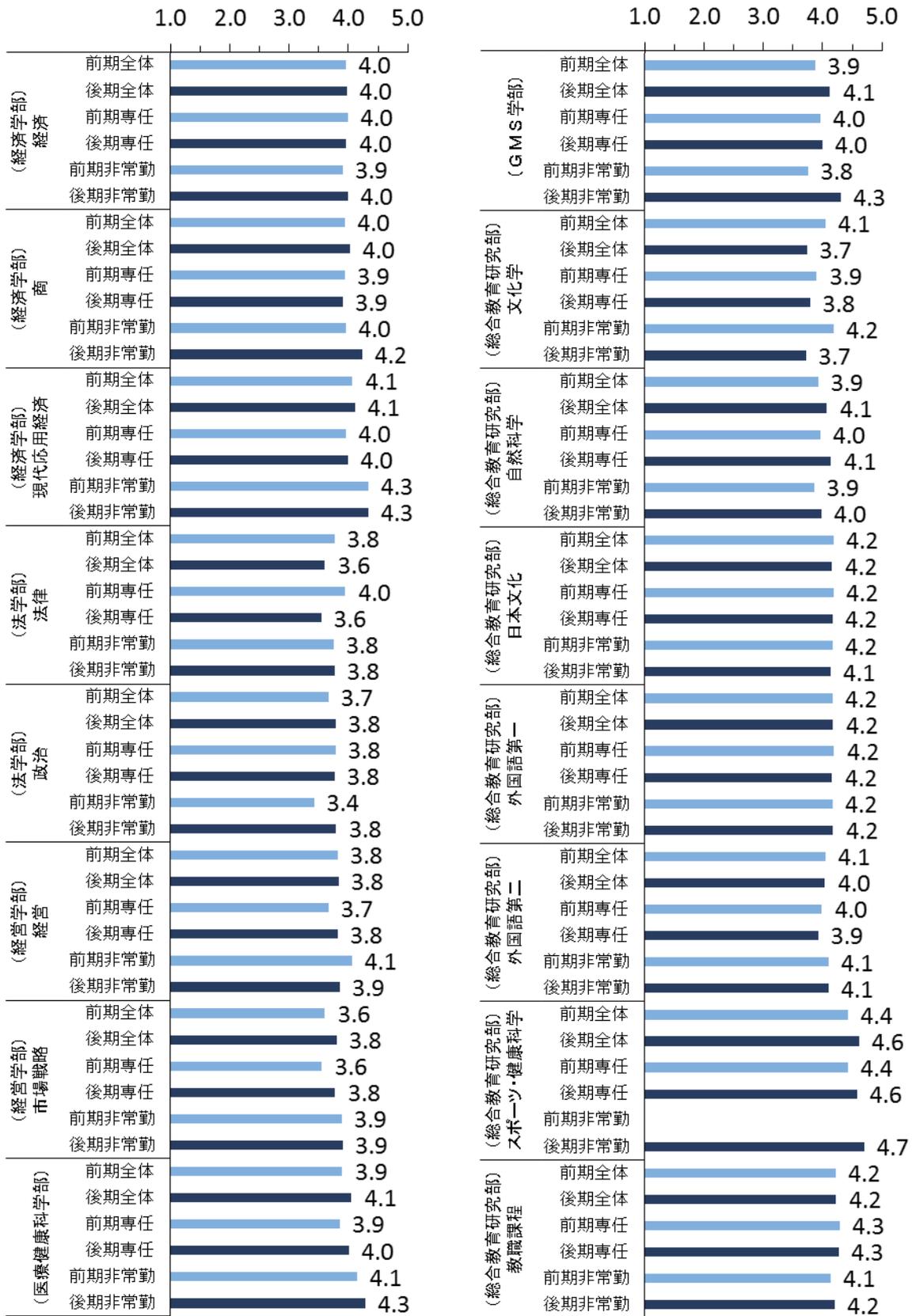


Q 1 6 . この科目の授業内容についてよく理解ができていますか。

5 : とてもそう思う 4 : そう思う 3 : どちらとも言えない 2 : あまりそう思わない 1 : 全くそう思わない

3.2~4.5 ポイントに推移しており、結果にばらつきはあるものの、概ね理解できた傾向にあると思われる。

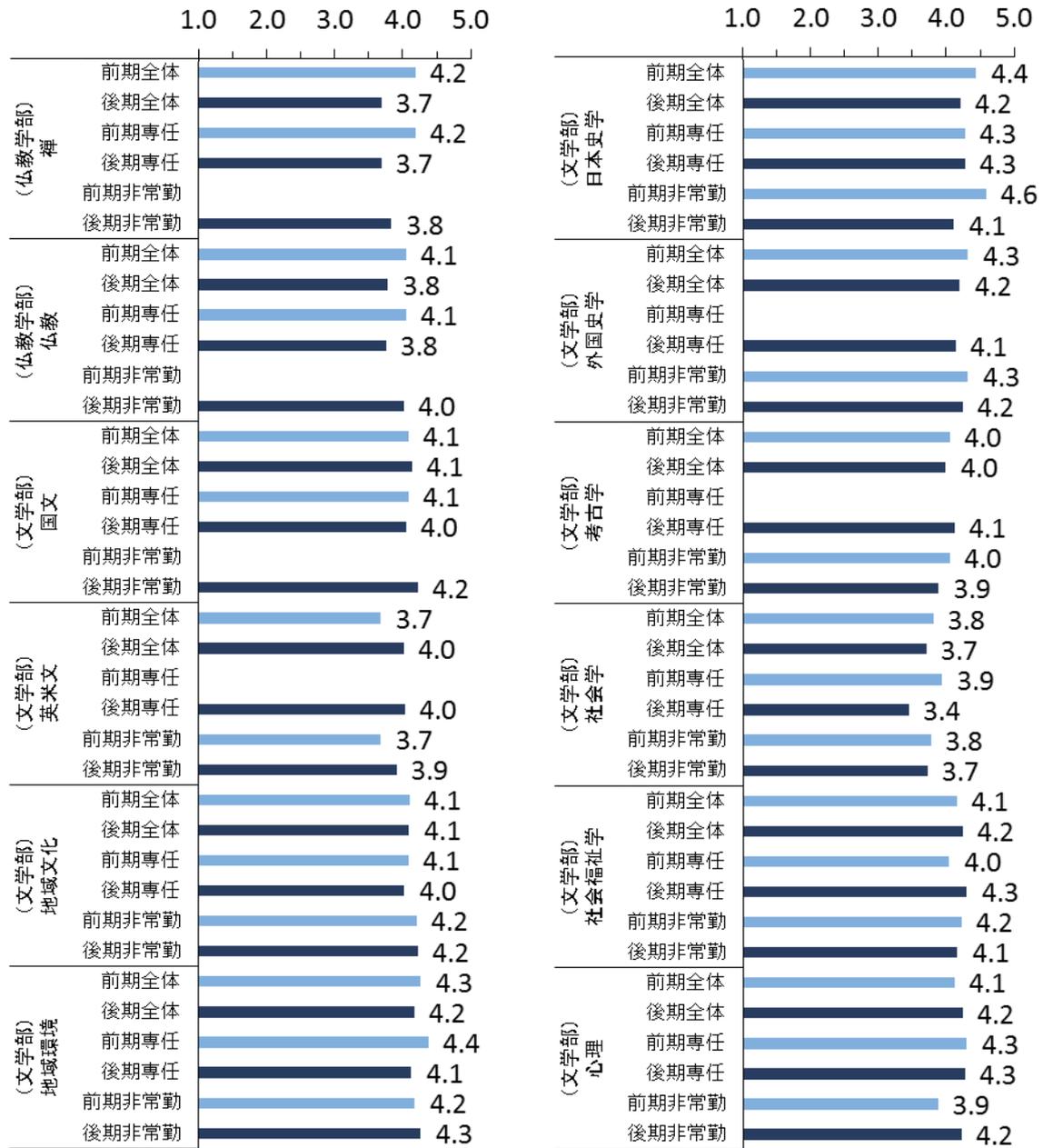


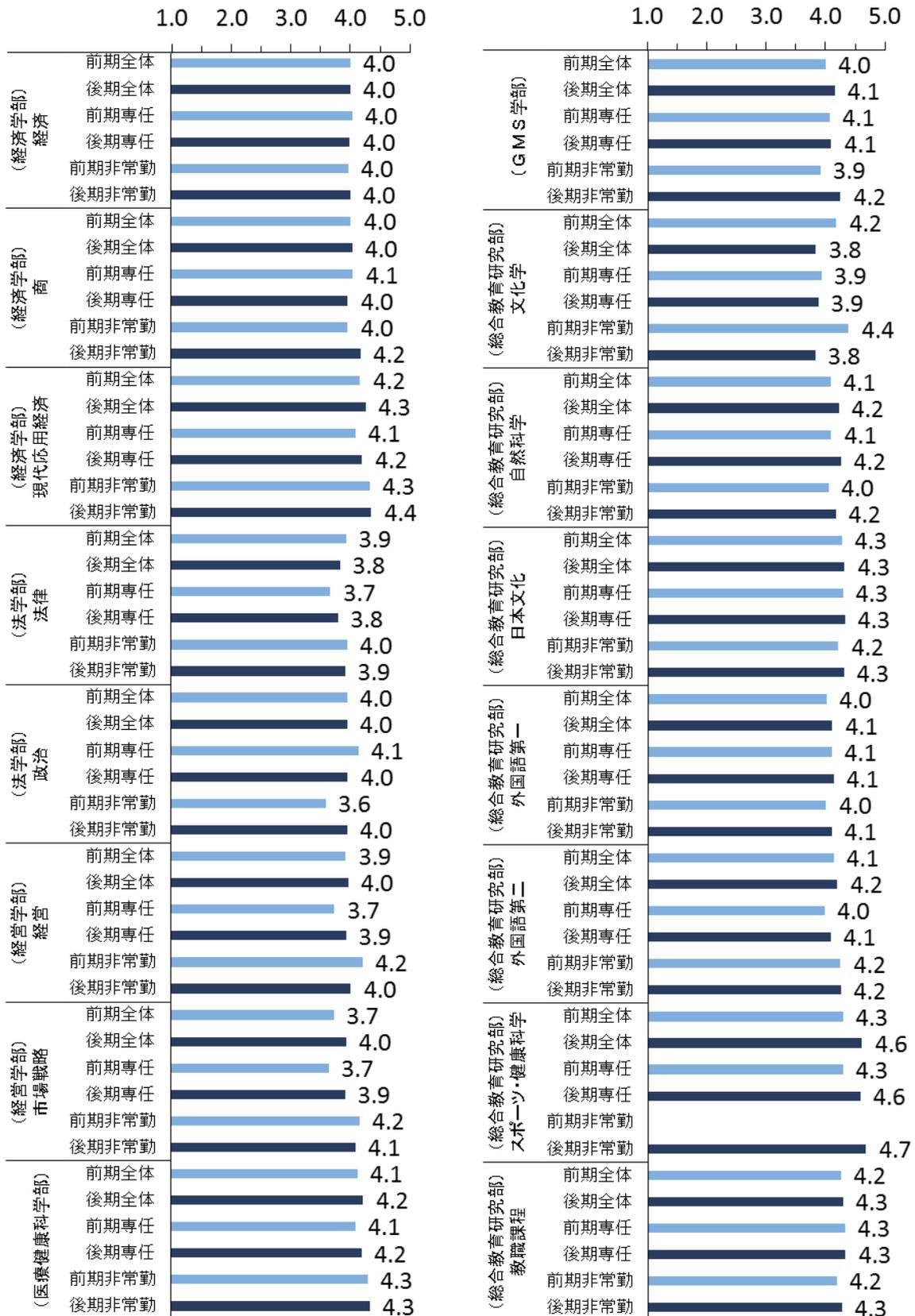


Q 1 7. 授業内容に興味を持っていますか。

5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

3.3~4.7 ポイントに推移しており、結果にばらつきはあるものの、概ね興味を持てた傾向にあると思われる。

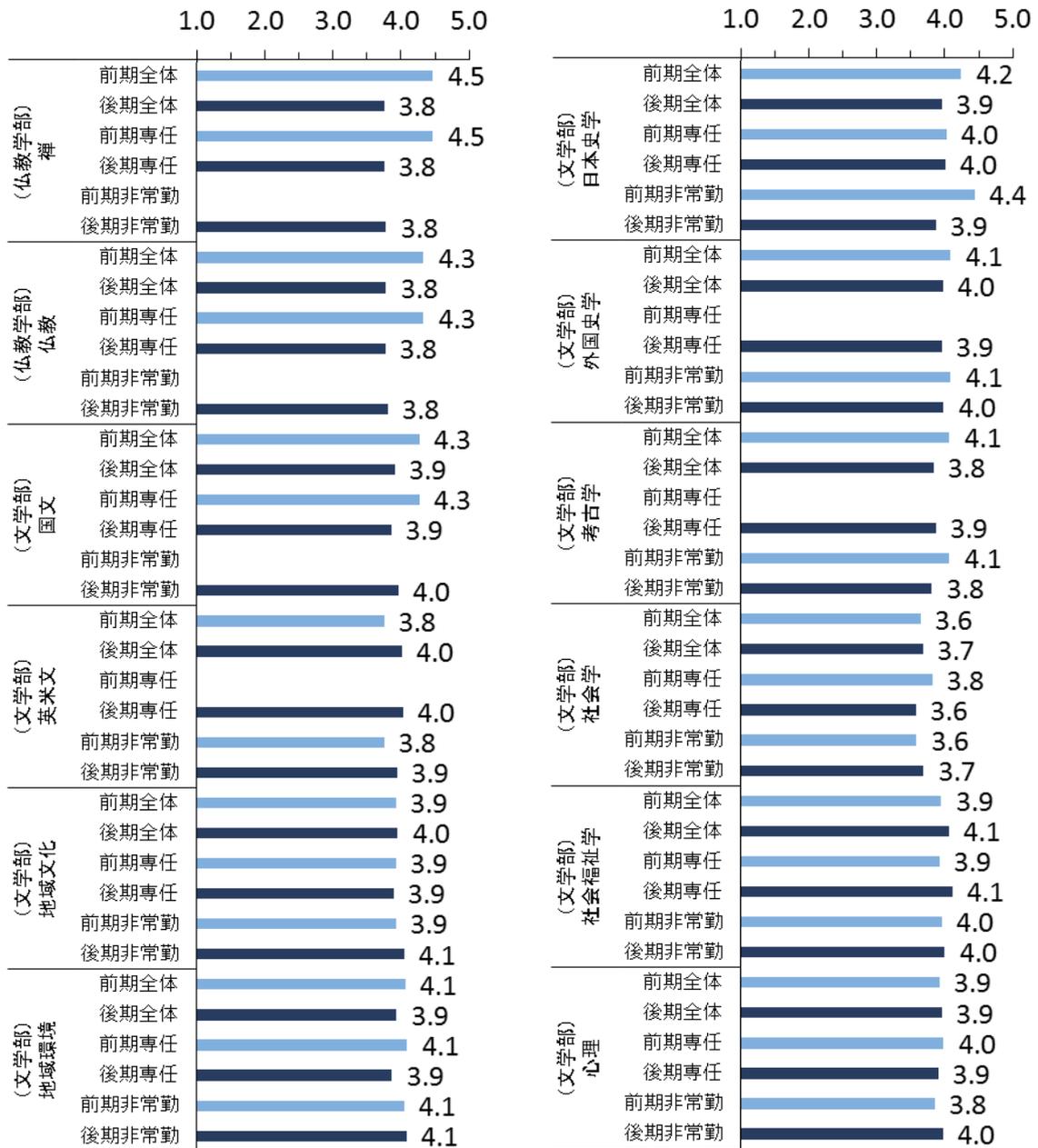


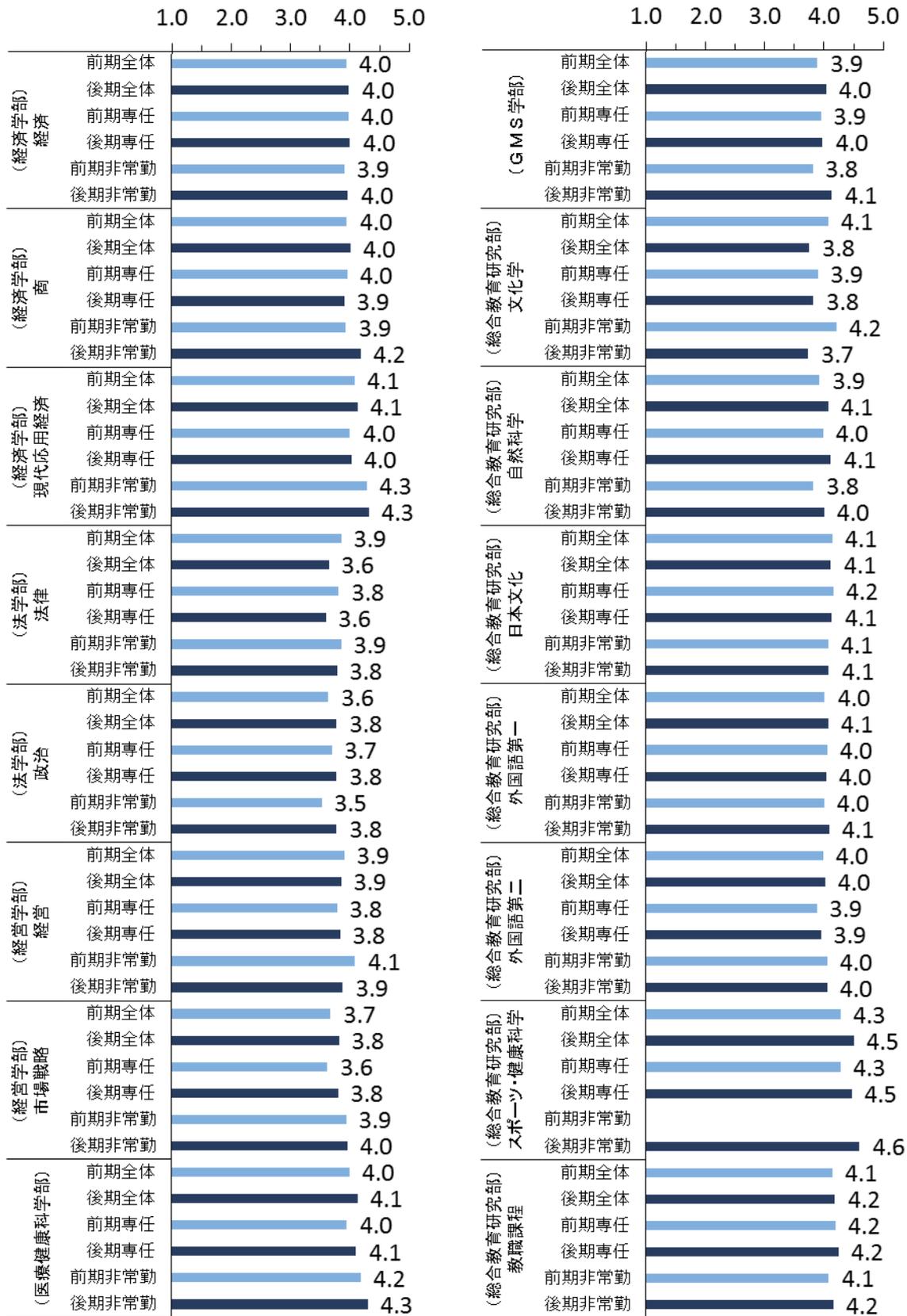


Q 1 8. あなたはこの授業の到達目標を達成できると思いますか。

5: とてもそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

3.2~4.4 ポイントに推移しており、結果にばらつきはあるものの、概ね達成できると思う傾向にあると思われる。





## 総 評

駒澤大学FD推進委員会小委員会  
平成30年度委員長 西村 祐子  
(総合教育研究部 教授)

平成30年度(2018年度)のFD推進委員会は、前年度末に追加したプロジェクトを実施し、新たな展開に結びつけた。年間6回にわたるFD研修会を実施しつつ、平成31年度FD委員会への引継ぎへ向けての事案の整理検討をおこなった。以下はその取り組みの概要である。

1) 6回のFD研修会の中でテーマとしては学生が選ぶベスト・ティーチング賞(以下、BTA)における表彰者の講演のほか、反転授業やICT(MoodleやC-Learningを用いた授業)、大人数で行うアクティブ・ラーニングの実際、YeStudyの機能の中にあるアプリを用いたルーブリックの使用例、多文化共生時代と大学の役割について、などであった。

2) BTAでは、学生FDスタッフとFD委員会・FD事務局の間での相互理解が深まるにつれ、学生FDスタッフが提案し、制作したGoogleフォームなどをもちいたアンケートフォームで学生が投票しやすい環境が整えられた。また、2年間継続して活動したいという学生側からの積極的な要望もあり、経験を積んだ学生リーダーを育てることは望ましいという観点からFD内部規定が改正された。

3) 昨年からはじまったビデオクリップの制作が軌道にのり、ビデオアーカイブにすることで今後当日出席できない教員がオンライン上でFD研修会に参加できるようになった。これにはFD事務局が中心となって研修会などを収録したビデオを編集し、まとめて本学のGoogleドライブ内にビデオアーカイブが設置された。今後このアーカイブの全学での積極的な利用が望まれる。

4) アクティブ・ラーニングに関する教員へのオンライン上でのアンケート回収率が著しく高まった。紙ベースではなくGoogleフォームを利用することで手軽にアンケートに答えられるようになった。アンケートでの回答内容によって今後は研修会への学内講師などの依頼をかけてゆく情報としても活用できるようになった。

5) 学長と学生FDスタッフとの間の意見交換会に際し、FD委員会と事務局からの提案で、あらかじめ学生側が話し合うテーマを発議しそれらを話し合うことになった。大学の施設・設備環境などへの要望や質問もあり、学生からの意見聴取として有意義なディスカッションとなった。

6) 再来年度に向けて時代の流れに即したアクティブ・ラーニングの定義を検討し、試案をつくった。これは次年度のFD委員会にむけた提案となった。

7) これまでFD委員会は学部からの代表のみであったが、あらたに大学院でもFD委員会を発足させることとなった。

8) 本年度から学生による授業アンケートに関して若干の補正を行った。前年度毎回同じ基礎情報を何回も入力することが面倒であるという意見が学生から出されたため、基礎情報入力を最後に入力するようにした。また、20名以下の授業であってもアンケート対象として教員が希望すれば学部を通さずに直接教務に申し込むことができるようになった。この結果であるかどうかは議論の余地があるが、平成29年度に比べて2年生以上での回答率が数パーセント程度上昇した。(平成29年度の1年生の回答率は53.4パーセントから53.2パーセントと0.1パーセント下降したものの、2年生は36.7パーセントから37.7パーセントへ、3年生は25.9パーセントから27.8パーセントへ、4年生は15.7パーセントから16.3パーセントにそれぞれ若干上昇。)

ちなみに前期授業アンケートの対象科目は、前期開講科目は対象科目1,247科目となり、実施期間は6月4日(月)～6月23日(土)であり、後期授業アンケートの対象科目は1,712科目で実施期間は11月5日(月)～11月24日(土)であった。

#### 平成31年度以降にむけた展望と課題：

本学がかかげた施策体系(第二期)でFD推進関連のものをあげてみると、アクティブ・ラーニングをとりいれた授業の取り組みの拡大、ルーブリックの策定、学修ポートフォリオの導入と活用、各種アンケートの公表と活用、FD活動の検証・整理と新たな取り組みの実施、新しい教育手法に対応したよりよい教育・学修環境の検討などである。

このうちFD活動の中でできる範囲で過去2年間では課題をほぼカバーしたといえ、ルーブリックについてもYeStudyをつかって簡便に取り入れられることが本年度のFD研修会の中で示された。また、長期にわたってFD活動をサポートできるビデオアーカイブのスタートや学生FDスタッフとFD事務局のつながりがSNSを用いることによって容易になったことなど、本年度の収穫は多かった。また、ICTを使った教員の授業運営のマネジメントスキルの向上などにむけた研修も数多くおこなわれた点で、今後の大学のFD活動の方向性を描くこともできた。

BTAが実施3年を経過してFD事務局や委員会との連携のノウハウが蓄積されてきたのはよいことであるが、学生の投票率は横ばいであり今後どのようなかたちでこれを上昇させてゆくかを学生FDスタッフらの意見を参考にしながら考えてゆく必要がある。また、FD委員から「どのようによい授業であったかを上手に講評した学生を表彰することで投票のインセンティブを高め、BTAの意義を多角的・多義的にするほうがよいのではないか」という提案があり、次年度FD委員会への引継ぎ事案のひとつとなった。

FD活動がスタートして以降、時代の移り変わりは加速されてきており、現在使われているFD活動やアクティブ・ラーニングの定義のアップデート化も喫緊の課題となっている。駒澤大学の近未来的な全体像にも影響をあたえてゆく事案であり、今後のFD活動におけるアンケート調査の内容など多方面に影響をあたえることでもある。本年度の委員会からの提案事項として次年度に発足するFD委員会への引継ぎ検討課題としておきたい。

7. FD NEWSLETTERの発行

○FD NEWSLETTER 第55号	平成30年 6月30日発行
○FD NEWSLETTER 第56号	平成30年 9月30日発行
○FD NEWSLETTER 第57号	平成30年 12月15日発行
○FD NEWSLETTER 第58号	平成31年 3月15日発行



# FD NEWSLETTER



## CONTENTS

- “未来を創造する学生”を生み出す行学一如 -Intermediator・Facilitator への挑戦-
  - 総合情報センター所長
  - 経営学部教授 青木 茂樹
- 「私の授業」
  - 医療健康科学部 学部長
  - 西尾 誠示
- 平成30年度  
新規採用教員オリエンテーション
- 平成29年度活動報告
- FD推進委員会の今後の活動予定

### “未来を創造する学生”を生み出す行学一如 -Intermediator・Facilitator への挑戦-

総合情報センター所長  
経営学部教授 青木 茂樹

総合情報センターでも学生ファーストを議論しているが、学生を利根的に満足させることではなく、学生が創る未来を見据えた効率かつ効果的な情報環境投資を考えている。

オックスフォード大マイケル・A・オズボーン准教授が「10年後に世の中の半分の仕事なくなる」とか、デューク大キャシー・デイビットソン教授が「小学生の65%がいま無い仕事に就く」と発表し騒がれているが、企業もVUCA(変動性、不確実性、複雑性、曖昧性)の経営環境に大きく経営スタイルを変えている。

テンプル大学の小田部正明教授は「iPhoneには10万点の特許が入っている。特許を塩漬けにしたままの日本企業が多い中、米国では製品設計を先に決めて、特許は世界から買い集め、いち早く製品化している」と論じた。

社会課題を組織横断的に洗い出し、必要な資源を周囲からかき集めなければ、複合的な問題解決への製品やサービスが構築できない。これがいま言われる“オープン・イノベーション”の本質だ。

時価評価額が2兆円となり、ソフトバンクも4800億円を投資したコ・ワーキング・スペース“WeWork”も日本上陸となったが、ここではベンチャーマインドをもった起業家、技術者、デザイナー、投資家、弁理士や司法書士らが入り出て、自由にネットワークを組みスタートアップ企業を産み出している。

今後、教育スタイルも変わってくるだろう。体系化された専門知識を教えるだけでなく、応用として、異分野のActive Learners(参加者)がインターネットから最新の理論やデータを自由に引っ張り出し、それらを組み合わせて社会課題を解決していくダイナミックなライブとなる。この行学一如に学生のみならず市民や行政、企業を巻き込んでいく。「世田谷プラットフォーム」にはこのための土壌づくりを期待したい。この時の教師は知識人というより、Intermediator(知識媒介人)やFacilitatorというべきだろう。

いま求められているコミュニケーション能力とは、こうした異分野の人々を束ねる力だし、これこそがアクティブ・ラーニングが注目される社会的背景なのである。

今春、種月館4Fに情報グループ学習室を設置したが、英名をProject Area for Active Organization、略称を“PAO”とした。この運営改善に学生サポーター“PAOPAL”を募集し、このスペースの活用方法や必要なサービスについて、オープン・イノベーションを早速始めようとしている。

## 連載企画：よりよい教育のために

## 「私の授業」

医療健康科学部 学部長

西尾 誠示

私の講義は医療画像技術を中心にしているので、教科書に加えてスライド(Ppt)を多く使用している。就任当初はOHPと板書を併用していたが、時間内で済ますには量が多過ぎ、板書は早々にあきらめた。

講義の準備として、まずストーリーを考えながら、Pptに画像をはめ込んで解説を加えて行く。その内容は使用する教科書に沿って、講義の目的から始まり、診療画像の意義、実際の画像技術、画像評価等で構成される。この作業を行なうとスライド作成と同時に講義の構成がしっかり頭に刻まれる。この分野は絶えず新しい技術が開発されるので、毎年同じ工程を繰り返している。更に、過去の授業アンケートでプリント資料を求められたので、Pptの重要部分をプリントにして配布している。

こうして正にPptを自画自賛して講義に向かうが、熱意を込めたスライドやプリントを必ずしも学生全員が評価してくれる訳ではない。大半の学生が画面を注視してくれるが、視線が宙に浮いている学生も少なくない。学生全員の気持ちを集中させられないのは、説明の仕方や口調などにも問題があるとも認識している。また、教材が十分な量であるために学生がそれで安心してしまい、ノートを取る学生は非常に少ない。スライドも多すぎるかも知れないが、国家試験の出題範囲と自身の教育ポリシーを考えると、減らすわけにはいかない。

スライドを用いた一方通行の授業の課題は講義内容をその場で理解できても、漠然とした印象しか残らないので、十分に記憶されないことである。対策として、学生が集中するよう、スライドに面白さを加えたり、重要部分について形を変えて投影するなど工夫すると、学生がプリントにメモするなど反応する。更に理解度を上げるため、画像解剖などを再度スクリーンに投影しクイズ形式で質問をするのもいい。また、学生の集中力や疲労度を察しながら、授業半ばで医療施設や関連学会の話をしなが

来の進路について意識を高めるよう工夫している。以前には履修者に交代でプレゼンさせる授業スタイルも試みたが、時間がかかり過ぎレベルが低下したため、結局止めてしまった。

全く同じ職業を目指す学部でさえ多様な学生が多い。学生を受け入れた以上、最低でも国家試験に合格させるために、授業の内容だけでなく、学習意欲を高める技法も工夫しなければならない。将来の目標に向かって如何にモチベーションをあげさせるか、試行錯誤が続く。

## 平成 30 年度新規採用教員オリエンテーション

本年度も4月2日に、今年度より新たにご出講いただく先生方を対象とした、オリエンテーションを開催し、専任教員21名、非常勤教員79名の計100名の先生方にご出席いただきました。

オリエンテーション第一部では長谷部八朗学長より本学の建学の理念について、中野達哉教務部長より本学の教育方針、また本学のFD活動について説明をいただきました。事務局からは、総合情報センター(「KOMAnet(コマネット)」、「ユーザーID」、「YeStudy(e-learning)等の利用について」)、図書館(「図書館の利用案内について」)、教務部(「授業運営に係る説明」)が説明を行い、第一部終了後、希望された先生方を講師控室およびAV教場にご案内しました。

第二部では、専任教員を対象に教務部から公的研究費、教員教育研究費等に関する説明を行いました。

新規採用教員オリエンテーションについて、ご意見、ご提案等ございましたら事務局までお申し出ください。

## 1. 開催日時

平成 30 年 4 月 2 日 (月) 14 : 40 ~ 17 : 00

## 2. 出席者数

100 名 (案内状発送 161 名)

## 3. オリエンテーション次第

- ・学長挨拶
- ・教務部長挨拶

・大学案内（教務部・総合情報センター・図書館）終了後、希望者を講師控室、AV教場に案内した。



（平成30年度新規採用教員オリエンテーションの様子）

## 平成29年度FD推進委員会及び小委員会の活動報告

平成29年

4月

- ・「新規採用教員オリエンテーション」を開催
- ・第1回FD推進委員会及び小委員会を開催

6月

- ・第2回FD推進委員会小委員会を開催
- ・2017年度「学生による授業アンケート」（前期）の実施
- ・FD NEWSLETTER 第51号を発行

7月

- ・第3回FD推進委員会小委員会を開催

9月

- ・平成29年度第1回FD研修会を実施
- ・FD NEWSLETTER 第52号を発行

10月

- ・第4回FD推進委員会小委員会を開催

11月

- ・第2回FD推進委員会を開催
- ・2017年度「学生による授業アンケート」（後期）の実施

12月

- ・平成29年度公開授業の実施（12月7日まで）
- ・第3回FD推進委員会を開催

- ・第5回FD推進委員会小委員会を開催

- ・FD NEWSLETTER 第53号発行

平成30年

1月

- ・第6回FD推進委員会小委員会を開催

2月

- ・平成29年度第2回FD研修会を実施
- ・第7回FD推進委員会小委員会を開催

3月

- ・第4回FD推進委員会を開催
- ・FD NEWSLETTER 第54号を発行
- ・平成29年度『FD活動報告書』を発行

## FD推進委員会の今後の活動予定

- 平成30年度第3回FD推進委員会小委員会  
平成30年7月23日（月）16:20～

- 平成30年度第3回FD研修会  
平成30年7月下旬

テーマ：大人数科目におけるアクティブ・ラーニングの事例紹介

※FD活動についてご意見がありましたら、各学部等の小委員会委員までお申し出ください。



（本学3号館（種月館）4階、アクティブ・ラーニング教場「PAO」プレゼンテーションエリア）

～2018年度「学生による授業アンケート」  
(後期) 実施のお知らせ～

実施期間：平成30年11月5日(月)～24日(土)

対象科目：全科目対象(集中講義科目、演習科目、  
受講生が20名未満の科目は除く)

※WEBによるアンケートを実施しています

(PC、スマートフォン、携帯電話、タブレット等  
を使用して回答されます)。

2018年度「学生による授業アンケート」(前期)を、  
平成30年6月4日(月)～23日(土)の期間に実施  
いたしました。

今年度より、学生は自分が回答した科目のアンケー  
ト集計結果を、6月25日(月)～7月8日(日)の間、  
WEB上で確認することができるようになりました。

また、教員によるフィードバックも、WEB上で行  
うことができます。



### 編集後記

ここに、今年度最初の『FD NEWSLETTER』55号を  
お届け致します。

総合情報センター所長の青木先生に巻頭言を賜り  
ました。組織横断的な知識の活用が求められるなか  
で、教育活動も大きな変容が迫られています。そこ  
で、情報システムの活用が不可欠であって、多様な  
知識、能力を持つ参加者どうしのアクティブラー  
ニングによって、創発的な集合知を見出すためのアイ  
デアを提示されています。

今号では昨年度のFD活動報告を掲載致しました

が、これまでの検討をふまえ、今年度は、学修成果  
の可視化が求められるなかで、有用なツールとなり  
うる学習ループリックの使用法について、本学のe  
ラーニングシステムの一つであるYeStudyを活用し  
たFD研修会を開催致しました。FD活動の主管部  
局である教育支援係と総合情報センターとの間で蓄  
積されたノウハウを交換したコラボレーション企画  
となり、従来とは趣きの異なった研修会となりまし  
た。共同企画にご快諾いただいた青木所長をはじめ  
として、実施にあたりご協力、ご参加いただいた先  
生方、両部署の関係者の皆様方に感謝申し上げます。

また、連載企画では医療健康科学部の西尾先生に  
御寄稿を賜りました。授業にあたり、教員の意図を  
多様な価値観を持つ学生たちに伝えることの難しさ、  
学生に対する学びの動機づけの難しさを指摘されて  
います。教える側と学ぶ側との双方向のやり取りが  
授業運営に必要であることを痛感させられました。  
ご協力ありがとうございました。

今年度も様々なFD活動を実施して参りますので、  
ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願ひ申し上  
げます。

(中川淳平・馬込大貴)

【タイトル横の写真は、  
平成30年4月に完成した本学3号館4階アクティブ・ラ  
ーニング教場：「PAO」ラウンドテーブルエリア】

### FD NEWSLETTER Jun. 2018 第 55 号

発行日：2018年6月30日

発行者：駒澤大学FD推進委員会

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

TEL 03-3418-9444 Fax 03-3418-9114

(事務局：教務部)

# FD NEWSLETTER



## CONTENTS

- 大学体育における学びと  
教育環境の整備  
コミュニティ・ケアセンター所長  
総合教育研究部教授 竹田 幸夫
- 2018 年度「学生による授業アンケート」  
(前期) 集計結果
- 「駒澤大学で自然科学を教える」  
総合教育研究部教授  
篠原 正雄
- 平成 30 年度第 1~3 回 FD 研修会報告
  - ICT を利用した「ループリック」  
作成ワークショップ
  - 大人数科目におけるアクティブ・  
ラーニングの事例紹介
- FD 推進委員会今後の活動予定
- 2018 年度「公開授業」実施のお知らせ

## 大学体育における学びと教育環境の整備

コミュニティ・ケアセンター所長  
総合教育研究部教授 竹田 幸夫

「先生！逆上がりができました！」こう言って、ある女子学生が小躍りして喜んだ。これは、私が担当する体育実技科目「健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）」での一場面である。その学生に聞くと、逆上がりは小学生のときになかなか習得できずに諦めてしまったという。大学生になって初めてできて、友人とともに感激して涙していた。きっと、友人が授けた逆上がりのコツやカンがその学生の「からだ」に響き、学びが促進されたのだろう。まさに、アクティブ・ラーニングの成果である。

大学の体育実技の目的としてまず考えられるのは、健康の増進・体力やコミュニケーション能力の向上であろう。別の視点からみるとスポーツの実践場面は、自らのからだを動かして動き方を身につける「身体知」を学ぶ場として捉えられる。近年中学校や高校における保健体育においても、運動の実施者のコツやカンをもとにした身体の知恵が注目されてきている。主体的に、そして深い学びが求められている大学の体育においても「身体知」は重要な要素である。

さて、本年度、種月館開館に合わせてカリキュラム改革が行われた。これに伴って、本学の体育を担当する私たちには頭の痛い課題が突き付けられた。「仏教と人間」と「英語 IB」が本校開講となり、玉川で開講される授業が保健体育科目だけになったことである。幸い本校一玉川間シャトルバスの運行やバス運賃の一部補助により学生への配慮がなされたが、この恩恵を受けることができない学生も少なくない。また、3 年前には種月館を建設するに当たり 6 号館（体育館）が解体された。これに対しては第 2 研究館 101 教場という代替教場が用意されたものの、そこで実施できるのは軽スポーツに限られる。

スポーツ・健康科学部門では、授業改善と質の向上を目的に体育実技科目を受講した学生を対象にした独自のアンケート調査を毎年行っている。その結果によれば、「思いきり体を動かす喜びを感じたか」や「健康・運動・生涯スポーツの必要性を感じたか」といった健康・スポーツに関する設問に対して、受講生の約 80%が肯定的な回答をしている（『総合教育研究部紀要』第 11 号）。このような学生と日々接している私たちとしては、玉川キャンパスとともに本校キャンパスの再開発の中で、学生の生き生きとした学びが促される教育環境の整備がなされることを望んでやまない。

## 2018 年度「学生による授業アンケート」(前期) の集計結果について

2018 年度「学生による授業アンケート」(前期)を以下のとおり実施した。

実施期間 平成 30 年 6 月 4 日 (月) ~ 6 月 23 日 (土)  
対象科目数 1,247 科目  
対象者数 79,031 人 (延べ人数)  
回答率 50.5%

### 【質問項目】

Q1. どのような理由でこの授業を履修しましたか。(複数選択可)

- 7: シラバスを見て授業内容に興味を持った
- 6: シラバス以外の情報(友人等)により、授業内容に興味を持った
- 5: 履修モデル(コース制等)を見て決めた
- 4: 資格の取得
- 3: 必修科目または選択科目だったから
- 2: 時間割(曜日時限)を考慮して決めた
- 1: その他

Q2. この授業の予習に当てている時間は 1 週間に何時間くらいですか。

Q3. この授業の復習に当てている時間は 1 週間に何時間くらいですか。

(Q2・3 選択肢)

- 5: 3 時間以上
- 4: 2 時間以上~3 時間未満
- 3: 1 時間以上~2 時間未満
- 2: 1 時間未満
- 1: 全くしていない

Q4. あなたは授業に熱心に取り組んでいますか。

(Q4 の選択肢は Q18 の後に記載)

Q5. この授業を何回欠席しましたか。

- 5: 0 回
- 4: 1~2 回
- 3: 3~4 回
- 2: 5~6 回
- 1: 7 回以上

Q6. 授業はほぼ定刻通りに実施されていますか。

Q7. 通常通り、授業回数は確保されていますか。(補講・

YeStudy 等による課題授業含む)

Q8. 授業にはおおむねシラバスの内容が反映されていますか。

Q9. この授業の進み方はあなたにとって適切ですか。

(Q6~9 の選択肢は Q18 の後に記載)

Q10. 教科書・配布資料等は授業内容を理解する上で効果的ですか。

5: そう思う

4: ややそう思う

3: どちらとも言えない

2: ややそう思わない

1: そう思わない

0: 教科書・配布資料等がない授業

Q11. 担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられますか。

Q12. 教員の話し方・ボリュームは聞き取りやすいですか。

(Q11・12 の選択肢は Q18 の後に記載)

Q13. 板書や投影されたスクリーンの文字・図表等は見やすいですか。

5: そう思う

4: ややそう思う

3: どちらとも言えない

2: ややそう思わない

1: そう思わない

0: 板書・スクリーンの投影がない授業

Q14. 教員は授業内容に沿った授業環境・雰囲気づくりに配慮していますか。

(Q14 の選択肢は Q21 の後に記載)

Q15. 教員はあなたの意見や質問に対して適切に対応していますか。

5: そう思う

4: ややそう思う

3: どちらとも言えない

2: ややそう思わない

1: そう思わない

0: あなたが当該授業において意見・質問をしたことがない場合

Q16. この科目の授業内容についてよく理解できていますか。

Q17. 授業内容に興味を持っていますか。

Q18. あなたはこの授業の到達目標を達成できると思いますか。

(Q4・6~9・11・12・14・16~18 選択肢)

5: そう思う

4: ややそう思う

3: どちらとも言えない  
 2: ややそう思わない  
 1: そう思わない  
 Q19. 教員自由設定質問 (選択)  
 Q20. 教員自由設定設問 (記述)  
 Q21. この授業のよかった点を具体的に記入してください。  
 Q22. この授業の改善してほしい点を具体的に記入してください。  
 Q23. 所属学部学科等  
 20: 仏教 19: 国文 18: 英米文 17: 地理 16: 日本史学  
 15: 外国史学 14: 考古学 13: 社会学 12: 社会福祉学  
 11: 心理 10: 経済 9: 商 8: 現代応用経済

7: 法律A 6: 法律B 5: 政治 4: 経営 3: 市場戦略  
 2: 診療放射線技術科 1: グローバル・メディア  
 Q24. 学年  
 5: 4年 4: 3年 3: 2年 2: 1年 1: その他  
 Q25. どのような入学試験を受け、あなたは本学に入学しましたか。  
 11: 一般入試 10: 大学入試センター試験利用入試  
 9: 一般推薦入試・自己推薦入試  
 8: スポーツ推薦入試 7: 指定校推薦 6: 付属校推薦入試  
 5: 留学生特別入試 4: 帰国生特別入試 3: 編入学試験  
 2: その他の試験 1: 回答しない

**【学年別平均値】**

表1はアンケート質問項目 (Q2~18) の学年別平均値を示したものである。

表1 学年別の平均値

学年別	1年	2年	3年	4年	その他
Q2 平均値	1.6	1.6	1.5	1.7	1.7
Q3 平均値	1.7	1.7	1.6	1.8	1.7
Q4 平均値	3.9	3.9	3.8	4.0	3.3
Q5 平均値	4.6	4.5	4.5	4.1	4.4
Q6 平均値	4.6	4.6	4.6	4.7	4.4
Q7 平均値	4.7	4.7	4.7	4.8	4.3
Q8 平均値	4.6	4.6	4.6	4.7	4.2
Q9 平均値	4.2	4.2	4.3	4.4	3.7
Q10 平均値	4.3	4.3	4.3	4.4	3.7
Q11 平均値	4.5	4.5	4.5	4.6	4.0
Q12 平均値	4.5	4.4	4.5	4.5	4.0
Q13 平均値	4.3	4.2	4.2	4.3	3.7
Q14 平均値	4.4	4.4	4.4	4.5	3.8
Q15 平均値	4.4	4.4	4.4	4.5	3.9
Q16 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	3.5
Q17 平均値	4.0	4.0	4.1	4.3	3.6
Q18 平均値	4.0	3.9	4.0	4.1	3.7
有効回答数	16,315	10,878	4,975	1,749	62

## 【入試形態との関連】

2010年度より、入試形態と学生の授業への取り組み（出席状況、予習・復習時間など）との関連を把握するために入学試験タイプの質問を追加している（Q25）。なお回答は任意とした（回答率98.3%）。（表2 入学形態別の項目別平均値）

表2 入学形態別の項目別平均値（Q2～18）

入試形態別	一般入試	大学入試センター試験 利用入試	一般推薦入試・ 自己推薦入試	スポーツ推薦入試	指定校推薦	附属校推薦入試	留学生特別入試	帰国生特別入試	編入学試験	その他	回答しない
Q2 平均値	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	2.3	1.8	1.7	1.5	1.7
Q3 平均値	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.5	2.4	1.9	1.9	1.6	1.8
Q4 平均値	3.9	3.9	4.0	3.9	4.0	3.8	4.4	3.7	3.8	3.9	3.8
Q5 平均値	4.5	4.5	4.6	4.4	4.7	4.5	4.6	4.3	4.3	4.7	4.6
Q6 平均値	4.6	4.6	4.7	4.6	4.6	4.7	4.8	4.4	4.7	4.7	4.5
Q7 平均値	4.7	4.7	4.8	4.6	4.7	4.7	4.8	4.4	4.8	4.7	4.7
Q8 平均値	4.6	4.6	4.6	4.4	4.6	4.5	4.8	4.2	4.6	4.6	4.4
Q9 平均値	4.3	4.2	4.2	4.1	4.2	4.2	4.6	4.1	4.3	4.1	4.0
Q10 平均値	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.6	4.2	4.3	4.3	4.1
Q11 平均値	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	4.7	4.4	4.5	4.5	4.3
Q12 平均値	4.5	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.7	4.4	4.4	4.4	4.2
Q13 平均値	4.3	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2	4.7	4.1	4.2	4.2	4.1
Q14 平均値	4.4	4.4	4.4	4.3	4.4	4.3	4.7	4.1	4.4	4.4	4.2
Q15 平均値	4.4	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.7	4.3	4.5	4.5	4.3
Q16 平均値	4.0	4.1	3.9	3.9	3.9	3.9	4.5	3.9	3.9	3.9	3.8
Q17 平均値	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	3.9	4.5	4.0	4.1	3.9	3.8
Q18 平均値	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9	4.5	4.0	4.0	3.9	3.7
有効回答数	18,003	3,074	2,735	1,034	3,961	3,184	682	122	332	281	571

【学部学科・専攻・部門別集計結果】授業担当者の所属別に、専任教員と非常勤教員を分けて集計をした。

表3 教員所属の学科・専攻・部門別平均値 (Q2~18) ※「-」は前期アンケート対象科目なし

(教員所属学部) 学科専攻名	(仏教学部) 禅			(仏教学部) 仏教			(文学部) 国文		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q2 平均値	1.4	1.4	-	1.3	1.3	-	1.6	1.6	-
Q3 平均値	1.3	1.3	-	1.4	1.4	-	1.2	1.2	-
Q4 平均値	4.1	4.1	-	4.1	4.1	-	4.1	4.1	-
Q5 平均値	4.6	4.6	-	4.5	4.5	-	4.7	4.7	-
Q6 平均値	4.6	4.6	-	4.7	4.7	-	4.6	4.6	-
Q7 平均値	4.8	4.8	-	4.7	4.7	-	4.8	4.8	-
Q8 平均値	4.7	4.7	-	4.6	4.6	-	4.5	4.5	-
Q9 平均値	4.5	4.5	-	4.5	4.5	-	4.5	4.5	-
Q10 平均値	4.3	4.3	-	4.5	4.5	-	4.6	4.6	-
Q11 平均値	4.7	4.7	-	4.7	4.7	-	4.7	4.7	-
Q12 平均値	4.8	4.8	-	4.7	4.7	-	4.7	4.7	-
Q13 平均値	4.6	4.6	-	4.5	4.5	-	4.7	4.7	-
Q14 平均値	4.7	4.7	-	4.5	4.5	-	4.6	4.6	-
Q15 平均値	4.7	4.7	-	4.5	4.5	-	4.7	4.7	-
Q16 平均値	4.5	4.5	-	4.4	4.4	-	4.6	4.6	-
Q17 平均値	4.2	4.2	-	4.1	4.1	-	4.1	4.1	-
Q18 平均値	4.5	4.5	-	4.3	4.3	-	4.3	4.3	-
有効回答数	109			78			72		

(学部) 学科・専攻・部門	(文) 英米文			(文) 地域文化			(文) 地域環境		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q2 平均値	1.9	-	1.9	1.4	1.4	1.3	1.4	1.5	1.3
Q3 平均値	1.7	-	1.7	1.6	1.6	1.5	1.6	1.7	1.4
Q4 平均値	3.9	-	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9	4.1	3.7
Q5 平均値	4.5	-	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5
Q6 平均値	4.5	-	4.5	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8	4.6
Q7 平均値	4.6	-	4.6	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8
Q8 平均値	4.4	-	4.4	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7
Q9 平均値	3.8	-	3.8	4.4	4.3	4.5	4.5	4.4	4.5
Q10 平均値	4.1	-	4.1	4.4	4.3	4.5	4.5	4.4	4.5
Q11 平均値	4.2	-	4.2	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6
Q12 平均値	4.4	-	4.4	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.7
Q13 平均値	4.2	-	4.2	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5
Q14 平均値	3.9	-	3.9	4.4	4.4	4.4	4.6	4.6	4.5
Q15 平均値	4.1	-	4.1	4.4	4.4	4.5	4.5	4.6	4.5
Q16 平均値	3.8	-	3.8	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.0
Q17 平均値	3.7	-	3.7	4.1	4.1	4.2	4.3	4.4	4.2
Q18 平均値	3.8	-	3.8	3.9	3.9	3.9	4.1	4.1	4.1
有効回答数	155			786			533		

(学部)学科・専攻・部門	(文) 日本史学			(文) 外国史学			(文) 考古学		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q2 平均値	1.7	1.3	2.0	1.5	-	1.5	2.0	-	2.0
Q3 平均値	1.7	1.4	1.9	1.6	-	1.6	2.1	-	2.1
Q4 平均値	4.2	4.1	4.4	3.9	-	3.9	4.0	-	4.0
Q5 平均値	4.7	4.7	4.7	4.4	-	4.4	4.8	-	4.8
Q6 平均値	4.7	4.7	4.7	4.7	-	4.7	4.9	-	4.9
Q7 平均値	4.8	4.8	4.7	4.8	-	4.8	4.8	-	4.8
Q8 平均値	4.6	4.5	4.7	4.5	-	4.5	4.6	-	4.6
Q9 平均値	4.5	4.5	4.5	4.3	-	4.3	4.0	-	4.0
Q10 平均値	4.5	4.5	4.5	4.3	-	4.3	4.1	-	4.1
Q11 平均値	4.8	4.7	4.8	4.6	-	4.6	4.3	-	4.3
Q12 平均値	4.8	4.8	4.7	4.5	-	4.5	4.6	-	4.6
Q13 平均値	4.5	4.5	4.5	4.0	-	4.0	4.3	-	4.3
Q14 平均値	4.7	4.7	4.7	4.4	-	4.4	4.3	-	4.3
Q15 平均値	4.6	4.5	4.7	4.5	-	4.5	4.4	-	4.4
Q16 平均値	4.3	4.2	4.5	4.0	-	4.0	4.0	-	4.0
Q17 平均値	4.4	4.3	4.6	4.3	-	4.3	4.0	-	4.0
Q18 平均値	4.2	4.0	4.4	4.1	-	4.1	4.1	-	4.1
有効回答数	232			245			68		

(学部)学科・専攻・部門	(文) 社会学			(文) 社会福祉学			(文) 心理		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q2 平均値	1.4	1.6	1.4	1.3	1.2	1.3	1.3	1.4	1.3
Q3 平均値	1.5	1.6	1.5	1.5	1.4	1.6	1.5	1.6	1.5
Q4 平均値	3.7	3.7	3.7	3.8	3.7	3.9	4.0	4.1	3.8
Q5 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5
Q6 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5	4.7	4.6	4.8
Q7 平均値	4.7	4.7	4.7	4.7	4.5	4.8	4.8	4.7	4.8
Q8 平均値	4.4	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6
Q9 平均値	4.0	4.1	3.9	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.2
Q10 平均値	4.1	4.1	4.1	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3
Q11 平均値	4.1	4.3	4.1	4.6	4.6	4.5	4.5	4.6	4.5
Q12 平均値	3.7	4.3	3.5	4.5	4.6	4.4	4.3	4.2	4.3
Q13 平均値	3.8	4.0	3.7	4.0	3.9	4.1	4.3	4.3	4.3
Q14 平均値	3.8	4.1	3.7	4.3	4.4	4.3	4.4	4.5	4.3
Q15 平均値	3.9	4.2	3.8	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.4
Q16 平均値	3.7	3.8	3.6	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9
Q17 平均値	3.8	3.9	3.8	4.1	4.0	4.2	4.1	4.3	3.9
Q18 平均値	3.6	3.8	3.6	3.9	3.9	4.0	3.9	4.0	3.8
有効回答数	539			967			1,216		

(学部)学科・専攻・部門	(経済) 経済			(経済) 商			(経済) 現代応用経済			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値		1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.4
Q3 平均値		1.6	1.5	1.6	1.7	1.6	1.7	1.6	1.6	1.5
Q4 平均値		3.8	3.9	3.7	3.9	3.9	3.8	4.0	4.0	4.0
Q5 平均値		4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.6
Q6 平均値		4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.6	4.8
Q7 平均値		4.6	4.6	4.7	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.8
Q8 平均値		4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.6	4.5	4.7
Q9 平均値		4.2	4.3	4.2	4.1	4.2	4.0	4.4	4.3	4.5
Q10 平均値		4.3	4.3	4.2	4.2	4.3	4.2	4.4	4.3	4.5
Q11 平均値		4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4	4.6	4.5	4.6
Q12 平均値		4.4	4.5	4.3	4.4	4.4	4.3	4.5	4.5	4.6
Q13 平均値		4.2	4.4	4.0	4.1	4.1	4.0	4.3	4.3	4.4
Q14 平均値		4.3	4.4	4.3	4.3	4.4	4.2	4.5	4.4	4.6
Q15 平均値		4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.5	4.4	4.5
Q16 平均値		4.0	4.0	3.9	4.0	3.9	4.0	4.1	4.0	4.3
Q17 平均値		4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.2	4.1	4.3
Q18 平均値		4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	3.9	4.1	4.0	4.3
有効回答数		3,812			2,428			1,983		

(学部)学科・専攻・部門	(法) 法律			(法) 政治			(経営) 経営			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値		1.5	1.6	1.5	1.7	1.9	1.5	1.5	1.4	1.6
Q3 平均値		1.6	1.7	1.6	1.8	1.9	1.7	1.6	1.5	1.7
Q4 平均値		3.6	3.4	3.6	3.8	3.8	3.6	3.8	3.7	4.0
Q5 平均値		4.3	4.0	4.3	4.4	4.3	4.4	4.6	4.6	4.6
Q6 平均値		4.6	4.5	4.6	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.7
Q7 平均値		4.6	4.7	4.6	4.8	4.7	4.8	4.7	4.7	4.7
Q8 平均値		4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.6
Q9 平均値		4.3	4.4	4.3	4.1	4.2	3.8	4.1	4.0	4.2
Q10 平均値		4.3	4.2	4.3	4.1	4.2	4.0	4.2	4.1	4.4
Q11 平均値		4.6	4.6	4.6	4.5	4.6	4.4	4.3	4.2	4.5
Q12 平均値		4.6	4.7	4.6	4.4	4.6	4.0	4.3	4.1	4.6
Q13 平均値		4.1	4.3	4.1	3.9	4.0	3.8	4.1	4.0	4.2
Q14 平均値		4.5	4.4	4.5	4.3	4.4	4.2	4.3	4.2	4.4
Q15 平均値		4.4	4.3	4.4	4.3	4.3	4.2	4.3	4.2	4.5
Q16 平均値		3.8	4.0	3.8	3.7	3.8	3.4	3.8	3.7	4.1
Q17 平均値		3.9	3.7	4.0	4.0	4.1	3.6	3.9	3.7	4.2
Q18 平均値		3.9	3.8	3.9	3.6	3.7	3.5	3.9	3.8	4.1
有効回答数		312			500			1,602		

(学部)学科・専攻・部門	(経営)市場戦略			(医療健康科)			(GMS)			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値		1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.5	1.7	1.6	1.9
Q3 平均値		1.6	1.7	1.6	1.8	1.8	1.9	1.8	1.8	1.9
Q4 平均値		3.7	3.7	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	4.0
Q5 平均値		4.6	4.6	4.4	4.8	4.8	4.8	4.5	4.5	4.5
Q6 平均値		4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.8	4.6	4.7	4.6
Q7 平均値		4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.8	4.7	4.8	4.7
Q8 平均値		4.4	4.4	4.7	4.7	4.7	4.7	4.5	4.6	4.5
Q9 平均値		3.9	3.8	4.2	4.3	4.2	4.5	4.1	4.2	3.9
Q10 平均値		4.0	4.0	4.3	4.3	4.3	4.5	4.1	4.2	4.0
Q11 平均値		4.3	4.2	4.4	4.6	4.5	4.7	4.4	4.5	4.3
Q12 平均値		4.0	4.0	4.2	4.6	4.6	4.6	4.5	4.6	4.4
Q13 平均値		3.9	3.9	3.9	4.3	4.2	4.6	4.2	4.3	4.1
Q14 平均値		4.1	4.0	4.4	4.5	4.4	4.5	4.3	4.4	4.2
Q15 平均値		4.2	4.2	4.5	4.5	4.5	4.7	4.4	4.4	4.3
Q16 平均値		3.6	3.6	3.9	3.9	3.9	4.1	3.9	4.0	3.8
Q17 平均値		3.7	3.7	4.2	4.1	4.1	4.3	4.0	4.1	3.9
Q18 平均値		3.7	3.6	3.9	4.0	4.0	4.2	3.9	3.9	3.8
有効回答数		1,414			1,071			2,530		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究)文化学			(総合教育研究)自然科学			(総合教育研究)日本文化			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値		1.4	1.2	1.4	1.5	1.4	1.5	1.4	1.4	1.4
Q3 平均値		1.4	1.3	1.6	1.6	1.6	1.6	1.4	1.4	1.4
Q4 平均値		3.9	3.8	4.0	3.8	3.8	3.8	4.0	3.9	4.1
Q5 平均値		4.5	4.6	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5
Q6 平均値		4.7	4.6	4.8	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.6
Q7 平均値		4.8	4.8	4.9	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	4.7
Q8 平均値		4.6	4.4	4.8	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5
Q9 平均値		4.4	4.3	4.6	4.2	4.3	4.1	4.4	4.5	4.3
Q10 平均値		4.4	4.3	4.5	4.3	4.3	4.2	4.4	4.4	4.4
Q11 平均値		4.7	4.6	4.7	4.5	4.5	4.3	4.7	4.7	4.5
Q12 平均値		4.3	4.4	4.2	4.4	4.5	4.3	4.5	4.6	4.3
Q13 平均値		4.1	4.3	4.0	4.2	4.2	4.1	4.3	4.4	4.1
Q14 平均値		4.5	4.4	4.5	4.3	4.4	4.2	4.5	4.5	4.3
Q15 平均値		4.5	4.3	4.6	4.3	4.4	4.2	4.5	4.5	4.2
Q16 平均値		4.1	3.9	4.2	3.9	4.0	3.9	4.2	4.2	4.2
Q17 平均値		4.2	3.9	4.4	4.1	4.1	4.0	4.3	4.3	4.2
Q18 平均値		4.1	3.9	4.2	3.9	4.0	3.8	4.1	4.2	4.1
有効回答数		342			2,923			1,029		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究) 外国語第一			(総合教育研究) 外国語第二			(総合教育研究) スポーツ・健康科学			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値		1.9	1.8	2.0	1.9	1.7	2.1	1.4	1.4	-
Q3 平均値		1.8	1.7	1.8	2.0	1.8	2.1	1.4	1.4	-
Q4 平均値		4.0	4.0	4.0	4.1	3.9	4.2	4.1	4.1	-
Q5 平均値		4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	-
Q6 平均値		4.7	4.8	4.7	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	-
Q7 平均値		4.8	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.7	-
Q8 平均値		4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	-
Q9 平均値		4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.6	4.6	-
Q10 平均値		4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	-
Q11 平均値		4.6	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	-
Q12 平均値		4.5	4.6	4.5	4.6	4.6	4.5	4.8	4.8	-
Q13 平均値		4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	-
Q14 平均値		4.4	4.5	4.4	4.5	4.4	4.5	4.7	4.7	-
Q15 平均値		4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.7	4.7	-
Q16 平均値		4.2	4.2	4.2	4.1	4.0	4.1	4.4	4.4	-
Q17 平均値		4.0	4.1	4.0	4.1	4.0	4.2	4.3	4.3	-
Q18 平均値		4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	4.3	4.3	-
有効回答数		4,952			2,639			407		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究) 教職課程			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤
Q2 平均値		1.4	1.4	1.4
Q3 平均値		1.5	1.5	1.5
Q4 平均値		4.1	4.0	4.1
Q5 平均値		4.6	4.6	4.6
Q6 平均値		4.7	4.8	4.6
Q7 平均値		4.8	4.8	4.8
Q8 平均値		4.7	4.7	4.7
Q9 平均値		4.4	4.5	4.3
Q10 平均値		4.5	4.6	4.4
Q11 平均値		4.6	4.7	4.5
Q12 平均値		4.5	4.6	4.4
Q13 平均値		4.4	4.6	4.2
Q14 平均値		4.5	4.6	4.4
Q15 平均値		4.5	4.6	4.3
Q16 平均値		4.2	4.3	4.1
Q17 平均値		4.2	4.3	4.2
Q18 平均値		4.1	4.2	4.1
有効回答数		942		

## 2018年度「学生による授業アンケート（前期）」 集計結果の概況について

2018年度の「学生による授業アンケート」（前期）は、平成30年6月4日（月）から23日（土）の期間にかけて実施された。

今年度前期アンケートは、全ての実施科目において、学生自身が回答をした科目について、自由設問以外の集計結果を閲覧可能になり、授業アンケート結果に対しての担当教員からのコメントを入力できる機能についての利用は任意とし、新たな機能が加えられた。

今回の対象科目は、専任・非常勤合計で1,247科目、対象者数（述べ人数）は、79,031人、回答率は、50.5%であり、2017年度前期は49.7%であった為、前年度よりは、0.8%と若干ながら上昇した。以下、一般的傾向についての概況を述べていく。

学年別の回答率は、例年同様に学年が進むにつれて回答率が右肩下りの傾向であるが、単純に学年での比較は難しいが、昨年度前期の回答率を学年別で見ると、70.8%→72.3%（1年生）、50.1%→50.4%（2年生）、32.9%→35.2%（3年生）、18.9%→19.6%（4年生）と全ての学年で上昇している。

教員の所属別の学生回答率一覧を見ると、仏教学部、文学部（英米文、歴史、心理）と総合教育研究部（外国語第一部門、外国語第二部門）が60%以上の回答率であり、その中でも仏教学部の89.9%は、昨年度前期の46.6%から大きく上昇し、全体の中でも最も高い回答率を示している。

専任・非常勤別の学生回答率は、専任が47.2%、非常勤が54.1%と昨年度同様に非常勤担当科目の方が、学生回答率が高い値を示している。昨年度前期11.2%（専任44.4%、非常勤55.6%）あった差が、今年度前期は4.9%と昨年度前期に比べ小さくなっている。

アンケート対象科目を担当する教員のC-Learningへの最終ログイン状況（7月2日現在）を見ると、専任の実施期間内のログインが29.5%、実施後のログインが31.8%、未ログインが3.6%となっている。一方非常勤では、実施期間内のログインが21.8%、実施後のログインが28.1%で、未ログインが13.6%となっている。その中でも昨年度前期に比べ実施期間内のログイン状況が、専任・非常勤共に14.9%→29.5%（専任）、18.1%→21.8%（非常勤）と実施期

間内でのログイン状況が改善された事で、アンケート後の授業に活かされたのではないかとと思われる。

質問事項については、25項目で実施され、質問を1項目増やしたことを含め2点の修正が行われた。

①設問2・3の選択肢に「全くしていない」を追加し、併せて、従来の「4時間以上」を「3時間以上」とし、選択肢を5項目とした。②教員自由記述設問を追加。具体的な内容は別途記載の通りである。

授業の予習・復習（Q2・3）、授業に熱心に取り組んだ（Q4）の設問では、共に4年生が高い値を示しており、半期卒業、就職活動等の影響が考えられる。

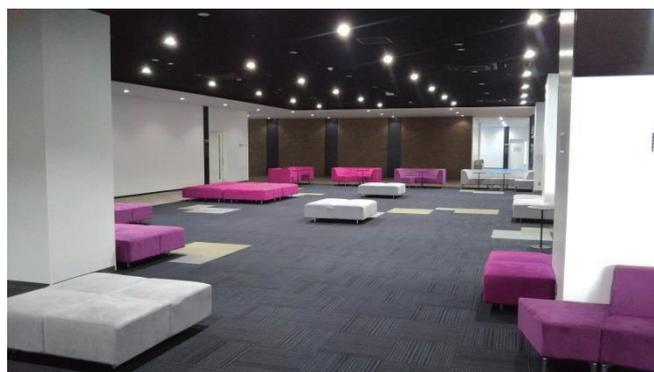
学生の出席状況（Q5）は、4.6（1年生）、4.5（2年生）、4.5（3年生）、4.1（4年生）と全学年共に比較的高い値を示している。また、学部学科別では、医療健康科学部と文学部（考古学）が4.8、文学部（日本史学・国文）が4.7と高い結果となっている。

授業の開始（Q6）は、全学部学科で4.5～4.9、授業回数の確保（Q7）も同じく4.5～4.9と授業回数確保され、同時に定刻通りに実施された結果であった。

教員の熱意・授業内容・運営（Q10～Q15）は、有効投票数が大きく異なるが、上級生になるにつれ、履修科目選択の自由度が増す為、全ての項目で4年生が高い値を示したと考えられる。

以上が、2018年度「学生による授業アンケート」（前期）の概況である。今年度前期のアンケートから2点の修正が行われたが、今後も回答率等に関する動向を見守る必要はあるだろう。今回の集計結果を個々でも分析・評価・検討して頂き、今後の授業改善に役立てて頂ければ幸いである。

（総合教育研究部准教授・岩本 哲也）



（3号館（種月館）2階ラウンジ・「ウイステリア」）

## 連載企画：よりよい教育のために

## 「駒澤大学で自然科学を教える」

総合教育研究部 自然科学部門教授

篠原 正雄

かつて、「自然科学概論」という科目があった。初回講義で科目名の説明をし、高校の科目で言えば理科なのだと言った途端、失望の空気が教場に満ちる。科目名に魅かれてとって見たのに「理科」とは。今もそういう駒大生は多い。「物理学」を中心に、駒澤大学生に自然科学を教える体験の一端を紹介する。

担当科目の一つが「宇宙科学」である。宇宙への興味に応えながら知らぬ間に物理に触れてもらおうと考えている。宇宙の研究は物理学であることを初めに一応語る。あとは画像を用い、身近な事柄からの類推で分かったつもりになってもらうのだが、時々陽に物理が顔を出してしまうようである。

以下は「物理学」という講義について述べる。理科嫌いが最も嫌う科目である。今年度前期は計 300 名近くが受講した。受講の積極的な動機には「物理は苦手だが少しはわかるようになりたい」「数学で挫折し文系に進路変更したが実は理系に興味がある」など再挑戦型が多い。「ブラックホール」など特定テーマへの関心もある。「理数系は得意」な者も稀にいる。

基本的な法則を定性的に理解してもらうことを目標とし、数式を極力使わないようにしてきた。もっと先を学びたい者は個別に指導した。講義と小テストを繰り返す形式だが、数年前より YeStudy での練習問題を組み入れた。講義、YeStudy、小テスト、試験の連携は、完成にはまだ遠い。

対象学部・学科が増え受講生が増したとき、「光」を講義の中心に据えた。教場に暗幕を張っていただき、例示実験を交え、講義を行った。器具を持参し準備や後片付けの時間もなく行えることは限られているが、手応えはあった。

通年科目を半期に組み替えたとき、また内容を組み替えた。物理学 I は社会人となっても知っておくべき物理学ミニマム、II は現代物理入門と称して量子論と相対論をとりあげた。物理学 II は I よりもず

っと定性的な話となり、講義の最後の感想には「IIの方がわかりやすかった」と書く者が意外に多かった。

事前登録の抽選で I を履修できない II 受講者が続出した。そのため、I の知識を前提とできず、II の受講生にもゼロから学びなおしてもらおうほかなかった。そこでいっそ、I は量子論、II は相対論とするのも手かなと思いはじめている。現代物理入門と言っても、実際には前提となる古典物理の初歩を学ぶ部分が大半を占める。「力が働かなければ止まる」と思う学生を「力が働かなければ動き続ける」慣性の法則に導かなければ相対論の出番はない。新しいことを学んでいる気持ちにさせて実は初歩の初歩を復習する。私は今年度で最後。後期の講義でその縮刷版を試して締めくくろうかと思う。

## 平成 30 年度 第 1～3 回 F D 研修会報告

### 第 1・2 回 F D 研修会

#### 「ICT を利用した『ループリック』作成ワークショップ」

5 月 30 日（水）、31 日（木）の 2 日間、平成 30 年度第 1・2 回 F D 研修会が開催されました。この 2 回は、「ICT を利用した『ループリック』作成ワークショップ」という同じテーマでの研修を 2 回行う形で、合計 49 名の教職員が参加して行われました。講師は、経済学部教授 小林正人先生、経営学部教授 中川淳平先生、医療健康科学部講師 馬込大貴先生（いずれも本学 F D 推進委員会委員）。総合情報センター・e-コンシェル津野未来子さんでした。

私は 2 日目に参加しましたが、まずは中川先生よりループリックとは何か、ループリックを使用することによってどのような教育効果があると考えられているかなど、一般的な紹介がなされました。その後、実際に YeStudy で作成されたループリックの事例紹介がありました。次に、総合情報センター・e-コンシェル津野さんより、YeStudy を使ったループリック作成方法についての説明があり、最後に、馬込先生が実際に医療健康科学部のレポート評価で利用されているループリックについての詳しい事例紹介がありました。

馬込先生の事例紹介では、採点作業が効率的に楽

にできるようになったこと、学生に評価軸を示すことができるなどの利点が紹介されました。さらに、馬込先生が最後におっしゃっておられた、「ループリックを使ったからと言って点数が全体的に上がったという実感はまだなく、学生の主体的な学修につながっているかという面に関しては、ループリックだけでなく、何か他の物も必要なようだ」という主旨のお話が、私は印象に残っています。

参加された先生方へのアンケート結果では、約6割の方が、今後ループリックを活用してみたいと回答されていました。一方で、活用してみたいが使い方がよくわからないというご意見も一定数あり、研修会で、そのような技術的な研修をもう少し時間をとって行う事も考えて良いのではと思われました。

私はこの研修の後、担当している「コンピュータ基礎」でのビジネスメール作成課題および「新入生セミナー」でのプレゼン発表において、ループリックを作成し、事前にどういった評価軸になるかを学生に示したところ、どちらの講義でも8~9割の学生がループリックを参考にして課題などに取り組んだとのことでした（学生による授業アンケートにおいて「どの程度ループリックを参考にしたか」アンケートを行った結果より）。まだ1回しか試していないため、その効果は定かではありませんが、少なくとも自分たちがどのような評価軸で採点されるかを確認できることは、学生にとって一定のメリットはあるようです。また、研修会でも紹介されていたように、一度ループリックを作成してしまうと、評価作業はとても効率的に行う事ができました。今後、これらを改良しながらしばらく試行錯誤をしていきたいと思える手応えはあったように思います。



(第1・2回研修会の様子)

### 第3回FD研修会

#### 「大人数科目におけるアクティブ・ラーニングの事例紹介」

第3回のFD研修会は、7月30日(月)、「大人数科目におけるアクティブ・ラーニングの事例紹介」をテーマとして開催されました。参加された教職員は33名、今回は、私は講師の一人として参加させていただき、経営学部教授の中野香織先生と共に、担当している大人数講義(150名以上の受講生がいる講義)におけるアクティブ・ラーニングの事例紹介を行いました。

まずは、私から全学共通科目である「自然環境論I・II」(受講生150~250名)において行っているアクティブ・ラーニングの事例紹介をICTツールを用いたものと、紙ベースで行う形のものに分けて紹介しました。紙ベースのものについては、実際にその場で参加した教職員の方々に体験いただき、その様子や雰囲気を見ていただきました。その後、アクティブ・ラーニングとは直接関係がありませんが、特に大人数講義では役に立ちそうな、YeStudyの名簿から、KONECOの名簿エクセルへ成績をコピーする方法を紹介いたしました。

つぎに、中野先生よりご担当の「マーケティング・コミュニケーション論」(受講生約420名)で実際に行われたグループ・ワークのご紹介がなされました。中野先生のお話で、「特に大人数の場合、事前の準備が重要であり、グループ・ワーク当日はできる限りそれだけが出来るようにアレンジすること」、「自分がどのグループになったかなども学生にICTツールを用いて登録させる(手作業で行うのはたいへんな手間)」、「大学で公開している教場の座席表を利用する」などといった大人数でアクティブ・ラーニングを行う際の、現場に即したノウハウが多数紹介されました。教育効果として、学生自身が楽しんでやっているようであることと、他の学生の意見などを聞き、そこから新たな理解や発見に繋がるなどが挙げられるとのことでした。

第3回の研修会については、大学のウェブよりビデオアーカイブを見ることができるようになっています。これは時間のあるときに、自由に確認できるためたいへん便利です。ぜひお時間のあるときに、ご覧になっていただければと思います。こちらのアンケート結果でも、アクティブ・ラーニングについて

て、6割近い先生方が、人数にかかわらず試してみたい（または実践されている）とのご回答がありました。また、第1・2回を含め、学内の教員による事例紹介は参考になるとの意見が多くありました。



(第3回研修会の様子)

### 総評

これら3回のFD研修会でも、日頃のFD推進委員会でも、いろいろな先生方がもっているノウハウや事例をビデオアーカイブ、ファイル共有、その他の方法で全学的に共有できれば、かなりの財産となるのではないかという意見や話が出ています。かつてあったToDay (YeStudy 教員ユーザ会：平成28年9月末日廃止) はそういった学部・学科間を超えた教員の情報共有の場として一定の役割を果たしていたように思います。ですので今後、さらにFD研修会を通して、また他の何かの形で、情報共有の場が増えていくことは、より良い教育活動に着実に繋がっていくように感じています。

(総合教育研究部教授・坂野井 和代)

### FD推進委員会の今後の活動予定

- 平成30年度第4回FD推進委員会小委員会  
平成30年10月15日(月) 16:20～
- 平成30年度第2回FD推進委員会  
平成30年11月6日(火) 16:20～
- 平成30年度第4回FD研修会  
平成30年11月上旬  
テーマ：身近な授業に活かす反転授業  
～YeStudyとC-Learningを使って～

※FD活動についてご意見がありましたら、各学部等の小委員会委員までお申し出ください。

### 2018年度「公開授業」実施のお知らせ

今年も例年通り11月中旬から12月上旬にかけて「公開授業」を実施いたします。「公開授業」はよりよい授業の在り方を再考し、教える技術(教授法)について学ぶことができる貴重な機会となりますので是非ご参加ください。

日程等、詳細が決定しましたら、各学部等事務室及びKONMAでお知らせいたします。



(3号館(種月館)5階「空のテラス」)

～2018 年度「学生による授業アンケート」  
(後期) 実施のお知らせ～

実施期間：平成 30 年 11 月 5 日 (月) ～24 日 (土)

対象科目：全科目対象 (集中講義科目、演習科目、  
受講生が 20 名未満の科目は除く)

※WEB によるアンケートを実施しています

(PC、スマートフォン、携帯電話、タブレット等  
を使用して回答されます)。



※駒澤大学 F D (Faculty Development) ホームページは、以下 URL か QR コードからアクセスできます。

【URL】 <https://www.komazawa-u.ac.jp/about/fd/>



## 編集後記

『FD NEWSLETTER 第 56 号』をお届けいたします。

巻頭言は、総合教育研究部スポーツ・健康科学部門でコミュニティ・ケアセンター所長の竹田幸夫先生にご執筆頂きました。また、連載企画「よりよい教育のために」は、総合教育研究部自然科学部門の篠原正雄先生にご執筆頂きました。お忙しい中、ご執筆いただきました先生方に心より感謝申し上げます。

大学のウェブ上にある、FD のページが整理され、これまでより見やすくなりました。FD NEWSLETTER のバックナンバーや、FD 研修会のビデオアーカイブなどにもアクセスできますので、紙の FD NEWSLETTER などと合わせて、一度、ご覧いただければと思います。

今回の「学生による授業アンケート」(前期)から、2 点の修正が行われ実施されましたが、大幅な回答率改善には至りませんでした。今後の動向を見守りながら、更なる改善も必要になるでしょう。

また、多くの教職員の方に F D 活動に関心を持って頂き、ご協力いただく事で、さらなる教育活動の発展に繋がるのではないかと思います。

(坂野井和代・岩本哲也)

【タイトル横の写真は、  
平成 30 年 4 月に完成した 3 号館 (種月館)】

## FD NEWSLETTER Sep. 2018 第 56 号

発行日：2018 年 9 月 30 日

発行者：駒澤大学 F D 推進委員会

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

Tel 03-3418-9444 Fax 03-3418-9114

(事務局：教務部)

# FD NEWSLETTER



## CONTENTS

- 夏のファカルティ・デベロップメント  
入学センター所長  
法学部教授 熊谷 芝青
- 2018 年度「公開授業」の実施について  
■私の公開授業～理論の役割  
経済学部教授 舘 健太郎
- 公開授業を終えて  
法学部教授 山崎 望
- 「ゼミ活動と市民先生」  
経済学部准教授 松本 典子
- 「身近な授業に活かせる反転授業」  
—平成 30 年度第 4 回FD研修会報告—
- FD 推進委員会今後の活動予定

## 夏のファカルティ・デベロップメント

入学センター所長  
法学部教授 熊谷芝青

酷暑の夏の 5 日間、本学でオープンキャンパスが開催された。オープンキャンパスの目玉は、なんといっても、「模擬授業」であろう。連日、「模擬授業」の様子を拝見して回った。ベテランの先生方が自家薬籠中の得意分野で学問の面白さを展開すれば、フレッシュな先生方が意欲的な工夫によって学問の興味を掻き立てる、といった学問の百花繚乱の様相を呈していた。「模擬授業」を数日前から予約し待ち望んでいた高校生等の期待に十分に答えていただいたことは、アンケートの回答の中から伝わってくる。先生方のご尽力に心から御礼申し上げます。

それとともに、近年のオープンキャンパスで顕著であるのは、保護者が同伴していることである。我を忘れて「模擬授業」に釘付けになっている高校生に対して、保護者は、客観的に、冷静に「模擬授業」を聞いている対照的な姿に気づかされる。保護者にとって自分の子ども等を本学に十分に託すことができるだろうか、と吟味しているのだろう。

ファカルティ・デベロップメントは、講義内容を改善・向上させるための組織的取組のことであると理解している。その一環として、教員相互が参観する公開講義が行われ、その後に、アンケートによる講評が本学で行われるようになって久しい。自ら属する学科以外の、他学部・他学科の講義に参加させていただくと、自分の専門領域と異なる視点からの切り込みや検討方法等に驚かされると同時に、今後の講義へのヒントとなるものを教えられる。またアンケート結果には思わぬ弱点の指摘等があるが、その後の講義の改善に活かされることになるだろう。

とすると、教員の代わりに保護者や高校生等が参観する公開講義が行われ、その後にアンケート講評するというオープンキャンパスにおける「模擬授業」は、まさにファカルティ・デベロップメントが行われているといえよう。高校生等の好意的な視点と、保護者の批判的な視点という「模擬授業」の要素を含んでいるからである。今夏の「ファカルティ・デベロップメント」は成功裏に終了した。来夏の「ファカルティ・デベロップメント」にも大いに期待したい。

## 平成 30 年度公開授業の実施について

平成 30 年度「公開授業」を以下のとおり実施した。「公開授業」は、授業改善のための教員による相互研鑽を目的とし、工夫に富んだ授業に接し、その体験によるさまざまな発見を通して、今後の授業改善のためのヒントを得ることにある。

公開授業は、各学部等の F D 推進部会のご協力により、各学部等主体にて実施された。

学部	担当教員	実施日	時限	教場	科目名称
仏教学部	松田 陽志	11/28 (水)	3	禅研一坐禅堂	坐禅
	藤井 淳	11/27 (火)	3	8-258	仏教漢文入門
		12/5 (水)	2	8-258	基礎演習
文学部	北原 賢一	12/1 (土)	2	3-303	英語演習
経済学部	宮田 惟史	11/14 (水)	3	1-301	経済学史 b
	石川 祐二	11/20 (火)	3	1-401	管理会計論 b
	舘 健太郎	11/30 (金)	2	1-401	産業組織論 b
法学部	高田 実宗	12/6 (木)	1	8-255	行政法
	山崎 望	11/28 (水)	1	8-255	政治学 (国際社会と日本)
経営学部	福田 慎	11/27 (火)	1	1-202	金融論
	菅野 佐織	11/30 (金)	1	3-211	消費者行動論
医療健康科学部	藤田 幸男	11/27 (火)	2	3-206	放射線関係法規
GMS 学部※	朴 正洙	11/21 (水)	4	8-150	マーケティングコミュニケーション
	平井 辰典	11/19 (月)	3	1-402	Web コンテンツデザイン各論
総合教育研究部	山本 敏子	11/29 (木)	6	3-312	教育実習指導
	出井 章雅	11/12 (月)	3	2研-101	生涯スポーツ実習
	三好 俊介	11/27 (火)	3	7-303	ロシア語 I A b

※GMS 学部＝グローバル・メディア・スタディーズ学部

## 私の公開授業～理論の役割

経済学部 教授 館 健太郎

先日「産業組織論b」の公開授業が行われました。産業組織論とは、個別の産業における企業同士の競争やその消費者への影響などについて学ぶ科目です。さらに、産業の課題が明らかになった場合には、それを克服するための経済政策についても検討します。

ところで、こうした議論を行うにあたって、「経済モデル」と呼ばれる理論を用いることがこの科目の特徴となっています。したがって、科目の性質上、どうしても話が抽象的になる傾向があるため、内容を理解しにくいという問題点があります。それに加えて、「無数の企業が同じ商品を供給しながら競争している状態」とか、これとは対照的に「ライバル企業がまったくいない状態」などと、経済モデルには極端で現実とかけ離れた設定が多く、「こんなありえない話を聞いて意味があるのだろうか？」と疑問に思う学生が出て不思議ではありません。

そこで、私はできるだけ多くの具体例を紹介するように心がけているのと同時に、理論の意義について時間をかけて説明するようにしています。そのときに強調していることは、理論は「おとぎ話」と似ている部分があるということです。おとぎ話は子どもたちに生きる上で大切な教訓を伝えようとした先人の知恵が凝縮された物語であり、理論もまたものごとの本質を明確に示そうとしたものだと考えられます。

おとぎ話の特徴は、例えば「むかしむかし、あるところに、おじいさんとおばあさんが住んでいました。」から始まる「桃太郎」の話のように、時間や場所、人物を特定しない抽象化された世界が舞台であることや、桃太郎が鬼退治に出かけるときにお供をする犬や猿、キジのように動物がしばしば登場することです。おとぎ話では、重要でない部分はすべて捨象される一方で、重要な部分については動物や植物などに象徴させながら強く印象に残るように語られています。一説によれば、犬は誠実さ、猿は知恵、キジは勇気、そして3匹の鬼は欲や怒り、愚痴の心を表したものであり、「桃太郎」は「すぐれた徳を磨いて己の弱い心を克服して立派な大人になりなさい」ということを教えたものだと言われています。

産業組織論においても、さまざまな要因が複雑に絡み合う現実の競争について観察する前に、まずは極限の競争状態というフィクションを想像することから始めることで、かえって競争の本質を深く理解できるようになるのです。



(館 健太郎 先生 公開授業)

## 公開授業を終えて

法学部 教授 山崎 望

2018年11月28日の1限に「政治学(国際社会と日本)」の公開授業を行いました。履修者数は192名で1限の講義にも関わらず、毎回出席率が高い講義となっています。公開授業では「民主主義の危機と『改憲』」と題して、先週からの継続性を持つ講義として民主主義の危機についての学説に言及し、その上でC・シュミットという政治思想家の例外状態論を紹介し、それを現代日本の改憲をめぐる論点の一つである「緊急事態条項」につなげて解説しました。

講義を通じた工夫としては、毎週レジュメを配布し、受講生には前週の段階で自由民主主義の歴史的な過程を学習してもらい、自宅で民主主義の規範的な意義についてミニレポートの作成と、視聴覚教材として「緊急事態条項」について取り上げたニュース映像の視聴を課題とし、公開授業の時間内に小クイズへの解答をさせています(翌週に講師から応答する)。このようなアクティブ・ラーニング的な手法を導入することで、講義時間・場所に限定されず、また講義に連続性をもたせています。

しかし反省点も挙げられます。第一に欠席者・遅

刻者も一定数いることもあり、全員が連続性を持った講義を受講しているか、は疑問です。また課題に応じてくる学生も一定数に限られます。要因についても受講生の怠惰ではなく、経済的困窮からのアルバイト時間の多さなどの問題も多々あり、総合的な分析が求められるでしょう。

またレスポンスカードを使った応答では、講師主導の形態となってしまう、本格的な少人数講義と比べると、相互応答性は落ちてしまいます。TAの導入など工夫を検討しつつも、履修者が多学部に来る本講義のような場合では、背景となる知識もかなり異なるため、議論自体が難しい側面もあり、現状ではアクティブ・ラーニング化には成功しておりません。

第三に、これが最も大きな問題だと思うのですが、本講義は知的好奇心が高い多くの受講生に恵まれている科目とはいえ、履修者の間における基礎的な知識の多寡、論理的な思考法の習熟度、政治や社会などへの関心の強弱といった様々な「格差」があり、分断を生み出しています。公開講義終了後に、講義を踏まえて出した課題への解答(レスポンスカード)を見る限りでも、一方でシュミットの自由主義批判の問題点を指摘する履修者や日本の「改憲」動向について論理的な考察を記す履修者がいる一方で、「憲法」と漢字で筆記することができないと推測される履修者や、三権分立の意味を理解していない履修者もあり、「履修者全員」に対して統一的な講義をして、どのような教育効果が得られるのか、も講師としては悩みです。

今後とも学生の声に耳を傾けつつ、時代に適した、より良いと思われる講義を模索していきたいと考えています。様々なご意見をお待ちしております。



(山崎 望 先生 公開授業)

## 連載企画：よりよい教育のために

### 「ゼミ活動と市民先生」

経済学部 准教授

松本 典子

2007年から非営利組織論を担当し、ゼミではNPOや協同組合などを研究対象に、非営利組織の組織論・企業論に関する研究・教育を行っています。

2年生は、非営利組織に関するテキストを輪読し、NPOや協同組合への訪問インタビュー調査を通じて研究の基礎を構築し、2年生から3年生にかけては、大学の立地を最大限に活かし、世田谷区内でさまざまな活動を展開していきます。今年も、三軒茶屋の「世田谷アートフリマ」におけるワークショップの企画・運営、桜新町商店街で行われた豊丘村の物産展への参加、用賀で毎年8月末に地元の大学生が企画・運営する「用賀サマーフェスティバル」への参加、用賀商店街の「ようが屋台村」への参加、二子玉川の「いちにち商店街」への参加を実行しました。

「継続的に地元の人や非営利組織に関わる」を合言葉に、本年度は4つのプロジェクトも実行しました。2年生は、全員が用賀のNPO法人 neomura が運営する「neobar (ネオバル)」の日替わり店長になって、「いぶりがっこプロジェクト(秋田県大仙市で障がい者がつくるいぶりがっこの生産を手伝い、商品開発・販売も行う)」「らいちプロジェクト(宮崎県産のライチを販売して知名度をあげる)」などを実施しました。3年生は3チームあり、動画チームはワーカーズ・コープやパルシステム東京などが運営する「よいしごとステーション(協同組合の求人・講座紹介の専門サイト)」の動画づくりを行いました。台所チームは、深沢の空き家をDIYしてコミュニティスペースにした「ふかさわの台所」にて、「世田谷産おにぎりプロジェクト(区内の農家の野菜を活用し、料理が得意な人たちの指導を受けてつくるおにぎりのランチ会イベント)」を実施しています。MAPチームは、駒沢・深沢地域のカフェMAPを作成しました。

以上のように多岐にわたるプロジェクトを同時並行で実施していますが、これを教員一人ですべて指

導するのは至難の業です。そこで、「市民先生」と一緒にゼミを行うことで、すべてのゼミ生が力を十分に発揮できるような仕組みをつくっています。たとえば、ふかさわの台所主宰の成見ご夫妻は、「なぜそれをやりたいの？」と常に学生に問いかけ、いつでも学生のやりたいことに真剣に向き合ってくれます。その結果、最初とは全く異なる素晴らしいイベントが創出されたり、イベントをやり遂げることによってチームの仲が深まるなど、地域にとっても学生にとっても良い結果がもたらされます。

「地域の子どもは地域で育てる」とよく言われます。ここ数年のゼミ活動を通じて学生の生き生きした様子を見る度に、大学生の教育を大学だけで完結させるのではなく、地域の人たちの協力を得て発展させていくことが重要だと痛感しています。世田谷には学生を育てられる素晴らしい「市民先生」がたくさんいるのです。

地元で若者の将来を真剣に考えてくださる「市民先生」には経済学部現代応用経済学科ラボラトリを支える研究員にもなっていていただいておりますが、このあたりの話はまた別の機会に。

## 平成30年度 第4回FD研修会報告

### 「身近な授業に活かせる反転授業」

第4回のFD研修会が11月6日(火)の17:00～18:30、3-309教室で開催された。今回の講師は、篠原正雄先生(総合教育研究部自然科学部門教授)と、西村祐子先生(総合教育研究部外国語第一部門教授)のお二人である。参加者数は教職員合わせて19名だった。

まず、篠原先生からは、受講生へのレポート課題の提示とレポートの回収とにC-Learningを利用する授業の実例についてご報告をいただいた。リレー講義「自然観察実習」の中の「天体観察入門」(講義2回)における実施例であり、受講生に出される課題は、実際の星空を肉眼で観察し、その結果をレポートにまとめて、C-Learningを使って提出することである。

C-Learningを利用すると便利な点として、受講生の名簿があらかじめ出来ていること、レポートの一

括ダウンロード(提出ファイル一括ダウンロード)をしたときに、自動的に学生番号を先頭とするファイル名が付けられることなどが報告された。

続いて、西村先生からは、アクティブ・ラーニングを使う授業は知識の定着率が高く、知識を応用する力が養えること、アクティブ・ラーニングの典型的な方法が反転授業であることが話され、反転授業を取り入れた英語の授業の実例が紹介された。

受講生にはあらかじめ英語のスピーチの課題(たとえば「自分の趣味」)が通知されており、授業の当日は、受講生が二人一組になり(ペアワーク)、各自のスピーチを交替で短いビデオに撮影する、さらにその動画をGoogle Driveに登録するのである。受講生は、その動画を自分も見ることができるので、自分の英語の話し方を自分で点検し、改善に役立てることができる。学生どうしが撮影し合う方が、教員が録画装置を向けるよりも学生は緊張せず、自然に近い英会話ができるというメリットがある。

さらに進んで、受講生が、英語のプレゼンテーションをパワーポイントにまとめ、それを英語でプレゼンする様子を動画に撮影してGoogle Driveに登録するという授業例も紹介された。そして、@komazawa-u.ac.jpのGmailアカウントに付属しているGoogle Driveに動画などのデータを無制限に入れられるという機能があり、この活用が強調された。

このほか、「新入生セミナー」において、受講生がグループで東京都内の各地に出かけて、現地で画像をとり、それをパワーポイントでまとめて授業中に発表するというアクティブ・ラーニングの実施例も紹介された。

そのあと、活発な質疑応答が行なわれた。

(経済学部教授・小林 正人)



(第4回FD研修会の様子)

## FD 推進委員会の今後の活動予定

○平成 30 年度第 6 回 F D 推進委員会小委員会  
平成 31 年 1 月 22 日 (火) 14:00 ~

○平成 30 年度第 6 回 F D 研修会  
平成 31 年 2 月 1 日 (金) 16:30 ~

テーマ:

平成 30 年度「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」  
受賞科目にみる教育方法と教育活動の質の向上

○平成 30 年度第 7 回 F D 推進委員会小委員会  
平成 31 年 2 月 22 日 (金) 14:00 ~

○平成 30 年度第 4 回 F D 推進委員会  
平成 31 年 3 月 14 日 (木) 14:00 ~

※ F D 活動についてご意見がありましたら、各学  
部等の小委員会委員までお申し出ください。

※駒澤大学 F D (Faculty Development) ホームペー  
ジは、以下 URL か QR コードからアクセスできます。

【URL】 <https://www.komazawa-u.ac.jp/about/fd/>



## 編集後記

FD NEWSLETTER 第 57 号をお届けします。巻頭言は、  
入学センター所長の熊谷芝青先生にご執筆頂きました。  
夏のオープンキャンパスで実施される「模擬授  
業」は、来校された高校生やその保護者が参観する  
「公開授業」に相当し、高校生による好意的な目線  
と、保護者による少々厳しい批判的目線での意見が  
アンケートに寄せられることから、これを講義内容  
の改善・向上に活かすことにより F D に繋がること  
をご指摘されています。そして本号では、ちょうど  
その「公開授業」に関する記事を掲載しており、今  
期の公開授業をご担当された法学部の山崎望先生と

経済学部の館健太郎先生に、実施後の感想等につい  
てご執筆頂きました。科目や履修人数の多寡等によ  
って適切な授業形態やアクティブ・ラーニングの導  
入可否等の状況は異なりますが、お二方とも学生の  
知的好奇心と理解度・定着度を高めるために様々な  
工夫をされており、F D に向けた取り組みと熱意が  
伝わってまいります。

連載企画の「よりよい教育のために」では、経済  
学部の松本典子先生に、ゼミでのフィールドワーク  
を中心とした教育の在り方についてご紹介頂きまし  
た。教場内での授業だけでなく、地元の様々な行事  
への参加、ワークショップの企画・運営、各種プロ  
ジェクトの実施など、世田谷区内の NPO や協同組合  
などの非営利組織の方々に「市民先生」としてご協  
力頂き、一緒に学生を指導・教育されているとのこ  
と。アクティブ・ラーニングを積極的に取り入れた  
授業方法として、大いに参考になります。第 4 回 F  
D 研修会においても、アクティブ・ラーニングの手  
法について、講師をされた総合教育研究部の篠原正  
雄先生と西村祐子先生に、それぞれ C-Learning の活  
用や反転授業の実施例を中心にお話し頂きました。  
本号では、その概要についても記事を掲載しており  
ます。2012 年 8 月の中央教育審議会の答申により大  
学教育におけるアクティブ・ラーニングへの転換が  
打ち出されてから 6 年。その間に、本学においても  
アクティブ・ラーニング化が随分と浸透してきたこ  
とを実感いたします。

お忙しい中に本号掲載の記事をご執筆下さった先  
生方、公開授業及び F D 研修会の講師をご担当され  
た先生方には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。  
次号の FD NEWSLETTER 第 58 号は、ベスト・ティ  
ーチング賞や学生による授業アンケートの結果報告  
に関する記事を中心にお届けする予定です。

(小林 正人、塩入 みほも)

【タイトル横の写真は、  
平成 30 年度第 4 回 F D 研修会での学長挨拶時の様子】

## FD NEWSLETTER Dec. 2018 第 57 号

発行日：2018 年 12 月 15 日

発行者：駒澤大学 F D 推進委員会

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

TEL 03-3418-9444 Fax 03-3418-9114

(事務局：教務部)

# FD NEWSLETTER



## CONTENTS

- 授業改善への小さな一歩  
文学部 学部長 橋詰 直道
- 2018 年度「学生による授業アンケート」  
(後期) 集計結果
- 「良き研究者であり、良き教育者」  
仏教学部講師 徳野 崇行
- 学生が選ぶベスト・ティーチング賞  
授賞式
- 平成 30 年度第 5 回 FD 研修会報告  
■ ダイバーシティから  
インクルージョンへ
- 平成 30 年度第 6 回 FD 研修会報告  
■ 平成 30 年度 BTA 受賞科目にみる  
教育方法と教育活動の質の向上
- 平成 31 年度新規採用教員  
オリエンテーション開催のお知らせ

### 授業改善への小さな一歩

文学部 学部長 橋詰 直道

本学でも YeStudy や C-Learning といったさまざまな機能をもった授業支援ソフトが導入されている。私も YeStudy を 10 年ほど前から利用している。それを活用するまでには至っていないが便利であり、高齢教員の私でもこの YeStudy の教材提示、レポート回収などの機能を使って授業を工夫している。以下に FD とは言えないまでも、私の担当する地理学科の専門科目の授業での小さな試みと課題について紹介することで、ご批判やご意見をいただければと思う。

まず、シラバスに沿って授業の要点をまとめた教材プリントを少なくとも授業の 2 週間前には YeStudy にアップロードしている。これには 24 コマ (A4 用紙に 6 コマ 4 枚分) のパワーポイントの画像情報を盛り込んである。授業当日には、それと同じものを A3 用紙の裏表に印刷して受講者に配布すると同時に、学生は私が持参したノート PC に接続したバーコードリーダーで自身の学生証のバーコードを読み取らせる方法で出席管理をしている。今は C-Learning を利用すれば出席管理が簡単であることは承知しているが、受講学生一人ひとりが教卓脇で出席入力をするという、古くさいが顔が見える出席確認方法を採用している。

YeStudy への教材プリントの事前アップの目的は、もちろん自宅で予習をして授業に臨むという学習姿勢の習慣化にあるが、この実現はかなり難しい。そのことは恥ずかしながら、学生によるアンケート調査の結果でも明らかで、今年度前期科目の場合、「この授業にあてた予習の時間は」という問いに約半数の学生が「全くしていない」と回答していることからわかる。その原因を学生の学習意欲の低さにあると片付けてしまうと、FD とはならないので、自らの授業方法に求める必要がある。例えば、事前にアップした肝心の教材プリントに、各講義の目的や何をどこまで予習すれば理解が深まるかなど、具体的に指示しておけば予習へ繋がる可能性が高まるだろう。この点は次年度から改良し実施してみたい。加えて、授業内容を知識として定着させるためには、毎回の授業の最後の小テストや、その日わかったことやキーワード、新たな疑問などを記入して提出させるなどの工夫も必要だろう。

専門科目の場合、できる限り多くの研究成果や具体的事例を講義することを最優先してきたので、毎回授業終了時には時間的余裕がなくなってしまい、後者のような工夫ができなかった。この点を解決するには、従来の伝達型講義を、予習 + 復習型の能動的学習を育む授業へとシフトチェンジする必要がある。最終的には、学生が予習・復習を習慣化することで、より理解を深め、さらに専門的な興味関心へと発展させるための授業改善が必要だろう。そのための「小さな一歩」を残された時間で試みたい。

## 2018 年度「学生による授業アンケート」(後期) の集計結果について

2018 年度「学生による授業アンケート」(後期)を以下のとおり実施した。

実施期間 平成 30 年 11 月 5 日 (月)～11 月 24 日 (土)  
対象科目数 1,754 科目  
対象者数 133,754 人 (延べ人数)  
回答率 37.5%

### 【質問項目】

Q1. どのような理由でこの授業を履修しましたか。(複数選択可)

- 7: シラバスを見て授業内容に興味を持った
- 6: シラバス以外の情報(友人等)により、授業内容に興味を持った
- 5: 履修モデル(コース制等)を見て決めた
- 4: 資格の取得
- 3: 必修科目または選択科目だったから
- 2: 時間割(曜日時限)を考慮して決めた
- 1: その他

Q2. この授業の予習に当てている時間は1週間に何時間くらいですか。

Q3. この授業の復習に当てている時間は1週間に何時間くらいですか。

(Q2・3 選択肢)

- 5: 3 時間以上
- 4: 2 時間以上～3 時間未満
- 3: 1 時間以上～2 時間未満
- 2: 1 時間未満
- 1: 全くしていない

Q4. あなたは授業に熱心に取り組んでいますか。

(Q4 の選択肢は Q18 の後に記載)

Q5. この授業を何回欠席しましたか。

- 5: 0 回
- 4: 1～2 回
- 3: 3～4 回
- 2: 5～6 回
- 1: 7 回以上

Q6. 授業はほぼ定刻通りに実施されていますか。

Q7. 通常通り、授業回数は確保されていますか。(補講・

YeStudy 等による課題授業含む)

Q8. 授業にはおおむねシラバスの内容が反映されていますか。

Q9. この授業の進み方はあなたにとって適切ですか。

(Q6～9 の選択肢は Q18 の後に記載)

Q10. 教科書・配布資料等は授業内容を理解する上で効果的ですか。

- 5: そう思う
- 4: ややそう思う
- 3: どちらとも言えない
- 2: ややそう思わない
- 1: そう思わない

0: 教科書・配布資料等がない授業

Q11. 担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられますか。

Q12. 教員の話し方・ボリュームは聞き取りやすいですか。

(Q11・12 の選択肢は Q18 の後に記載)

Q13. 板書や投影されたスクリーンの文字・図表等は見やすいですか。

- 5: そう思う
- 4: ややそう思う
- 3: どちらとも言えない
- 2: ややそう思わない
- 1: そう思わない

0: 板書・スクリーンの投影がない授業

Q14. 教員は授業内容に沿った授業環境・雰囲気づくりに配慮していますか。

(Q14 の選択肢は Q21 の後に記載)

Q15. 教員はあなたの意見や質問に対して適切に対応していますか。

- 5: そう思う
- 4: ややそう思う
- 3: どちらとも言えない
- 2: ややそう思わない
- 1: そう思わない

0: あなたが当該授業において意見・質問をしたことがない場合

Q16. この科目の授業内容についてよく理解できていますか。

Q17. 授業内容に興味を持っていますか。

Q18. あなたはこの授業の到達目標を達成できると思いますか。

(Q4・6～9・11・12・14・16～18 選択肢)

- 5: そう思う
- 4: ややそう思う

3: どちらとも言えない

2: ややそう思わない

1: そう思わない

Q19. 教員自由設定質問 (選択)

Q20. 教員自由設定設問 (記述)

Q21. この授業のよかった点を具体的に記入してください。

Q22. この授業の改善してほしい点を具体的に記入してください。

Q23. 所属学部学科等

20: 仏教 19: 国文 18: 英米文 17: 地理 16: 日本史学

15: 外国史学 14: 考古学 13: 社会学 12: 社会福祉学

11: 心理 10: 経済 9: 商 8: 現代応用経済

7: 法律A 6: 法律B 5: 政治 4: 経営 3: 市場戦略

2: 診療放射線技術科 1: グローバル・メディア

Q24. 学年

5: 4年 4: 3年 3: 2年 2: 1年 1: その他

Q25. どのような入学試験を受け、あなたは本学に入学しましたか。

11: 一般入試 10: 大学入試センター試験利用入試

9: 一般推薦入試・自己推薦入試

8: スポーツ推薦入試 7: 指定校推薦 6: 付属校推薦入試

5: 留学生特別入試 4: 帰国生特別入試 3: 編入学試験

2: その他の試験 1: 回答しない

## 【学年別平均値】

表1はアンケート質問項目(Q2~18)の学年別平均値を示したものである。

表1 学年別の平均値

学年別	1年	2年	3年	4年	その他
Q2 平均値	1.5	1.6	1.5	1.8	-
Q3 平均値	1.6	1.7	1.7	1.9	-
Q4 平均値	3.9	3.8	3.8	3.9	-
Q5 平均値	4.4	4.3	4.1	3.7	-
Q6 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	-
Q7 平均値	4.7	4.7	4.7	4.7	-
Q8 平均値	4.6	4.6	4.5	4.6	-
Q9 平均値	4.2	4.2	4.3	4.4	-
Q10 平均値	4.3	4.3	4.3	4.4	-
Q11 平均値	4.5	4.5	4.5	4.6	-
Q12 平均値	4.4	4.4	4.4	4.6	-
Q13 平均値	4.2	4.2	4.2	4.3	-
Q14 平均値	4.3	4.4	4.4	4.5	-
Q15 平均値	4.4	4.4	4.4	4.5	-
Q16 平均値	3.9	3.9	3.9	4.1	-
Q17 平均値	4.0	4.0	4.1	4.3	-
Q18 平均値	3.9	3.9	3.9	4.1	-
有効回答数	18,246	13,034	7,517	2,057	-

## 【入試形態との関連】

2010 年度より、入試形態と学生の授業への取り組み（出席状況、予習・復習時間など）との関連を把握するために入学試験タイプの質問を追加している（Q25）。なお回答は任意とした（回答率 98.3%）。（表 2 入学形態別の項目別平均値）

表 2 入試形態別の項目別平均値（Q2～18）

入試形態別	一般入試	大学入試センター試験 利用入試	一般推薦入試・ 自己推薦入試	スポーツ推薦入試	指定校推薦	附属校推薦入試	留学生特別入試	帰国生特別入試	編入学試験	その他	回答しない
Q2 平均値	1.5	1.5	1.6	1.7	1.6	1.5	2.3	1.8	1.6	1.6	1.5
Q3 平均値	1.6	1.6	1.6	1.8	1.6	1.5	2.5	2.0	1.7	1.7	1.6
Q4 平均値	3.8	3.7	3.9	3.9	3.9	3.9	4.3	3.7	3.9	3.9	3.6
Q5 平均値	4.3	4.1	4.2	4.1	4.4	4.4	4.3	4.1	4.2	4.3	4.3
Q6 平均値	4.6	4.5	4.6	4.6	4.5	4.6	4.7	4.6	4.7	4.7	4.4
Q7 平均値	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.5
Q8 平均値	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.6	4.7	4.6	4.7	4.7	4.3
Q9 平均値	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.3	4.5	4.2	4.5	4.3	3.9
Q10 平均値	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.3	4.5	4.3	4.5	4.3	4.0
Q11 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.7	4.6	4.6	4.6	4.3
Q12 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.6	4.6	4.5	4.5	4.1
Q13 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.2	4.6	4.2	4.4	4.3	3.8
Q14 平均値	4.4	4.3	4.4	4.4	4.3	4.4	4.6	4.3	4.5	4.5	4.1
Q15 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.7	4.4	4.5	4.5	4.2
Q16 平均値	4.0	3.9	3.9	4.0	3.8	4.0	4.4	3.9	4.1	3.9	3.6
Q17 平均値	4.1	4.0	4.1	4.0	3.9	4.0	4.4	4.1	4.1	4.0	3.7
Q18 平均値	3.9	3.9	3.9	4.0	3.8	3.9	4.3	3.9	4.0	3.9	3.5
有効回答数	21,978	3,889	3,506	986	4,902	3,101	699	100	420	357	916

【学部学科・専攻・部門別集計結果】授業担当者の所属別に、専任教員と非常勤教員を分けて集計をした。

表3 教員所属の学科・専攻・部門別平均値 (Q2~18) ※「-」は前期アンケート対象科目なし

(学部)学科等	(仏教) 禅			(仏教) 仏教			(文) 国文			(文) 英米文		
	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
Q2 平均値	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.7	1.5	1.7	1.7	1.6
Q3 平均値	1.5	1.5	1.8	1.6	1.6	1.8	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
Q4 平均値	3.5	3.5	3.6	3.6	3.6	3.6	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	4.0
Q5 平均値	4.1	4.1	4.0	3.9	3.9	3.6	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2
Q6 平均値	4.3	4.3	4.6	4.4	4.3	4.6	4.7	4.6	4.7	4.6	4.6	4.8
Q7 平均値	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.5	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.9
Q8 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6
Q9 平均値	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3
Q10 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	4.5
Q11 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6
Q12 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.7
Q13 平均値	4.1	4.1	4.3	4.1	4.0	4.2	4.3	4.3	4.3	4.5	4.5	4.6
Q14 平均値	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.2	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4
Q15 平均値	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.2	4.6	4.7	4.6	4.5	4.5	4.5
Q16 平均値	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.9	4.0	3.9	4.0	4.1	4.1	4.1
Q17 平均値	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8	4.0	4.1	4.0	4.2	4.0	4.0	3.9
Q18 平均値	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9
有効回答数	1,677			2,006			1,194			604		

(学部)学科等	(文) 地域文化			(文) 地域環境			(文) 日本史学			(文) 外国史学		
	全体	専	非									
Q2 平均値	1.5	1.4	1.6	1.5	1.5	1.4	1.6	1.6	1.6	1.7	1.6	1.7
Q3 平均値	1.6	1.6	1.6	1.7	1.8	1.5	1.6	1.6	1.7	1.7	1.8	1.6
Q4 平均値	3.9	3.8	4.0	3.9	4.0	3.8	3.9	4.0	3.8	4.0	4.1	3.9
Q5 平均値	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.5	4.2	4.2	4.3	4.3	4.4	4.3
Q6 平均値	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.6	4.4	4.2	4.8	4.8	4.7	4.8
Q7 平均値	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	4.7	4.6	4.5	4.7	4.7	4.6	4.8
Q8 平均値	4.6	4.5	4.6	4.7	4.8	4.7	4.5	4.5	4.6	4.7	4.6	4.7
Q9 平均値	4.3	4.2	4.5	4.4	4.3	4.6	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4
Q10 平均値	4.3	4.3	4.5	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3	4.4
Q11 平均値	4.5	4.5	4.6	4.7	4.7	4.6	4.5	4.5	4.5	4.7	4.6	4.7
Q12 平均値	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.6	4.4	4.3	4.5	4.5	4.3	4.7
Q13 平均値	4.3	4.2	4.5	4.4	4.4	4.3	4.1	4.0	4.3	4.2	4.2	4.3
Q14 平均値	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.3	4.3	4.3	4.5	4.4	4.5
Q15 平均値	4.4	4.4	4.5	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5	4.7
Q16 平均値	4.0	3.9	4.1	3.9	3.8	4.1	4.0	4.1	3.9	4.0	4.0	4.1
Q17 平均値	4.1	4.0	4.2	4.2	4.1	4.3	4.2	4.3	4.1	4.2	4.1	4.2
Q18 平均値	4.0	3.9	4.1	3.9	3.9	4.1	3.9	4.0	3.9	4.0	3.9	4.0
有効回答数	805			639			1,012			700		

(学部)学科等	(文) 考古学			(文) 社会学			(文) 社会福祉学			(文) 心理		
	専任・非常勤	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専
Q2 平均値	1.5	1.6	1.4	1.4	1.3	1.4	1.4	1.3	1.4	1.4	1.3	1.4
Q3 平均値	1.7	1.8	1.6	1.6	1.7	1.6	1.4	1.3	1.5	1.5	1.5	1.5
Q4 平均値	3.8	4.0	3.7	3.9	3.4	4.0	3.9	3.9	4.0	3.9	4.0	3.9
Q5 平均値	4.3	4.3	4.2	4.3	4.6	4.3	4.4	4.4	4.4	4.3	4.6	4.3
Q6 平均値	4.7	4.6	4.8	4.5	4.3	4.6	4.7	4.8	4.6	4.6	4.7	4.6
Q7 平均値	4.7	4.7	4.8	4.8	4.6	4.8	4.8	4.8	4.7	4.7	4.7	4.8
Q8 平均値	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6
Q9 平均値	4.3	4.4	4.3	3.9	4.1	3.9	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4
Q10 平均値	4.4	4.6	4.3	4.0	3.6	4.1	4.5	4.6	4.3	4.4	4.4	4.3
Q11 平均値	4.6	4.7	4.6	4.2	4.0	4.3	4.6	4.7	4.5	4.6	4.6	4.6
Q12 平均値	4.3	4.2	4.5	3.9	3.8	3.9	4.5	4.6	4.2	4.5	4.3	4.5
Q13 平均値	4.2	4.3	4.2	3.9	3.5	3.9	4.3	4.4	4.1	4.4	4.4	4.4
Q14 平均値	4.4	4.6	4.4	4.1	3.7	4.1	4.4	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5
Q15 平均値	4.4	4.6	4.2	4.0	3.8	4.0	4.5	4.6	4.4	4.6	4.6	4.6
Q16 平均値	3.9	3.9	3.9	3.7	3.3	3.7	4.1	4.2	4.1	4.0	4.0	4.0
Q17 平均値	4.0	4.1	3.9	3.7	3.4	3.7	4.2	4.3	4.1	4.2	4.3	4.2
Q18 平均値	3.8	3.9	3.8	3.7	3.6	3.7	4.1	4.1	4.0	3.9	3.9	4.0
有効回答数	415			468			822			2,040		

(学部)学科等	(経済) 経済			(経済) 商			(経済) 現代応用経済			(法) 法律		
	専任・非常勤	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専
Q2 平均値	1.6	1.6	1.6	1.5	1.6	1.5	1.5	1.5	1.4	1.6	1.6	1.5
Q3 平均値	1.7	1.7	1.7	1.6	1.7	1.6	1.6	1.7	1.5	1.7	1.8	1.6
Q4 平均値	3.8	3.9	3.8	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	4.2	3.7	3.7	3.6
Q5 平均値	4.4	4.4	4.3	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.1	4.1	4.1
Q6 平均値	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.6	4.8	4.4	4.4	4.5
Q7 平均値	4.6	4.6	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7	4.8	4.5	4.5	4.6
Q8 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.6	4.4	4.4	4.5
Q9 平均値	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.3	4.4	4.4	4.5	4.0	3.9	4.1
Q10 平均値	4.3	4.4	4.3	4.2	4.2	4.4	4.5	4.4	4.6	4.1	4.1	4.1
Q11 平均値	4.4	4.4	4.4	4.5	4.4	4.6	4.6	4.6	4.6	4.3	4.3	4.4
Q12 平均値	4.4	4.4	4.4	4.5	4.4	4.5	4.6	4.6	4.7	4.3	4.2	4.4
Q13 平均値	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.4	4.4	4.4	3.9	3.8	4.0
Q14 平均値	4.3	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.6	4.2	4.2	4.3
Q15 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.5	4.5	4.5	4.6	4.3	4.2	4.3
Q16 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.2	4.1	4.0	4.3	3.6	3.6	3.8
Q17 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.2	4.3	4.2	4.4	3.8	3.8	3.9
Q18 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.2	4.1	4.0	4.3	3.6	3.6	3.8
有効回答数	2,884			1,195			1,334			4,053		

(学部)学科等	(法)政治			(経営)経営			(経営)市場戦略			(医療)		
	専任・非常勤	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専
Q2 平均値	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.6	1.5	1.3	1.3	1.2
Q3 平均値	1.7	1.8	1.7	1.7	1.7	1.8	1.7	1.7	1.6	1.6	1.7	1.4
Q4 平均値	3.7	3.7	3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	3.7	3.9	3.9	3.9	3.9
Q5 平均値	4.1	4.0	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2	4.3	4.1	4.7	4.8	4.6
Q6 平均値	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.7	4.6	4.6	4.9
Q7 平均値	4.6	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.8	4.7	4.7	4.8
Q8 平均値	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.7
Q9 平均値	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.4	4.3	4.6
Q10 平均値	4.2	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1	4.2	4.1	4.4	4.4	4.6
Q11 平均値	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.6	4.6	4.7
Q12 平均値	4.4	4.3	4.4	4.4	4.3	4.5	4.2	4.1	4.4	4.5	4.5	4.7
Q13 平均値	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.1	4.0	4.0	4.1	4.4	4.4	4.7
Q14 平均値	4.3	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.3	4.5	4.5	4.7
Q15 平均値	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.4	4.6	4.6	4.7
Q16 平均値	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.9	4.1	4.0	4.3
Q17 平均値	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	3.9	4.1	4.2	4.2	4.3
Q18 平均値	3.8	3.8	3.8	3.9	3.8	3.9	3.8	3.8	4.0	4.1	4.1	4.3
有効回答数	1,989			2,462			1,492			631		

(学部)学科等	(GMS)			(総合)文化学			(総合)自然科学			(総合)日本文化			
	専任・非常勤	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非	全体	専	非
Q2 平均値	1.7	1.5	2.0	1.3	1.3	1.3	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
Q3 平均値	1.8	1.7	1.9	1.4	1.4	1.5	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5
Q4 平均値	4.0	3.9	4.0	3.7	3.7	3.7	4.0	3.9	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0
Q5 平均値	4.4	4.4	4.3	4.2	4.2	4.2	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3
Q6 平均値	4.8	4.8	4.9	4.5	4.5	4.5	4.6	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8	4.8
Q7 平均値	4.8	4.8	4.9	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.7	4.7
Q8 平均値	4.7	4.6	4.8	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.6	4.6
Q9 平均値	4.4	4.3	4.5	4.2	4.2	4.2	4.4	4.4	4.3	4.5	4.5	4.4	4.4
Q10 平均値	4.4	4.3	4.5	4.2	4.2	4.2	4.4	4.4	4.3	4.5	4.5	4.5	4.5
Q11 平均値	4.6	4.5	4.7	4.4	4.4	4.4	4.5	4.6	4.4	4.7	4.7	4.6	4.6
Q12 平均値	4.6	4.5	4.7	4.2	4.2	4.2	4.5	4.6	4.3	4.5	4.6	4.4	4.4
Q13 平均値	4.4	4.4	4.4	4.0	4.1	3.9	4.3	4.4	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3
Q14 平均値	4.5	4.4	4.6	4.2	4.2	4.2	4.4	4.5	4.3	4.5	4.5	4.5	4.5
Q15 平均値	4.6	4.5	4.7	4.3	4.3	4.3	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	4.4	4.4
Q16 平均値	4.1	4.0	4.3	3.7	3.8	3.7	4.1	4.1	4.0	4.2	4.2	4.1	4.1
Q17 平均値	4.1	4.1	4.2	3.8	3.9	3.8	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3
Q18 平均値	4.0	4.0	4.1	3.8	3.8	3.7	4.1	4.1	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1
有効回答数	1,470			2,889			1,669			743			

(学部)学科等	(総合) 外国語一			(総合) 外国語二			(総合) スポーツ			(総合) 教職課程		
	全体	専	非									
Q2 平均値	1.9	1.9	1.9	1.9	1.6	2.0	1.3	1.4	1.2	1.4	1.6	1.4
Q3 平均値	1.8	1.6	1.8	1.9	1.7	2.1	1.3	1.4	1.2	1.5	1.6	1.5
Q4 平均値	4.0	3.9	4.0	4.1	3.8	4.2	4.4	4.4	4.6	4.0	4.1	4.0
Q5 平均値	4.4	4.3	4.4	4.4	4.3	4.4	4.5	4.4	4.5	4.4	4.4	4.5
Q6 平均値	4.7	4.8	4.7	4.6	4.6	4.5	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.7
Q7 平均値	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.8	4.9	4.7
Q8 平均値	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.7	4.8	4.7	4.7	4.6
Q9 平均値	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.6	4.7	4.6	4.4	4.5	4.4
Q10 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.7	4.7	4.7	4.5	4.5	4.4
Q11 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7	4.6	4.7	4.6
Q12 平均値	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.7	4.8	4.7	4.6	4.6	4.6
Q13 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.6	4.6	4.6	4.4	4.6	4.4
Q14 平均値	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.7	4.7	4.6	4.5	4.5	4.5
Q15 平均値	4.6	4.5	4.6	4.5	4.5	4.6	4.7	4.7	4.7	4.6	4.7	4.5
Q16 平均値	4.2	4.2	4.2	4.0	3.9	4.1	4.6	4.6	4.7	4.2	4.3	4.2
Q17 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.2	4.6	4.6	4.7	4.3	4.3	4.3
Q18 平均値	4.1	4.0	4.1	4.0	3.9	4.0	4.5	4.5	4.6	4.2	4.2	4.2
有効回答数	2,384			1,396			898			883		

## 2018 年度「学生による授業アンケート（後期）」 集計結果の概況について

今回のアンケートの回答率は 37.5% であり、昨年度後期の回答率 37.1% に比してほぼ横ばいと言って良いであろう。受講者の多い科目ほど回答率が下がる、受講者の学年が上がるほど回答率が下がるという傾向も例年通りと言えようし、また専任教員より非常勤教員担当の科目の方が学生の回答率やや高いがその差は狭くなっていることも昨年後期同様である。ただし、専任教員、非常勤とも実施後の C-Learning ログイン率が下がっている点が危惧される。

現在、FD 推進委員会において授業アンケートに関して言えば、対象科目の拡大とアンケート結果の組織的な活用が課題とされている。どちらも容易には達成できない課題である。

現状 5,000 に近い開講科目のうち 2,000 に近い科目がアンケート対象外となっている。FD 推進委員会では、履修者 20 名以下の科目は除外というところ

ろから 10 名以下の科目は除外というところまで枠を広げようと摸索しているが、それだけでは 400 科目足らずの拡大に過ぎない。これを如何に拡大していくかという点がひとつの課題である。

また現在、原則として対象科目の担当教員のみがアンケート結果を見て、自身の改善に役立てることとなっているが、この結果を組織的に活用し各教員の授業改善に活かさないか、検討されている。

しかしながらいずれにせよ、授業アンケートの回答率と回答の質の向上が図られなければ、アンケート対象の拡大も結果の活用も意義あるものとはならないであろう。回答率を上げる試みとして今年前期のアンケートから、学生自身が回答をした科目については自由設問を除きすべての集計結果を閲覧可能としたこと、授業アンケート結果に対して担当教員が直接コメントを入力できる機能が利用できるようにしたが、現時点ではそれらがどれほど有効にはたらいたか。さらなる工夫が求められよう。

(FD 推進委員会小委員会委員・岩永正晴)

## 連載企画：よりよい教育のために

## 「良き研究者であり、良き教育者」

仏教学部講師 徳野 崇行

論題は私が尊敬する先生が座右の銘にしている言葉である。私は本学仏教学部の教員として奉職して4年を迎えるが、この言葉のようにありたいと思うものの、その実現の難しさを常に感じている。

講義を行い、試験の作成と採点、学生対応といった教員としての業務に加え、紀要編集といった学部内の業務、附置研究所の研究会への参加や発表、会計管理、禅ブランディング事業の企画の運営や Web コンテンツの作成、仏教行事への随喜や坐禅指導といった僧侶としての務めなど学内の業務は多岐にわたる。このような校務をこなしながら、「研究」を進めるためには「執念」とも言うべきメンタルの強さが必要だと感じている。

そうした中で時間をやりくりしながら自身が専門としている研究を進め、その内容を講義で意気揚々と話すと、大半の学生が興味を持たずに寝てしまう。研究として重要なことが必ずしも学生の興味を惹くものとは限らないし、学生の関心が高いものが研究で重要であることもそれほど多くはない。シラバスや講義用の資料を作成する時、「研究」のコンテンツをうまく「教育」のコンテンツに変換するためには何が必要なのかをよく考える。研究と教育の相乗効果を生み出させる変換装置とは何なのか、という問いである。最近その一つが「教員自身の体験」を講義の際にうまく織り交ぜることではないかと考えている。

私は講義の中で、実際にフィールドワークで撮影した映像や写真を見せることがよくある。東北のシャーマンの調査で撮影した口寄せの映像を見せる際は、地元の人が口寄せする光景よりも、私の先祖がたまたま降りてきて、研究者であるはずの私が強制的に死者との対話をさせられている部分の方が、学生たちは映像を真剣に見ている。この時、私は「宗教学者が観察者として儀礼に参加しているにもかかわらず、宗教現象に巻き込まれてしまうのは宗教学者あるあるです」といった説明をしている。私自身が撮影した映像や写真を使うのは、講義の内容と

Web から獲得できる情報との差異化という意味もあるが、やはり一番の目的は話に説得力を持たせるためである。

「日本人は無宗教」といわれるように、学生にとって宗教の話はどこか自分たちとは違う世界の話として受け取られることが多い。しかし、「宗教学概論」「仏教民俗学」という講義の中で、私は自身が体験した「宗教の現場」のニオイや空気感を学生たちに話すことで、実は我々の身近な問題であることを伝えたい。それは学問のもつ楽しさや尊さを感じる価値観を養うことに繋がるのではないか。そうした期待を抱きながら、宗教に関するフィールドワークを続け、体験談がより多くできるようにつとめていきたい。研究と教育の両立はずっと続く課題である。

## ■ 学生が選ぶベスト・ティーチング賞授賞式

去る平成30年12月17日(月)午後12時10分より中央講堂において、第3回「学生が選ぶベスト・ティーチング賞(Best Teaching Award; 以下、BTAと略称)」の授賞式が行われた。BTAの趣旨は、学生が運営し学生の投票によって受講者側からの評価を明らかにし、授業を行う教員を励まし、より良い授業の方法等を共有するところにある。学生が運営し受講生が評価するから「学生が選ぶ」という語が冠せられ、教員個人の人気投票ではなく、あくまで良き授業の評価であるから「Teacher」ではなく「Teaching」という語が選ばれている。

今年度のBTAの投票は、後期の「学生による授業アンケート」より早い11月3日から同月24日までの間に行われた。昨年よりはやくに投票を受け付けはじめたのはオータム・フェスティバルにおいて告知を行うためである。

運営にあたった学生FDスタッフ第3期生14名の内訳は仏教学部1名、文学部3名、法学部4名、経営学部5名、GMS学部1名であった。そして、投票結果に基づく学生FDスタッフによる選考、およびFD推進委員会の了承のもと、下記の3分野7講義が選ばれた。

〔全学共通科目部門〕

「心理学」

小野 洋平 先生

(文学部心理学科・非常勤講師)

- 「日本の文化と社会」 加藤 之晴 先生  
 (総合教育研究部文化学部門・非常勤講師)
- 「ドイツ語 I Ab」 畠山寛先生  
 (総合教育研究部外国語第二部門・准教授)
- [専門教育科目部門]
- 「経営戦略論」 中村 公一 先生  
 (経営学部経営学科・教授)
- 「グローバル経営論」 各務 洋子 先生  
 (GMS 学部・教授)
- 「仏教民俗学」 徳野 崇行 先生  
 (仏教学部・講師)
- [教職科目部門]
- 「教職入門」 笠谷 一夫 先生

(総合教育研究部教職課程部門・非常勤講師)

受賞者には、FD推進委員会委員長である学長の長谷部八朗先生の代理として、副学長猿山義広先生から表彰状が授与され、学生FDスタッフから花束が贈呈された。中村公一先生の「経営戦略論」は年連続3回目の受賞となった。そのみならず今年も3部門それぞれから選出したため、多様な授業が新たに表彰の対象となった点は、昨年度時点での課題が少しく改善されたものであって、悦ばしい成果であろう。

なお今年度のBTA運営において特筆すべきは昨年にも優る学生FDスタッフのめざましい活躍であろう。投票期間をオータム・フェスティバルにあわせて早め告知を行ったこと、投票方法にグーグルフォームを用いたこと、3分野からの多様な選出など、新しい試みが彼等の発案で行われた。さらにFD推進委員会の承認のもと、希望する学生は来年度も切れ目なく学生FDスタッフとして活動できることとしたので、この活発で自主的な活動が来年度にも引き継がれることを期待したい。

(FD推進委員会小委員会委員・岩永 正晴)



(授賞式の様子)

## 平成30年度 第5回FD研修会報告 「ダイバーシティからインクルージョンへ」

12月4日(火)実施の第5回FD研修会は、猿山義広副学長先生が、標記タイトルで、以下の2点を目的としてお話をくださいました。

- ①日本の大学における留学生と障がい学生の実態について、理解する。
- ②多様な学生とともに成長していける大学を目指すインクルージョンを阻むアンコンシャスバイアスについて知り、その対策について理解を深める。

### ①留学生と障がい学生の実態について

最初に、日本学生支援機構が実施した「平成27年度 私費外国人留学生生活実態調査」結果から、我が国における留学生の実態(不安、苦勞、日本に対する印象、就職等)が説明されました。また併せて、本学における留学生受入状況も説明されました。

続いて、日本学生支援機構による「平成28年度(2016年度)大学、短期大学及び高等専門学校における障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書」結果を基に、障がいをもつ学生の実態(障がいの種別と程度の多様性、特に多くみられる障がい等)が説明されました。また併せて、障がいをもつ学生に対する授業での配慮の必要性についても強調されました。

### ②インクルージョンを阻むアンコンシャスバイアスと、その対策

次に、日本私立大学連盟FD推進ワークショップ(平成30年6月実施)において、荒金雅子氏(株式会社クオリア 代表取締役)が行った講演内容(テーマ:「私立大学におけるダイバーシティ&インクルージョン推進の意義と重要性」)が紹介されました。その際には、ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)推進の課題と、阻害要因となりうるアンコンシャスバイアス(無意識の偏見)の詳細や対策が説明されました。また併せて、企業や大学におけるD&I推進の試みも紹介されました。

### ③本学の現状と課題

上記を踏まえ、最後に、本学のダイバーシティ&インクルージョンの現状と課題とが説明されました。そして、ダイバーシティを学ぶ場として大学を捉えることで、学生達に成長機会を提供できること、また、インクルージョン活動の積極支援の重要性が強調されました。

## 所感

お話の中にあつた「ピアサポート活動」、例えば、留学生や障がいをもつ学生のバディを募集してサポートをお願いするボランティア活動等は、バディを担当する学生自身も、多くのことを学べる機会となるなど感じました。また同様にお話の中にあつた「留学生や障がい学生が参加できる課外活動」についても、例えば「中国ウィーク」「タイウィーク」といった、マイノリティー学生自身が発信する行事の実施・支援が、本学のダイバーシティ&インクルージョンに有益ではないかと感じられました。

本研修を通じて、言語背景や障がいの有無等に関わらず、全ての学生が、「駒大に来てよかった」と思ってくれるような環境を目指していくことが重要だと感じました。

(FD推進委員会小委員会副委員長・杉森 建太郎)

## 第6回FD研修会

### 「平成30年度学生が選ぶ

### ベスト・ティーチング賞受賞科目にみる 教育方法と教育活動の質の向上」

去る平成31年2月1日(金)午後4時30分より中央講堂において、今年度第6回のFD研修会が行われた。今回の研修会は第3回「学生が選ぶベスト・ティーチング賞(Best Teaching Award; 以下、BTAと略称)」の受賞科目担当者7名の内、専門教育科目部門で受賞した「グローバル経営論」各務洋子先生(GMS学部・教授)、全学共通科目部門で受賞した「心理学」の小野洋平先生(文学部心理学科・非常勤講師)、教職科目部門で受賞した「教職入門」笠谷一夫先生(総合教育研究部教職課程部門・非常勤講師)を講師として招聘し、「平成30年度学生

が選ぶベスト・ティーチング賞受賞科目にみる教育方法と教育活動の質の向上」と題してそれぞれご講演頂いた。

各務先生は、経営学が身近なものであることを実感させるために、新聞を教材に今日的な課題を取り上げるという工夫を紹介された。小野先生は、学士教育に求められるPDCAサイクルに基づく指導を心理学的な知見を踏まえて実践し、学生各自が役に立つ、面白い学習ということを実感させる授業を目指した旨が示された。笠谷先生は本学での授業は初めてであったが、高校教員等としての豊富な教育経験を踏まえ、実体験の紹介などを通して興味を抱かせる工夫などをなされた旨、お話があつた。

いずれの先生もリアクションペーパーを活用するなどして学生の意旨や理解を汲み取る工夫や、学生の能動的な学習を引き出すアクティブラーニングが意識されていたと思われる。全教員が共有し各自が咀嚼すべき点であつたと思われる。

なお、これまでのFD研修会の模様は映像化され、本学Webページ内「大学概要」の「FD活動」コンテンツのひとつとしてアーカイブされる。欠席された教職員は是非と御覧頂きたい。

(FD推進委員会小委員会委員・岩永 正晴)



(第6回FD研修会の様子)

## 平成 31 年度新規採用教員オリエンテーション 開催のお知らせ

新規採用の専任教員及び非常勤講師を対象にした「平成 31 年度新規採用教員オリエンテーション」を、平成 31 年 4 月 1 日（月）に本部棟中央講堂にて開催いたします。

オリエンテーションを開催する目的は、本学の建学の理念、教育目的を理解いただき、授業に臨んでいただくこと、本学の様々な施設や事務手続きをお知らせし、授業を円滑に進めていただきたいこと、そして実際の授業運営にあたって、個人情報保護やハラスメント防止に留意していただきたいこと等をお伝えすることにあります。



※駒澤大学 F D (Faculty Development) ホームページは、以下 URL か QR コードからアクセスできます。

【URL】 <https://www.komazawa-u.ac.jp/about/fd/>



## 編集後記

『FD NEWSLETTER 第 58 号』をお届けいたします。

巻頭言は、文学部長橋詰先生に、また、連載企画「よりよい教育のために」は、仏教学部徳野先生にご執筆いただきました。また、本年度後期の学生アンケートの分析結果、第 6 回 F D 研修会報告、BTA 授賞式報告は、第 58 号編集委員である岩永委員が担当し、第 5 回 F D 研修会報告は本学 F D 推進委員会小委員会副委員長である杉森先生に執筆いただきました。お忙しい中ご執筆いただきました先生方に心より感謝申し上げます。

さて、今年度末をもって現委員の任期は終わり、来年度からは各学部より選出された新しい委員体制でさらなる F D 活動の推進・充実がなされることと思います。2 年間の短い任期中にも大学設置基準、評価基準、補助要件など様々な形で外部から F D への取り組み方に関する方針や基準等が示され、既に本学で取り組んでいる授業アンケートやベストティーチング賞などの諸活動もそれらの方針や基準に沿った形にすべく修正・変更を知恵を絞り議論を交わす場面が多かったように思います。この修正・変更作業はまだまだ道半ばであり、きっとこれからも新たな要件が提示され、それをクリアするために様々な改革に取り組み続けなければならないのだろうと考えます。これらの改革は F D 委員会のみでは為しえないことであり、全教職員の理解と協力のもとで取り組んでいかなければなりません。今後とも、ますます F D 活動に熱いご協力をお願い申し上げます。

(岩永正晴・川上富雄)

【タイトル横の写真は、  
ベスト・ティーチング賞授賞式での副学長挨拶】

## FD NEWSLETTER Mar. 2019 第 58 号

発行日：2019 年 3 月 15 日

発行者：駒澤大学 F D 推進委員会

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

Tel. 03-3418-9444 Fax 03-3418-9114

(事務局：教務部)

## 【付録資料】

- 駒澤大学 F D 推進委員会規程
- 駒澤大学 F D 憲章
- 平成 30 年度 駒澤大学 F D 推進委員会委員名簿
- 平成 30 年度 駒澤大学 F D 推進委員会小委員会委員名簿
- 平成 30 年度 駒澤大学 F D 推進部会委員名簿

## ○駒澤大学FD推進委員会規程

〔平成16年4月1日  
制 定〕

改正 平成21年4月1日

改正 平成25年4月1日

改正 平成27年4月1日

(趣旨及び設置)

第1条 駒澤大学学則第1条の3第2項に定める組織的な研修及び研究について、ファカルティ・ディベロップメント(以下「FD」という。)を推進するため、駒澤大学FD推進委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(FDの定義)

第2条 この規程において「FD」とは、教員が授業内容・方法を改善し、向上させるために行う、各学部等の組織的な取り組みをいう。

(審議事項)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 授業評価の実施に係る企画・運営に関すること。
- (2) 教員の教授方法等の改善のための支援に関すること。
- (3) 各学部等が行うFDの支援に関すること。
- (4) FDに係る、施設・設備等の改善に関すること。
- (5) 講演会及び研修会等に関すること。
- (6) その他FDの推進に必要な事項に関すること。

(構成)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 学長
  - (2) 各副学長
  - (3) 各学部長等
  - (4) 各学部等から選出された者各1人。ただし、総合教育研究部は3人 計10人
  - (5) 教務部長
  - (6) 幹事 若干人
- 2 委員会の委員長は学長とし、副委員長は教育・研究担当の副学長とする。
- 3 第1項第4号によって選出された委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 欠員を補充するために選出された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(運営)

第5条 委員会は、委員長がこれを召集し、その議長となる。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

3 委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立する。

4 F D推進委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決議し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

5 委員会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求めることができる。

(小委員会)

第6条 委員会が必要と認めるときは、委員会に小委員会を設置することができる。

2 審議事項、構成、運営等については、委員会で制定する内規に定める。

(F D推進部会)

第7条 各学部等にF D推進部会を設置する。

2 部会長は各学部長等とし、構成員については各学部等が決める。

(事務所管)

第8条 委員会の事務所管は、教務部とする。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、委員会の議を経てこれを行うものとする。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

平成 28 年 4 月 1 日  
制 定

## 駒澤大学 F D 憲章

駒澤大学は、学校法人駒澤大学憲章の理念に基づき、本学の Faculty Development (F D) を推進するために、この駒澤大学 F D 憲章を定める。

- 一、 私たちは、常に新しい教育方法を模索し、教育活動の質の向上に努めます。
- 一、 私たちは、常に自らの教育方法をふりかえることで、教育活動の改善に努めます。
- 一、 私たちは、常に教員相互の情報交換をすることで、大学全体の教育の質の向上に努めます。
- 一、 私たちは、常に学生、または社会からの声を大切にし、教育活動の改善に努めます。
- 一、 私たちは、知を人類の資産として未来へ継承し発展させるよう、学生とともに歩むことを誓います。

平成 28 年 4 月 1 日 施行

平成30年度駒澤大学FD推進委員会委員名簿

平成30年4月1日現在

委員長	学 長	長谷部 八 朗
副委員長	教育・研究担当の副学長	日 笠 完 治
委 員	学生支援担当の副学長	猿 山 義 広
〃	仏 教 学 部 長	石 井 公 成
〃	文 学 部 長	橋 詰 直 道
〃	経 済 学 部 長	代 田 純
〃	法 学 部 長	王 志 安
〃	経 営 学 部 長	長 國 強
〃	医療健康科学部長	西 尾 誠 示
〃	グローバル・メディア・ スタディーズ学部長	各 務 洋 子
〃	総合教育研究部長	小 川 隆
〃	仏 教 学 部 教 授	岩 永 正 晴
〃	文 学 部 准 教 授	川 上 富 雄
〃	経 済 学 部 教 授	小 林 正 人
〃	法 学 部 准 教 授	塩 入 みほも
〃	経 営 学 部 教 授	中 川 淳 平
〃	医療健康科学部講師	馬 込 大 貴
〃	グローバル・メディア・ スタディーズ学部講師	杉 森 建太郎
〃	総合教育研究部教授	坂野井 和 代
〃	総合教育研究部教授	西 村 祐 子
〃	総合教育研究部准教授	岩 本 哲 也
〃	教 務 部 長	中 野 達 哉
		(以上 委員 22名)
幹 事	教 務 部 事 務 部 長	柿 沼 富 雄
〃	教 務 部 学 務 課 長	桜 田 千 津
〃	教 務 部 研 究 推 進 課 長	今 枝 連 子
		(以上 幹事 3人)
書 記	教 務 部 係 長	小 田 智 裕
〃	教 務 部	指 理 恵
〃	教 務 部	松 井 誠 裕
〃	教 務 部	西 原 沙 和
		(以上 合計 29人)

## 平成30年度駒澤大学FD推進委員会小委員会委員名簿

平成30年4月1日現在

委員	仏 教 学 部 教 授	岩 永 正 晴
〃	文 学 部 准 教 授	川 上 富 雄
〃	経 済 学 部 教 授	小 林 正 人
〃	法 学 部 准 教 授	塩 入 みほも
〃	経 営 学 部 教 授	中 川 淳 平
〃	医 療 健 康 科 学 部 講 師	馬 込 大 貴
〃	グ ローバル・メ ディア・ ス タディーズ 学 部 講 師	杉 森 建 太 郎
〃	総 合 教 育 研 究 部 教 授	坂 野 井 和 代
〃	総 合 教 育 研 究 部 教 授	西 村 祐 子
〃	総 合 教 育 研 究 部 准 教 授	岩 本 哲 也
〃	教 務 部 長	中 野 達 哉
〃		(以上 委員 11名)
幹 事	教 務 部 事 務 部 長	柿 沼 富 雄
〃	教 務 部 学 務 課 長	桜 田 千 津
〃	教 務 部 研 究 推 進 課 長	今 枝 連 子
		(以上 幹事 3人)
書 記	教 務 部 係 長	小 田 智 裕
〃	教 務 部	指 理 恵
〃	教 務 部	松 井 誠 裕
〃	教 務 部	西 原 沙 和
		(以上 合計 18人)

平成30年度 駒澤大学FD推進部会委員名簿

(平成30年4月1日現在)

学部等	部会長	委員
仏教学部	石井 公成	熊本 英人 吉村 誠 村松 哲文 大澤 邦由 岩永 正晴
文学部	橋詰 直道	岡田 豊 北原 賢一 平井 幸弘 久保田 昌希 川上 富雄 藤田 博康
経済学部	代田 純	明石 英人 小西 宏美 田中 綾一
法学部	王 志安	山崎 望
経営学部	長 國強	中川 淳平 豊田 太郎 藤原 篤志 若山 大樹 武谷 慧悟
医療健康科学部	西尾 誠示	西尾 誠示 原田 和正 近藤 啓介 保科 正夫 馬込 大貴
グローバル・ メディア・ スタディーズ学部	各務 洋子	リンスキー, マイケル 平井 辰典 杉 森 建太郎
総合教育研究部	小川 隆	末木 恭彦 坂野井 和代 豊田 千代子 内藤 寿子 西村 祐子 畠山 寛也 岩本 哲也

平成 30 年度  
F D 活動報告書

---

発行日	平成 31 年 3 月 31 日
発行	駒澤大学 F D 推進委員会 〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1 丁目 23 番 1 号 TEL 03-3418-9444 FAX 03-3418-9114
事務局	駒澤大学教務部